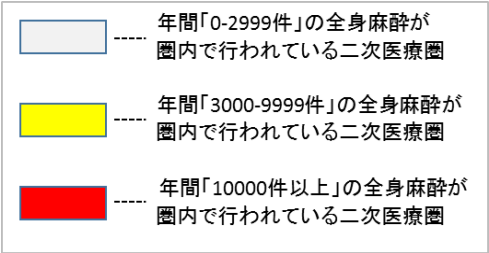
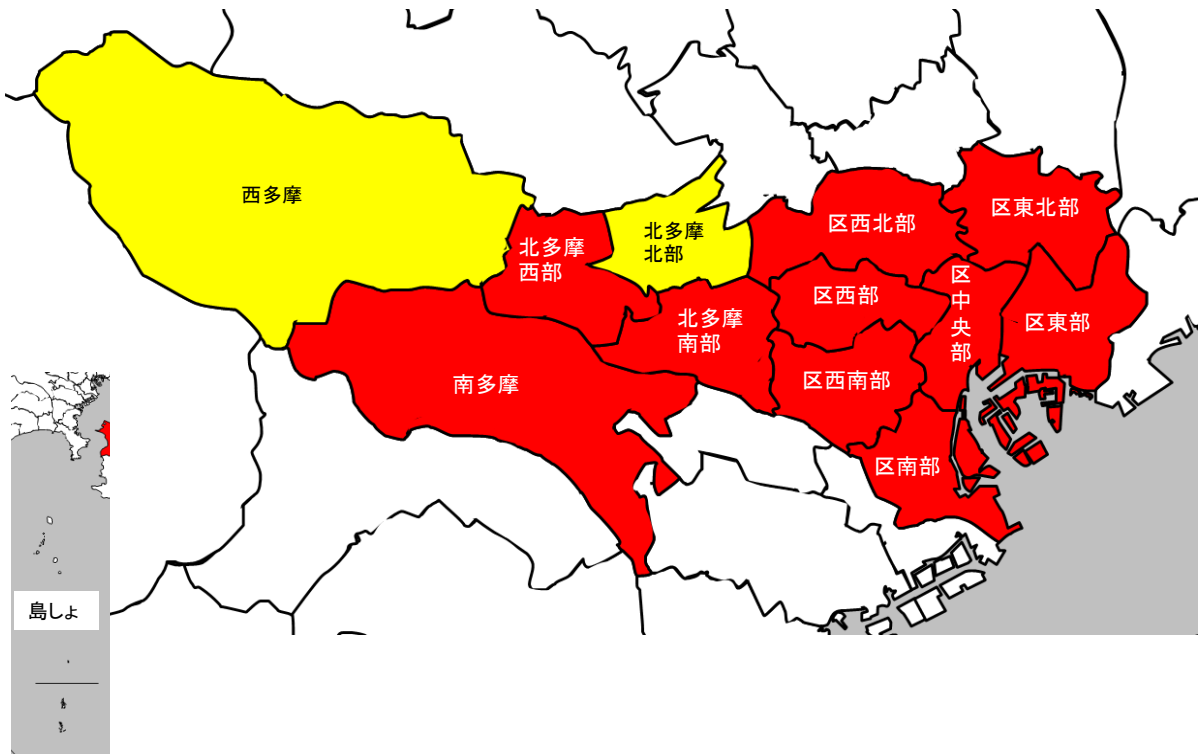


13. 東京都

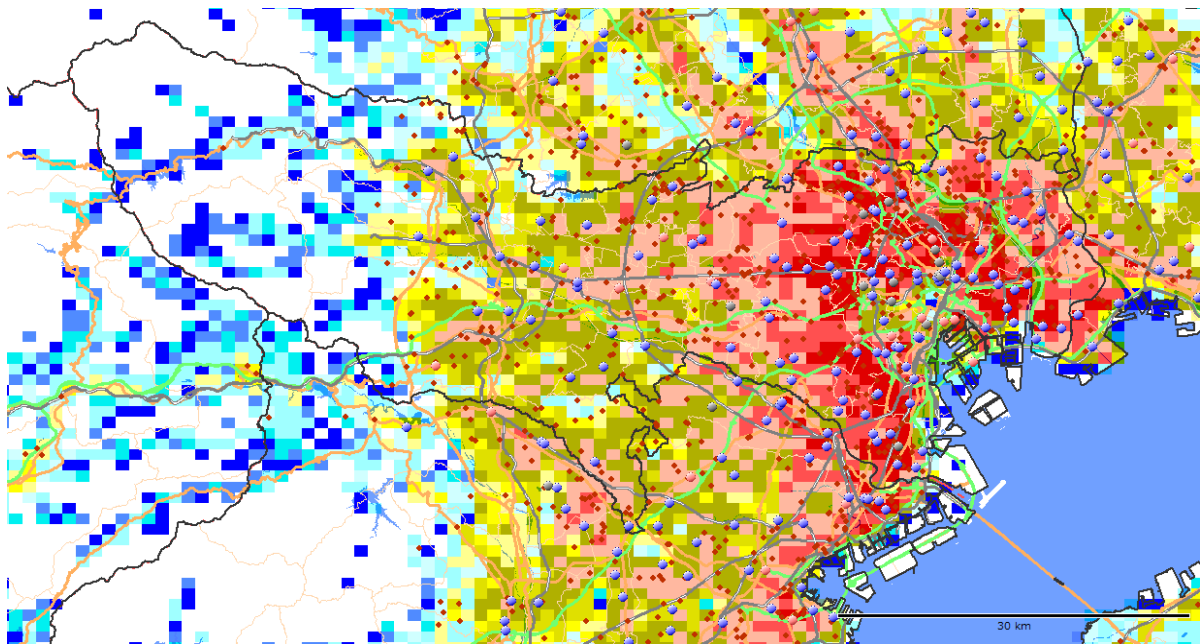


目次

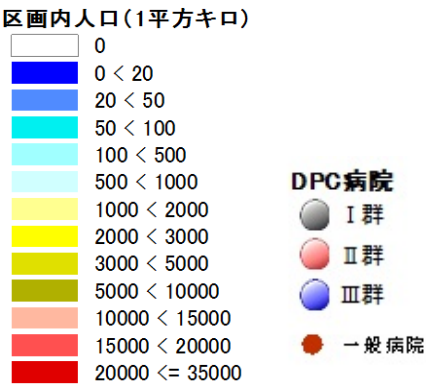
東京都	13	-	3
資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料	13	-	8
1. 区中央部医療圏	13	-	26
2. 区南部医療圏	13	-	31
3. 区西南部医療圏	13	-	36
4. 区西部医療圏	13	-	41
5. 区西北部医療圏	13	-	46
6. 区東北部医療圏	13	-	51
7. 区東部医療圏	13	-	56
8. 西多摩医療圏	13	-	61
9. 南多摩医療圏	13	-	66
10. 北多摩西部医療圏	13	-	71
11. 北多摩南部医療圏	13	-	76
12. 北多摩北部医療圏	13	-	81
13. 島しょ医療圏	13	-	86

13. 東京都

人口分布（1km²区画単位）



1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は
中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が
少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS
Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(東京都) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 東京都は、総人口約13,515千人(2015年)、面積2,178km²、人口密度は6,205人/km²である。

***人口の将来予測：** 東京都の総人口は2025年に13,846千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に13,759千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の1,469千人が、2025年にかけて1,946千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には2,067千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 東京都の一人当たり医療費(国保)は311千円(偏差値40)、介護給付費は256千円(偏差値50)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 東京都の一人当たり急性期医療密度指数は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は0.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が58(病院医師数56、診療所医師数62)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は44と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 東京都の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、139,586人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が71,911床(偏差値40)、高齢者住宅等が67,675床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、92,925人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設36、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム63、軽費ホーム45、グループホーム40、サ高住43である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、19,521人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

東京都の総人口は、2005年12,576,601人が、2015年に13,515,271人と7%増加し、2025年の人口が13,845,936人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

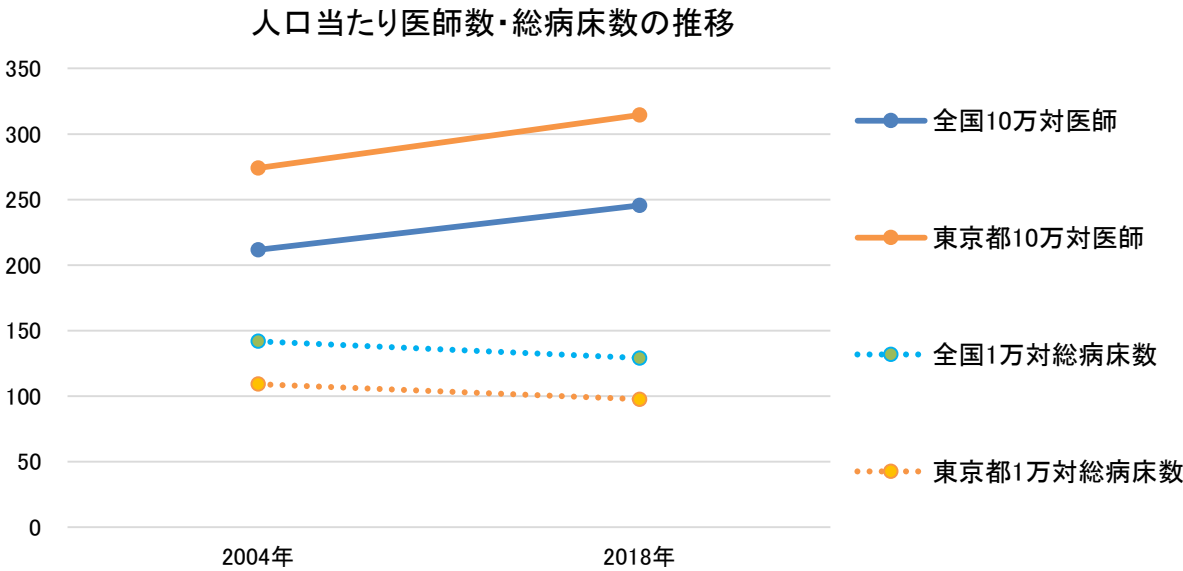
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が665（人口10万人当たり5.3病院（全国平均7.1）偏差値45）であったが、2018年に647（人口10万人当たり4.8病院（全国平均6.6）偏差値45）となり、14年間で18病院が減少した。

2004年の診療所数が12,197（人口10万人当たり97診療所（全国平均76）偏差値60）であったが、2018年に13,429（人口10万人当たり99診療所（全国平均80）偏差値60）と、1,232診療所が増加した。

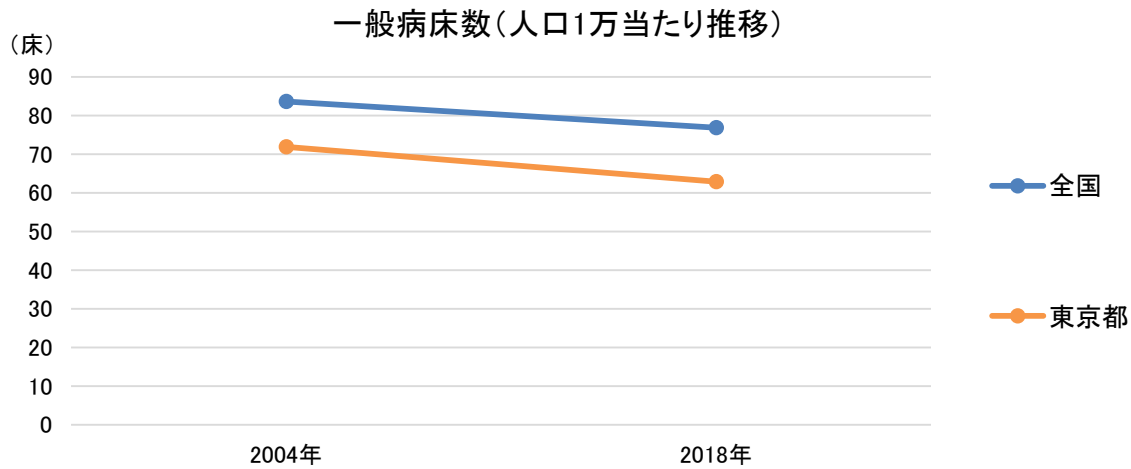
2004年の総病床数が137,402床（人口1万人当たり109（全国平均142）偏差値44）であったが、2018年に131,977床（人口1万人当たり98（全国平均129）偏差値44）と、5,425床の減少、率にして4%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が34,463人（人口10万人当たり274人（全国平均212人）偏差値57）であったが、2018年に42,497人（人口10万人当たり314人（全国平均245人）偏差値58）と、8,034人の増加、率にして23%の増加（全国平均15%の増加）が見られた。



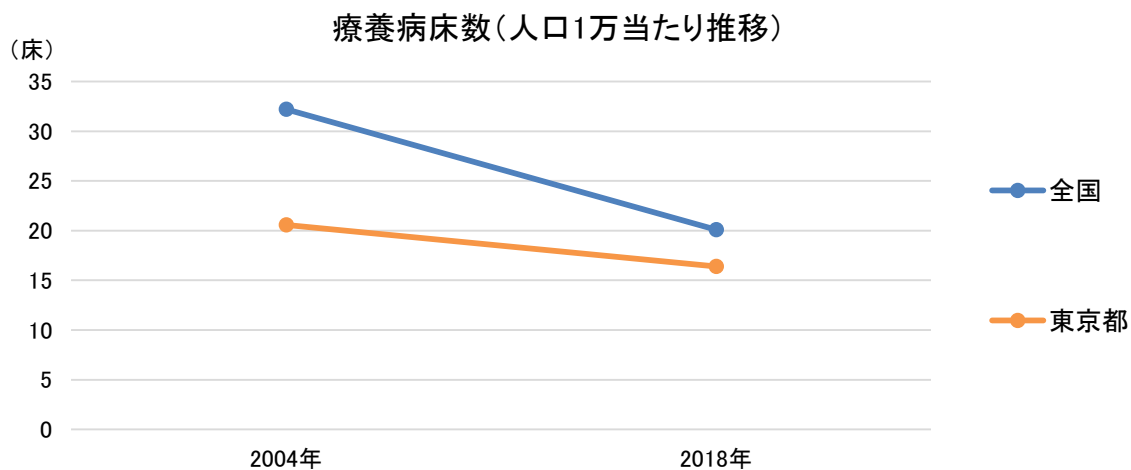
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が90,472床(人口1万人当たり72(全国平均84)偏差値46)であったが、2018年に85,016床(人口1万人当たり63(全国平均77)偏差値45)と、5,456床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



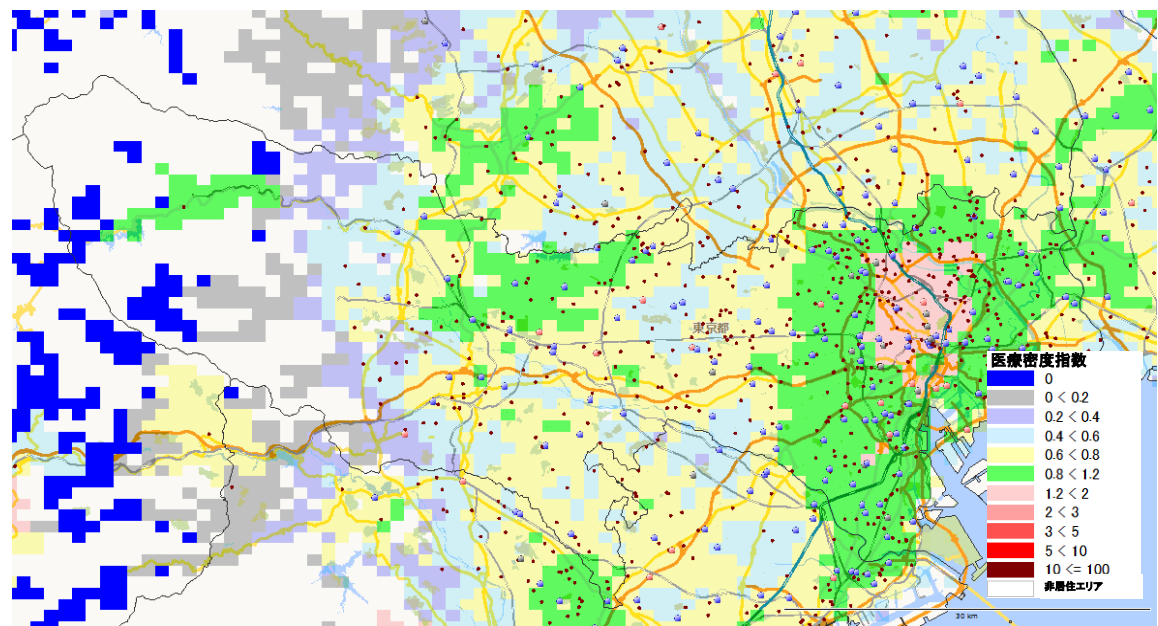
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が20,102床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に24,084床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値47)と、3982床の増加、率にして20%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



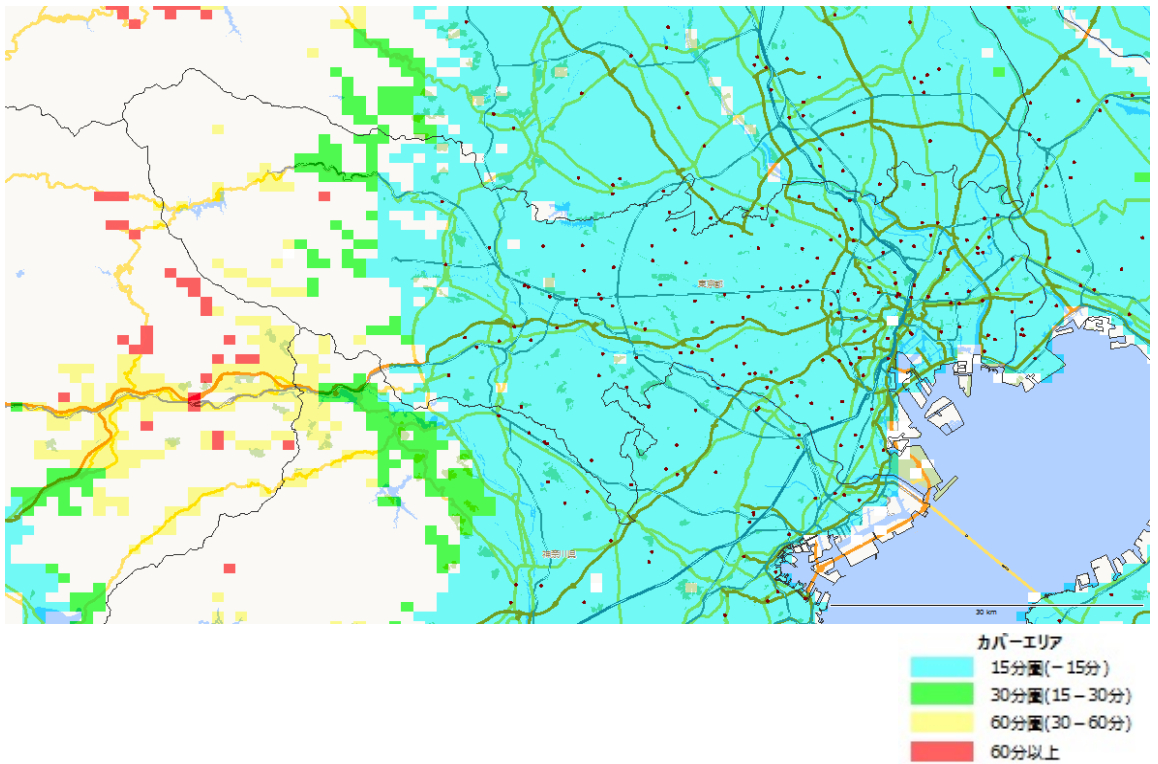
(東京都) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 13-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
東京都	13,515	1位	2,178	45位	6,204.7		23%	13,846	13,759	1,469	1,946	2,067	2%	-1%	32%	6%
区中央部	861	6%	64	3%	13,524.0	大都市型	19%	982	1,067	80	104	119	14%	9%	30%	14%
区南部	1,104	8%	84	4%	13,220.8	大都市型	22%	1,165	1,195	113	147	151	6%	3%	30%	3%
区西南部	1,406	10%	88	4%	16,002.5	大都市型	21%	1,449	1,468	146	191	217	3%	1%	31%	14%
区西部	1,226	9%	68	3%	18,060.6	大都市型	22%	1,255	1,264	130	166	181	2%	1%	28%	9%
区西北部	1,916	14%	114	5%	16,817.8	大都市型	23%	2,002	2,044	215	288	318	4%	2%	34%	10%
区東北部	1,325	10%	98	5%	13,494.5	大都市型	25%	1,299	1,240	157	191	178	-2%	-5%	22%	-7%
区東部	1,436	11%	104	5%	13,827.2	大都市型	21%	1,480	1,482	139	179	175	3%	0%	29%	-2%
西多摩	391	3%	573	26%	682.6	地方都市型	28%	365	314	51	71	72	-7%	-14%	39%	1%
南多摩	1,430	11%	325	15%	4,405.2	大都市型	25%	1,412	1,307	163	245	257	-1%	-7%	50%	5%
北多摩西部	641	5%	90	4%	7,114.0	大都市型	24%	640	616	72	98	105	0%	-4%	36%	7%
北多摩南部	1,023	8%	96	4%	10,641.5	大都市型	21%	1,046	1,037	107	143	163	2%	-1%	34%	14%
北多摩北部	731	5%	77	4%	9,560.4	大都市型	25%	728	708	90	118	128	0%	-3%	31%	8%
島しょ	26	0%	399	18%	66.3	過疎地域型	33%	23	18	4	5	4	-12%	-22%	25%	-20%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 13-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
東京都	0.91	0.62	126,993	160,927	-26.7%
区中央部	1.19	0.45	5,369	8,168	-52.1%
区南部	1.05	0.36	8,820	12,275	-39.2%
区西南部	1.06	0.43	10,650	15,033	-41.2%
区西部	1.00	0.57	8,588	15,001	-74.7%
区西北部	0.96	0.66	17,953	24,725	-37.7%
区東北部	1.05	0.54	13,136	16,051	-22.2%
区東部	0.87	0.31	10,901	14,355	-31.7%
西多摩	0.69	1.84	9,762	5,398	44.7%
南多摩	0.70	1.01	17,329	19,599	-13.1%
北多摩西部	0.75	0.77	6,405	8,259	-29.0%
北多摩南部	0.71	0.53	9,554	12,089	-26.5%
北多摩北部	0.69	0.81	8,198	9,565	-16.7%
島しょ	0.18	0.37	328	409	-24.8%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 13-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
東京都	311	40	0.981	109	41	0.895	178	42	1.034	256	50
区中央部	292	35	0.961	98	37	0.830	169	37	1.037	283	58
区南部	343	47	1.022	122	45	0.933	195	51	1.077	254	50
区西南部	288	35	0.933	95	36	0.792	167	36	1.009	287	59
区西部	272	31	0.935	92	35	0.815	157	30	1.004	273	55
区西北部	303	38	0.972	108	40	0.892	172	38	1.024	267	54
区東北部	319	42	0.987	110	41	0.872	186	46	1.070	270	54
区東部	325	43	1.003	111	41	0.879	190	49	1.087	238	45
西多摩	324	43	0.920	122	45	0.891	177	42	0.933	210	37
南多摩	332	45	0.946	120	44	0.882	186	47	0.983	222	40
北多摩西部	325	43	0.950	122	45	0.913	178	42	0.961	237	45
北多摩南部	312	40	0.937	108	40	0.835	178	42	0.995	258	51
北多摩北部	325	43	0.954	119	44	0.894	181	44	0.987	252	49
島しょ	339	46	0.965	161	57	1.173	157	30	0.829	261	52
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 13-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
東京都	913	49	1.006	424	46	0.933	448	55	1.071
区中央部	965	53	1.056	450	48	0.973	475	62	1.138
区南部	979	54	1.077	458	49	1.002	480	63	1.147
区西南部	950	52	1.034	429	46	0.917	480	63	1.148
区西部	955	52	1.039	450	48	0.963	462	59	1.107
区西北部	941	51	1.035	449	48	0.982	453	56	1.083
区東北部	934	50	1.040	424	46	0.954	472	61	1.124
区東部	901	48	1.008	399	43	0.905	463	59	1.107
西多摩	810	40	0.900	411	44	0.915	356	31	0.855
南多摩	844	43	0.945	392	43	0.887	412	46	0.986
北多摩西部	858	44	0.955	412	45	0.923	403	43	0.965
北多摩南部	885	46	0.972	402	44	0.876	442	54	1.058
北多摩北部	858	44	0.950	405	44	0.898	412	46	0.985
島しょ	757	36	0.821	390	42	0.825	342	27	0.820
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

13.東京都(2019年版)

資_図表 13-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
東京都	647	7.7%	4.8	45	13,429	13.2%	99	60
区中央部	49	8%	5.7	48	2,327	17%	270	150
区南部	44	7%	4.0	43	1,054	8%	95	58
区西南部	52	8%	3.7	43	1,784	13%	127	75
区西部	42	6%	3.4	42	1,440	11%	117	70
区西北部	95	15%	5.0	46	1,673	12%	87	54
区東北部	91	14%	6.9	51	970	7%	73	46
区東部	54	8%	3.8	43	1,077	8%	75	47
西多摩	30	5%	7.7	53	247	2%	63	41
南多摩	76	12%	5.3	47	982	7%	69	44
北多摩西部	26	4%	4.1	44	506	4%	79	49
北多摩南部	46	7%	4.5	45	869	6%	85	52
北多摩北部	41	6%	5.6	48	480	4%	66	42
島しょ	1	0%	3.8	43	20	0%	75	47
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 13-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
東京都	13,429	13.2%	99	60	13,080	13.7%	97	62	349	5.0%	2.6	45
区中央部	2,327	17%	270	150	2,297	18%	267	152	30	9%	3.5	47
区南部	1,054	8%	95	58	1,032	8%	93	60	22	6%	2.0	44
区西南部	1,784	13%	127	75	1,748	13%	124	76	36	10%	2.6	45
区西部	1,440	11%	117	70	1,402	11%	114	71	38	11%	3.1	46
区西北部	1,673	12%	87	54	1,623	12%	85	55	50	14%	2.6	45
区東北部	970	7%	73	46	929	7%	70	47	41	12%	3.1	46
区東部	1,077	8%	75	47	1,043	8%	73	49	34	10%	2.4	45
西多摩	247	2%	63	41	232	2%	59	42	15	4%	3.8	47
南多摩	982	7%	69	44	950	7%	66	46	32	9%	2.2	44
北多摩西部	506	4%	79	49	491	4%	77	51	15	4%	2.3	45
北多摩南部	869	6%	85	52	853	7%	83	55	16	5%	1.6	43
北多摩北部	480	4%	66	42	469	4%	64	44	11	3%	1.5	43
島しょ	20	0%	75	47	11	0%	42	32	9	3%	34.0	99
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 13-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
東京都	128,189	8.3%	948	44	3,788	4.0%	28	45	131,977	8.0%	977	44
区中央部	13,562	11%	1,576	58	283	7%	33	45	13,845	10%	1,609	56
区南部	8,134	6%	737	40	223	6%	20	44	8,357	6%	757	40
区西南部	11,021	9%	784	41	369	10%	26	45	11,390	9%	810	41
区西部	10,634	8%	868	43	315	8%	26	45	10,949	8%	893	42
区西北部	17,198	13%	898	43	514	14%	27	45	17,712	13%	924	43
区東北部	10,871	8%	820	42	536	14%	40	46	11,407	9%	861	42
区東部	8,507	7%	593	37	443	12%	31	45	8,950	7%	623	37
西多摩	6,684	5%	1,710	60	165	4%	42	46	6,849	5%	1,752	59
南多摩	17,001	13%	1,189	49	386	10%	27	45	17,387	13%	1,216	49
北多摩西部	4,940	4%	771	41	170	4%	27	45	5,110	4%	798	41
北多摩南部	11,112	9%	1,087	47	176	5%	17	44	11,288	9%	1,104	46
北多摩北部	8,471	7%	1,158	49	144	4%	20	44	8,615	7%	1,178	48
島しょ	54	0%	204	29	64	2%	242	68	118	0%	445	34
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 13-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
東京都	81,347	9.1%	602	46	23,965	7.5%	177	46	22,231	6.7%	164	45
区中央部	12,699	16%	1,475	85	533	2%	62	41	292	1%	34	39
区南部	6,139	8%	556	44	1,797	7%	163	46	178	1%	16	38
区西南部	7,687	9%	547	43	1,997	8%	142	45	1,305	6%	93	42
区西部	8,889	11%	725	51	1,386	6%	113	43	315	1%	26	39
区西北部	10,079	12%	526	42	3,997	17%	209	48	3,090	14%	161	45
区東北部	7,115	9%	537	43	2,266	9%	171	46	1,449	7%	109	43
区東部	6,877	8%	479	40	1,405	6%	98	42	165	1%	11	38
西多摩	1,828	2%	468	40	2,237	9%	572	66	2,615	12%	669	70
南多摩	6,011	7%	420	37	4,094	17%	286	52	6,888	31%	482	61
北多摩西部	3,528	4%	551	43	1,080	5%	169	46	296	1%	46	40
北多摩南部	6,108	8%	597	45	1,392	6%	136	44	3,505	16%	343	54
北多摩北部	4,335	5%	593	45	1,781	7%	243	50	2,133	10%	292	52
島しょ	52	0%	196	27	0	0%	0	37	0	0%	0	38
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 13-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
東京都	6,771	8.4%	50	47	4,935	6.2%	37	46
区中央部	239	4%	28	42	349	7%	41	47
区南部	632	9%	57	49	393	8%	36	46
区西南部	853	13%	61	49	519	11%	37	46
区西部	700	10%	57	49	379	8%	31	46
区西北部	1,289	19%	67	51	591	12%	31	46
区東北部	842	12%	64	50	507	10%	38	47
区東部	336	5%	23	41	569	12%	40	47
西多摩	173	3%	44	46	206	4%	53	49
南多摩	531	8%	37	44	585	12%	41	47
北多摩西部	287	4%	45	46	332	7%	52	48
北多摩南部	507	7%	50	47	290	6%	28	45
北多摩北部	382	6%	52	48	205	4%	28	45
島しょ	0	0%	0	36	10	0%	38	47
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 13-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床		
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数の 比率	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)	
東京都	25,726	23,254	118	102,163	58,147	23,596	28.6%	44	0.5%	48	
区中央部	5,948	5,771	80	7,531	6,874	453	45.6%	51	15.0%	54	
区南部	978	978	0	7,228	5,198	1,700	15.8%	39	0.0%	48	
区西南部	4,927	3,943	38	5,958	3,497	2,140	53.0%	53	1.7%	48	
区西部	1,701	1,637	0	8,671	7,046	1,390	18.9%	40	0.0%	48	
区西北部	1,178	1,148	0	15,916	8,933	3,908	11.4%	38	0.0%	48	
区東北部	168	151	0	10,723	7,092	2,227	2.1%	34	0.0%	48	
区東部	1,689	1,643	0	6,804	5,254	1,371	23.8%	42	0.0%	48	
西多摩	1,189	1,139	0	5,365	656	2,144	63.5%	57	0.0%	48	
南多摩	1,037	1,037	0	15,931	5,002	4,086	17.2%	40	0.0%	48	
北多摩西部	1,781	1,292	0	3,057	1,960	1,097	39.7%	48	0.0%	48	
北多摩南部	2,607	2,289	0	8,477	3,931	1,340	36.8%	47	0.0%	48	
北多摩北部	2,471	2,174	0	6,502	2,704	1,740	44.6%	50	0.0%	48	
島しょ	52	52	0	0	0	0	100.0%	71			
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。										

資_図表 13-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
東京都	263,568	11.9%	1,950	53	96,708	10.5%	716	50
区中央部	68,808	26%	7,995	126	11,412	12%	1,326	73
区南部	22,344	8%	2,024	53	5,688	6%	515	42
区西南部	25,104	10%	1,786	51	11,184	12%	796	53
区西部	30,156	11%	2,460	59	9,420	10%	768	52
区西北部	23,916	9%	1,248	44	12,192	13%	636	47
区東北部	12,972	5%	979	41	7,668	8%	579	44
区東部	23,988	9%	1,671	49	10,500	11%	731	50
西多摩	3,804	1%	973	41	2,340	2%	599	45
南多摩	16,416	6%	1,148	43	7,944	8%	555	44
北多摩西部	9,408	4%	1,469	47	8,952	9%	1,397	75
北多摩南部	20,448	8%	2,000	53	6,912	7%	676	48
北多摩北部	6,204	2%	848	39	2,472	3%	338	35
島しょ	0	0%	0	29	24	0%	91	26
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 13-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
東京都	42,497	13.6%	314	58	27,744	13.3%	205	56	14,753	14.2%	109	62
区中央部	10,224	24%	1,188	153	7,516	27%	873	147	2,708	18%	315	148
区南部	3,236	8%	293	55	2,159	8%	196	54	1,077	7%	98	57
区西南部	4,445	10%	316	58	2,433	9%	173	51	2,012	14%	143	76
区西部	6,022	14%	491	77	4,220	15%	344	75	1,802	12%	147	78
区西北部	4,848	11%	253	51	3,021	11%	158	49	1,827	12%	95	56
区東北部	2,226	5%	168	42	1,199	4%	90	40	1,027	7%	77	48
区東部	2,894	7%	202	45	1,736	6%	121	44	1,158	8%	81	50
西多摩	656	2%	168	42	432	2%	111	43	224	2%	57	40
南多摩	2,387	6%	167	41	1,378	5%	96	41	1,009	7%	71	45
北多摩西部	1,224	3%	191	44	687	2%	107	42	537	4%	84	51
北多摩南部	3,131	7%	306	57	2,222	8%	217	57	909	6%	89	53
北多摩北部	1,174	3%	160	41	735	3%	100	41	439	3%	60	41
島しょ	30	0%	113	36	6	0%	23	31	24	0%	91	54
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

13.東京都(2019年版)

資_図表 13-13 専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
東京都	4,397	15.1%	32.5	58	2,054	14.6%	15.2	59	1,710	15.1%	12.7	59
区中央部	1,202	27%	139.7	152	343	17%	39.9	109	440	26%	51.1	154
区南部	315	7%	28.5	55	137	7%	12.4	53	111	6%	10.1	53
区西南部	454	10%	32.3	58	279	14%	19.9	68	213	12%	15.2	65
区西部	612	14%	49.9	74	253	12%	20.6	70	251	15%	20.5	79
区西北部	451	10%	23.5	51	232	11%	12.1	52	184	11%	9.6	52
区東北部	211	5%	15.9	44	131	6%	9.9	48	82	5%	6.2	43
区東部	288	7%	20.1	47	155	8%	10.8	50	130	8%	9.1	50
西多摩	77	2%	19.7	47	20	1%	5.1	38	25	1%	6.4	44
南多摩	232	5%	16.2	44	124	6%	8.7	45	87	5%	6.1	43
北多摩西部	110	3%	17.2	45	78	4%	12.2	52	46	3%	7.2	46
北多摩南部	308	7%	30.1	56	224	11%	21.9	72	111	6%	10.9	55
北多摩北部	137	3%	18.7	46	77	4%	10.5	49	28	2%	3.8	38
島しょ	0	0%	0	30	1	0%	3.8	35	2	0%	7.5	47
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

資_図表 13-14 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	眼科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	耳鼻咽喉 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
東京都	947	16.5%	7.0	61	1,436	14.5%	10.6	59	1,103	14.6%	8.2	58
区中央部	209	22%	24.3	139	299	21%	34.7	134	245	22%	28.5	133
区南部	82	9%	7.4	63	114	8%	10.3	58	101	9%	9.1	62
区西南部	130	14%	9.2	71	166	12%	11.8	62	113	10%	8.0	58
区西部	147	16%	12.0	84	213	15%	17.4	80	138	13%	11.3	69
区西北部	106	11%	5.5	55	174	12%	9.1	54	142	13%	7.4	55
区東北部	49	5%	3.7	46	102	7%	7.7	50	79	7%	6.0	50
区東部	54	6%	3.8	47	104	7%	7.2	48	93	8%	6.5	52
西多摩	7	1%	1.8	38	16	1%	4.1	38	8	1%	2.0	36
南多摩	52	5%	3.6	46	78	5%	5.5	43	49	4%	3.4	41
北多摩西部	30	3%	4.7	51	41	3%	6.4	46	27	2%	4.2	44
北多摩南部	58	6%	5.7	55	90	6%	8.8	53	79	7%	7.7	56
北多摩北部	23	2%	3.1	44	39	3%	5.3	42	29	3%	4.0	43
島しょ	0	0%	0	30	0	0%	0	26	0	0%	0	28
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

資_図表 13-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	整形外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
東京都	1,333	13.8%	9.9	56	2,841	13.0%	21.0	55	1,858	11.0%	13.7	51
区中央部	258	19%	30.0	111	777	27%	90.3	154	317	17%	36.8	101
区南部	61	5%	5.5	44	216	8%	19.6	53	161	9%	14.6	53
区西南部	179	13%	12.7	64	240	8%	17.1	50	215	12%	15.3	54
区西部	145	11%	11.8	61	374	13%	30.5	69	216	12%	17.6	59
区西北部	181	14%	9.4	55	284	10%	14.8	47	236	13%	12.3	48
区東北部	73	5%	5.5	44	181	6%	13.7	45	137	7%	10.3	44
区東部	58	4%	4.0	40	232	8%	16.2	48	164	9%	11.4	46
西多摩	27	2%	6.9	48	36	1%	9.2	39	32	2%	8.2	39
南多摩	135	10%	9.4	55	173	6%	12.1	43	120	6%	8.4	39
北多摩西部	32	2%	5.0	43	88	3%	13.7	45	77	4%	12.0	47
北多摩南部	122	9%	11.9	62	157	6%	15.4	47	134	7%	13.1	50
北多摩北部	62	5%	8.5	52	80	3%	10.9	41	49	3%	6.7	36
島しょ	0	0%	0	29	3	0%	11.3	42	0	0%	0	21
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

資_図表 13-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	脳神経外 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	放射線科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
東京都	685	11.0%	5.1	51	836	12.0%	6.2	53	838	14.1%	6.2	55
区中央部	143	21%	16.6	104	181	22%	21.0	113	279	33%	32.4	138
区南部	60	9%	5.4	53	79	9%	7.2	57	66	8%	6.0	54
区西南部	65	9%	4.6	49	74	9%	5.3	49	75	9%	5.3	52
区西部	109	16%	8.9	68	115	14%	9.4	66	122	15%	10.0	67
区西北部	72	11%	3.8	45	86	10%	4.5	46	67	8%	3.5	46
区東北部	36	5%	2.7	40	49	6%	3.7	43	25	3%	1.9	41
区東部	54	8%	3.8	45	57	7%	4.0	44	66	8%	4.6	50
西多摩	13	2%	3.3	43	17	2%	4.3	45	10	1%	2.6	43
南多摩	46	7%	3.2	42	62	7%	4.3	45	31	4%	2.2	42
北多摩西部	30	4%	4.7	49	26	3%	4.1	44	23	3%	3.6	47
北多摩南部	40	6%	3.9	46	63	8%	6.2	53	50	6%	4.9	51
北多摩北部	17	2%	2.3	38	27	3%	3.7	43	24	3%	3.3	46
島しょ	0	0%	0	28	0	0%	0	28	0	0%	0	35
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

13.東京都(2019年版)

資_図表 13-17 専門医数（麻醉科、病理、救急科）

二次医療圏	麻醉科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
東京都	1,010	13.7%	7.5	55	246	14.7%	1.8	55	595	14.0%	4.4	55
区中央部	251	25%	29.2	121	83	34%	9.6	134	124	21%	14.4	102
区南部	94	9%	8.5	58	19	8%	1.7	54	31	5%	2.8	47
区西南部	99	10%	7.0	54	26	11%	1.8	55	57	10%	4.1	53
区西部	150	15%	12.2	69	24	10%	2.0	57	77	13%	6.3	64
区西北部	91	9%	4.7	47	22	9%	1.1	48	65	11%	3.4	50
区東北部	45	4%	3.4	43	7	3%	0.5	42	26	4%	2.0	43
区東部	91	9%	6.3	52	21	9%	1.5	52	52	9%	3.6	51
西多摩	17	2%	4.3	46	5	2%	1.3	50	10	2%	2.6	46
南多摩	39	4%	2.7	41	13	5%	0.9	46	52	9%	3.6	51
北多摩西部	25	2%	3.9	44	10	4%	1.6	53	29	5%	4.5	56
北多摩南部	81	8%	7.9	56	10	4%	1.0	47	58	10%	5.7	61
北多摩北部	27	3%	3.7	44	6	2%	0.8	45	13	2%	1.8	43
島しょ	0	0%	0	32	0	0%	0	37	1	0%	3.8	52
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 13-18 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
東京都	437	19.7%	3.2	62	286	10.4%	2.1	50
区中央部	139	32%	16.2	162	45	16%	5.2	71
区南部	25	6%	2.3	54	20	7%	1.8	48
区西南部	61	14%	4.3	70	30	10%	2.1	50
区西部	66	15%	5.4	78	37	13%	3.0	56
区西北部	47	11%	2.5	55	40	14%	2.1	49
区東北部	14	3%	1.1	45	16	6%	1.2	43
区東部	21	5%	1.5	48	25	9%	1.7	47
西多摩	2	0%	0.5	40	5	2%	1.3	44
南多摩	16	4%	1.1	45	16	6%	1.1	43
北多摩西部	9	2%	1.4	47	16	6%	2.5	52
北多摩南部	29	7%	2.8	58	21	7%	2.1	49
北多摩北部	8	2%	1.1	45	15	5%	2.1	49
島しょ	0	0%	0	36	0	0%	0	35
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 13-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
東京都	97,703	8.5%	723	44	78,458	8.5%	581	44	19,245	8.5%	142	45
区中央部	15,937	16%	1,852	83	12,142	15%	1,411	78	3,795	20%	441	87
区南部	7,242	7%	656	41	6,035	8%	547	43	1,207	6%	109	40
区西南部	9,025	9%	642	41	6,954	9%	495	41	2,071	11%	147	46
区西部	10,313	11%	841	48	8,236	10%	672	48	2,077	11%	169	49
区西北部	12,272	13%	641	41	10,006	13%	522	42	2,266	12%	118	42
区東北部	7,260	7%	548	38	5,664	7%	427	38	1,595	8%	120	42
区東部	7,896	8%	550	38	6,283	8%	438	38	1,613	8%	112	41
西多摩	2,793	3%	715	44	2,434	3%	623	46	359	2%	92	38
南多摩	8,765	9%	613	40	7,296	9%	510	41	1,468	8%	103	39
北多摩西部	3,897	4%	608	40	3,000	4%	468	39	897	5%	140	45
北多摩南部	7,680	8%	751	45	6,544	8%	640	47	1,136	6%	111	41
北多摩北部	4,499	5%	615	40	3,841	5%	525	42	658	3%	90	38
島しょ	125	0%	472	35	23	0%	86	24	102	1%	386	79
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 13-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
東京都	10,849	7.8%	80	45	50,562	16.2%	374	63
区中央部	666	6%	77	44	15,560	31%	1,808	201
区南部	868	8%	79	45	3,718	7%	337	59
区西南部	1,101	10%	78	45	4,274	8%	304	56
区西部	1,009	9%	82	45	4,966	10%	405	66
区西北部	1,765	16%	92	47	5,348	11%	279	53
区東北部	1,147	11%	87	46	2,765	5%	209	46
区東部	906	8%	63	42	3,280	6%	228	48
西多摩	363	3%	93	47	686	1%	175	43
南多摩	1,134	10%	79	45	3,622	7%	253	51
北多摩西部	493	5%	77	44	1,652	3%	258	51
北多摩南部	768	7%	75	44	2,862	6%	280	53
北多摩北部	627	6%	86	46	1,804	4%	247	50
島しょ	2	0%	8	32	25	0%	94	35
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

13.東京都(2019年版)

資_図表 13-21 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養 支援診療 所	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	在宅療養 支援病院	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 ステーショ ン	県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
東京都	1,521	10.5%	1.0	53	127	8.6%	0.1	49	1,099	9.5%	0.7	52
区中央部	172	11%	2.1	78	4	3%	0.0	44	90	8%	1.1	68
区南部	138	9%	1.2	57	7	6%	0.1	46	88	8%	0.8	53
区西南部	202	13%	1.4	61	8	6%	0.1	45	132	12%	0.9	59
区西部	174	11%	1.3	60	6	5%	0.0	44	99	9%	0.8	52
区西北部	244	16%	1.1	56	23	18%	0.1	52	140	13%	0.7	48
区東北部	130	9%	0.8	49	28	22%	0.2	62	111	10%	0.7	50
区東部	130	9%	0.9	51	10	8%	0.1	47	111	10%	0.8	54
西多摩	17	1%	0.3	38	5	4%	0.1	51	31	3%	0.6	46
南多摩	107	7%	0.7	45	14	11%	0.1	49	98	9%	0.6	45
北多摩西部	46	3%	0.6	44	7	6%	0.1	51	53	5%	0.7	51
北多摩南部	92	6%	0.9	49	9	7%	0.1	49	85	8%	0.8	54
北多摩北部	66	4%	0.7	46	6	5%	0.1	47	59	5%	0.7	48
島しょ	3	0%	0.7	46	0	0%	0	37	2	0%	0.5	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 13-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者 施設・住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
東京都	139,586	8.1%	95	44	71,911	7.2%	49	40	67,675	9.5%	46	51
区中央部	5,958	4%	74	31	3,254	5%	41	33	2,704	4%	34	44
区南部	9,300	7%	82	36	3,920	5%	35	28	5,380	8%	48	52
区西南部	11,903	9%	81	36	4,086	6%	28	23	7,817	12%	53	56
区西部	9,074	7%	70	29	3,962	6%	30	25	5,112	8%	39	47
区西北部	19,669	14%	92	42	9,501	13%	44	36	10,168	15%	47	52
区東北部	15,606	11%	99	47	8,333	12%	53	43	7,273	11%	46	52
区東部	11,241	8%	81	35	5,953	8%	43	35	5,288	8%	38	46
西多摩	9,970	7%	196	104	8,952	12%	176	142	1,018	2%	20	35
南多摩	19,192	14%	117	57	9,815	14%	60	49	9,377	14%	57	59
北多摩西部	7,259	5%	101	47	4,219	6%	59	48	3,040	4%	42	49
北多摩南部	10,639	8%	99	46	4,467	6%	42	34	6,172	9%	58	59
北多摩北部	9,417	7%	104	49	5,130	7%	57	46	4,287	6%	47	52
島しょ	358	0%	83	37	319	0%	74	60	39	0%	9	28
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅 定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人 ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合 計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループ ホーム、サ高住の合計			

資_図表 13-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
東京都	21,239	5.8%	14	36	46,171	7.9%	31	46	4,501	8.6%	3.1	50
区中央部	889	4%	11	31	2,318	5%	29	43	47	1%	0.6	43
区南部	886	4%	8	25	2,641	6%	23	37	393	9%	3.5	51
区西南部	1,115	5%	8	25	2,721	6%	19	33	250	6%	1.7	46
区西部	868	4%	7	23	2,933	6%	23	37	161	4%	1.2	45
区西北部	3,184	15%	15	37	5,578	12%	26	40	739	16%	3.4	51
区東北部	3,115	15%	20	46	4,993	11%	32	46	225	5%	1.4	45
区東部	2,328	11%	17	40	3,499	8%	25	39	126	3%	0.9	44
西多摩	1,565	7%	31	64	6,680	14%	131	147	707	16%	13.9	78
南多摩	2,641	12%	16	39	6,059	13%	37	51	1,115	25%	6.8	60
北多摩西部	1,532	7%	21	48	2,627	6%	37	51	60	1%	0.8	44
北多摩南部	1,597	8%	15	37	2,561	6%	24	38	309	7%	2.9	49
北多摩北部	1,519	7%	17	40	3,242	7%	36	50	369	8%	4.1	52
島しょ	0	0%	0	12	319	1%	74	89	0	0%	0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
東京都	42,430	17.6%	28.9	63	710	3.0%	0.5	45	9,989	4.9%	6.8	40
区中央部	1,547	4%	19.3	54	118	17%	1.5	50	450	5%	5.6	38
区南部	3,512	8%	31.0	65	110	15%	1.0	48	981	10%	8.7	43
区西南部	5,294	12%	36.1	70	0	0%	0	43	1,017	10%	6.9	40
区西部	3,515	8%	27.0	61	170	24%	1.3	49	941	9%	7.2	41
区西北部	6,673	16%	31.1	65	0	0%	0	43	1,368	14%	6.4	39
区東北部	3,434	8%	21.9	57	60	8%	0.4	45	1,309	13%	8.3	43
区東部	3,661	9%	26.3	61	118	17%	0.8	47	1,140	11%	8.2	42
西多摩	490	1%	9.6	45	0	0%	0	43	171	2%	3.4	34
南多摩	6,328	15%	38.7	72	30	4%	0.2	44	923	9%	5.6	38
北多摩西部	1,439	3%	20.0	55	64	9%	0.9	47	447	4%	6.2	39
北多摩南部	4,287	10%	40.0	73	40	6%	0.4	45	640	6%	6.0	39
北多摩北部	2,250	5%	24.9	59	0	0%	0	43	593	6%	6.6	40
島しょ	0	0%	0	36	0	0%	0	43	9	0%	2.1	32
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

13.東京都(2019年版)

資_図表 13-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
東京都	14,546	5.9%	9.9	43	1,953	7.6%	1.3	49	12,593	5.7%	8.6	43
区中央部	589	4%	7.3	40	0	0%	0	42	589	5%	7.3	41
区南部	777	5%	6.9	39	297	15%	2.6	55	480	4%	4.2	37
区西南部	1,506	10%	10.3	44	253	13%	1.7	51	1,253	10%	8.6	43
区西部	486	3%	3.7	35	0	0%	0	42	486	4%	3.7	36
区西北部	2,127	15%	9.9	43	411	21%	1.9	52	1,716	14%	8.0	42
区東北部	2,470	17%	15.7	51	0	0%	0	42	2,470	20%	15.7	53
区東部	369	3%	2.7	33	29	1%	0.2	43	340	3%	2.4	35
西多摩	357	2%	7.0	39	149	8%	2.9	57	208	2%	4.1	37
南多摩	2,096	14%	12.8	47	233	12%	1.4	49	1,863	15%	11.4	47
北多摩西部	1,090	7%	15.2	50	236	12%	3.3	59	854	7%	11.9	48
北多摩南部	1,205	8%	11.2	45	120	6%	1.1	48	1,085	9%	10.1	45
北多摩北部	1,444	10%	16.0	51	225	12%	2.5	55	1,219	10%	13.5	50
島しょ	30	0%	7.0	39	0	0%	0	42	30	0%	7.0	41
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 13-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
東京都	14,655	8.4%	10.0	47	8,854	7.4%	6.0	43	5,801	10.4%	3.9	55
区中央部	821	6%	10.2	48	387	4%	4.8	37	434	7%	5.4	67
区南部	1,031	7%	9.1	43	577	7%	5.1	38	454	8%	4.0	55
区西南部	1,616	11%	11.0	51	814	9%	5.6	41	802	14%	5.5	68
区西部	1,099	8%	8.4	40	551	6%	4.2	34	548	9%	4.2	57
区西北部	2,128	15%	9.9	46	1,358	15%	6.3	45	769	13%	3.6	51
区東北部	1,365	9%	8.7	41	805	9%	5.1	38	560	10%	3.6	51
区東部	1,256	9%	9.0	42	686	8%	4.9	37	570	10%	4.1	56
西多摩	821	6%	16.2	75	666	8%	13.1	81	155	3%	3.1	47
南多摩	1,727	12%	10.6	49	1,244	14%	7.6	52	482	8%	3.0	46
北多摩西部	731	5%	10.2	47	441	5%	6.1	44	289	5%	4.0	55
北多摩南部	1,110	8%	10.4	48	692	8%	6.5	46	418	7%	3.9	54
北多摩北部	925	6%	10.2	48	609	7%	6.7	47	316	5%	3.5	51
島しょ	25	0%	5.9	28	23	0%	5.3	39	3	0%	0.6	26
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 13-27 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
東京都	112,446	7.4%	77	36	92,925	7.2%	63	35	19,521	8.9%	13.3	50
区中央部	5,478	5%	68	28	4,199	5%	52	25	1,279	7%	15.9	55
区南部	7,229	6%	64	24	5,975	6%	53	25	1,254	6%	11.1	46
区西南部	9,631	9%	66	26	7,488	8%	51	23	2,143	11%	14.6	52
区西部	8,564	8%	66	26	6,894	7%	53	25	1,670	9%	12.8	49
区西北部	16,752	15%	78	37	13,264	14%	62	33	3,488	18%	16.2	55
区東北部	13,300	12%	85	43	10,710	12%	68	40	2,590	13%	16.5	56
区東部	9,607	9%	69	29	7,837	8%	56	28	1,770	9%	12.7	49
西多摩	7,091	6%	140	91	6,756	7%	133	101	335	2%	6.6	37
南多摩	13,703	12%	84	42	12,011	13%	74	45	1,692	9%	10.4	44
北多摩西部	5,668	5%	79	38	4,822	5%	67	38	846	4%	11.8	47
北多摩南部	8,019	7%	75	34	6,663	7%	62	34	1,356	7%	12.7	49
北多摩北部	7,106	6%	79	38	6,055	7%	67	38	1,051	5%	11.6	47
島しょ	297	0%	69	29	252	0%	58	30	45	0%	10.5	44
出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの												

資_図表 13-28 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
東京都	168,121	13.7%	114	61	74,657	13.5%	51	62	115,054	10.3%	78	54
区中央部	11,719	7%	146	70	5,356	7%	67	73	6,841	6%	85	57
区南部	14,033	8%	124	64	6,720	9%	59	68	7,796	7%	69	50
区西南部	22,433	13%	153	72	11,491	15%	78	82	13,411	12%	92	60
区西部	13,188	8%	101	57	7,757	10%	60	68	10,015	9%	77	54
区西北部	25,030	15%	117	62	8,506	11%	40	54	18,273	16%	85	57
区東北部	27,600	16%	176	79	6,116	8%	39	54	15,508	13%	99	63
区東部	12,325	7%	89	54	6,472	9%	46	59	9,893	9%	71	51
西多摩	1,872	1%	37	39	1,389	2%	27	45	1,938	2%	38	37
南多摩	16,112	10%	99	57	6,916	9%	42	56	10,825	9%	66	49
北多摩西部	7,216	4%	100	57	3,989	5%	55	65	4,998	4%	70	50
北多摩南部	8,839	5%	82	52	5,385	7%	50	62	8,651	8%	81	55
北多摩北部	7,587	5%	84	52	4,544	6%	50	62	6,657	6%	74	52
島しょ	167	0%	39	40	16	0%	4	29	248	0%	58	45
出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの												

13.東京都(2019年版)

資_図表 13-29 総人口の推移と医療需要の増減（医療費ベース）

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
東京都		12,576,601	13,515,271	7%	13,845,936	10%	19%	7%	28%
区中央部	大都市型	680,856	860,669	26%	982,355	44%	28%	15%	47%
区南部	大都市型	1,012,031	1,103,937	9%	1,165,015	15%	18%	8%	27%
区西南部	大都市型	1,308,563	1,405,501	7%	1,448,969	11%	19%	8%	28%
区西部	大都市型	1,144,930	1,225,772	7%	1,254,764	10%	14%	7%	22%
区西北部	大都市型	1,796,419	1,915,881	7%	2,002,021	11%	18%	10%	30%
区東北部	大都市型	1,240,892	1,325,299	7%	1,298,951	5%	19%	1%	20%
区東部	大都市型	1,305,962	1,435,681	10%	1,480,371	13%	21%	5%	28%
西多摩	地方都市型	398,832	390,897	-2%	364,620	-9%	16%	4%	20%
南多摩	大都市型	1,364,453	1,430,411	5%	1,411,574	3%	23%	9%	34%
北多摩西部	大都市型	618,886	640,617	4%	640,428	3%	18%	7%	26%
北多摩南部	大都市型	968,714	1,022,646	6%	1,046,144	8%	17%	8%	27%
北多摩北部	大都市型	707,319	731,469	3%	728,025	3%	17%	6%	24%
島しょ	過疎地域型	28,744	26,491	-8%	22,699	-21%	0%	-8%	-7%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0～64歳人口)+(65～74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 13-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
東京都	665	5.3	45	647	4.8	45	-18	-3%
区中央部	60	8.8	54	49	5.7	48	-11	-18%
区南部	47	4.6	44	44	4.0	43	-3	-6%
区西南部	56	4.3	43	52	3.7	43	-4	-7%
区西部	47	4.1	42	42	3.4	42	-5	-11%
区西北部	103	5.7	46	95	5.0	46	-8	-8%
区東北部	80	6.4	48	91	6.9	51	11	14%
区東部	51	3.9	42	54	3.8	43	3	6%
西多摩	29	7.3	50	30	7.7	53	1	3%
南多摩	76	5.6	46	76	5.3	47	0	0%
北多摩西部	23	3.7	41	26	4.1	44	3	13%
北多摩南部	47	4.9	44	46	4.5	45	-1	-2%
北多摩北部	45	6.4	48	41	5.6	48	-4	-9%
島しょ	1	3.5	41	1	3.8	43	0	0%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 13-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
東京都	12,197	97	60	13,429	99	60	1,232	10%
区中央部	1,885	277	150	2,327	270	150	442	23%
区南部	1,016	100	62	1,054	95	58	38	4%
区西南部	1,557	119	71	1,784	127	75	227	15%
区西部	1,440	126	75	1,440	117	70	0	0%
区西北部	1,581	88	56	1,673	87	54	92	6%
区東北部	892	72	48	970	73	46	78	9%
区東部	914	70	47	1,077	75	47	163	18%
西多摩	253	63	44	247	63	41	-6	-2%
南多摩	911	67	45	982	69	44	71	8%
北多摩西部	469	76	50	506	79	49	37	8%
北多摩南部	796	82	53	869	85	52	73	9%
北多摩北部	465	66	45	480	66	42	15	3%
島しょ	18	63	43	20	75	47	2	11%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 13-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
東京都	34,463	274	57	42,497	314	58	8,034	23%
区中央部	8,204	1,205	168	10,224	1,188	153	2,020	25%
区南部	2,749	272	57	3,236	293	55	487	18%
区西南部	3,676	281	58	4,445	316	58	769	21%
区西部	5,235	457	79	6,022	491	77	787	15%
区西北部	3,844	214	50	4,848	253	51	1,004	26%
区東北部	1,809	146	42	2,226	168	42	417	23%
区東部	1,788	137	41	2,894	202	45	1,106	62%
西多摩	501	126	40	656	168	42	155	31%
南多摩	2,064	151	43	2,387	167	41	323	16%
北多摩西部	924	149	43	1,224	191	44	300	32%
北多摩南部	2,416	249	55	3,131	306	57	715	30%
北多摩北部	1,219	172	45	1,174	160	41	-45	-4%
島しょ	34	118	39	30	113	36	-4	-12%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

13.東京都(2019年版)

資_図表 13-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
東京都	137,402	109	44	131,977	98	44	-5,425	-4%
区中央部	15,606	229	66	13,845	161	56	-1,761	-11%
区南部	9,041	89	41	8,357	76	40	-684	-8%
区西南部	13,040	100	42	11,390	81	41	-1,650	-13%
区西部	11,586	101	43	10,949	89	42	-637	-5%
区西北部	19,479	108	44	17,712	92	43	-1,767	-9%
区東北部	10,518	85	40	11,407	86	42	889	8%
区東部	7,697	59	35	8,950	62	37	1,253	16%
西多摩	6,880	173	55	6,849	175	59	-31	0%
南多摩	17,567	129	48	17,387	122	49	-180	-1%
北多摩西部	4,344	70	37	5,110	80	41	766	18%
北多摩南部	11,134	115	45	11,288	110	46	154	1%
北多摩北部	10,392	147	51	8,615	118	48	-1,777	-17%
島しょ	118	41	32	118	45	34	0	0%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 13-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
東京都	90,472	72	46	85,016	63	45	-5,456	-6%
区中央部	14,619	215	96	12,971	151	79	-1,648	-11%
区南部	7,352	73	46	6,356	58	43	-996	-14%
区西南部	9,225	70	45	8,056	57	42	-1,169	-13%
区西部	9,633	84	50	9,204	75	49	-429	-4%
区西北部	12,029	67	44	10,577	55	42	-1,452	-12%
区東北部	7,076	57	41	7,632	58	43	556	8%
区東部	6,566	50	38	7,305	51	40	739	11%
西多摩	1,944	49	38	1,974	50	40	30	2%
南多摩	6,654	49	38	6,397	45	38	-257	-4%
北多摩西部	3,301	53	39	3,681	57	43	380	12%
北多摩南部	6,495	67	44	6,269	61	44	-226	-3%
北多摩北部	5,462	77	48	4,479	61	44	-983	-18%
島しょ	116	40	35	115	43	37	-1	-1%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 13-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

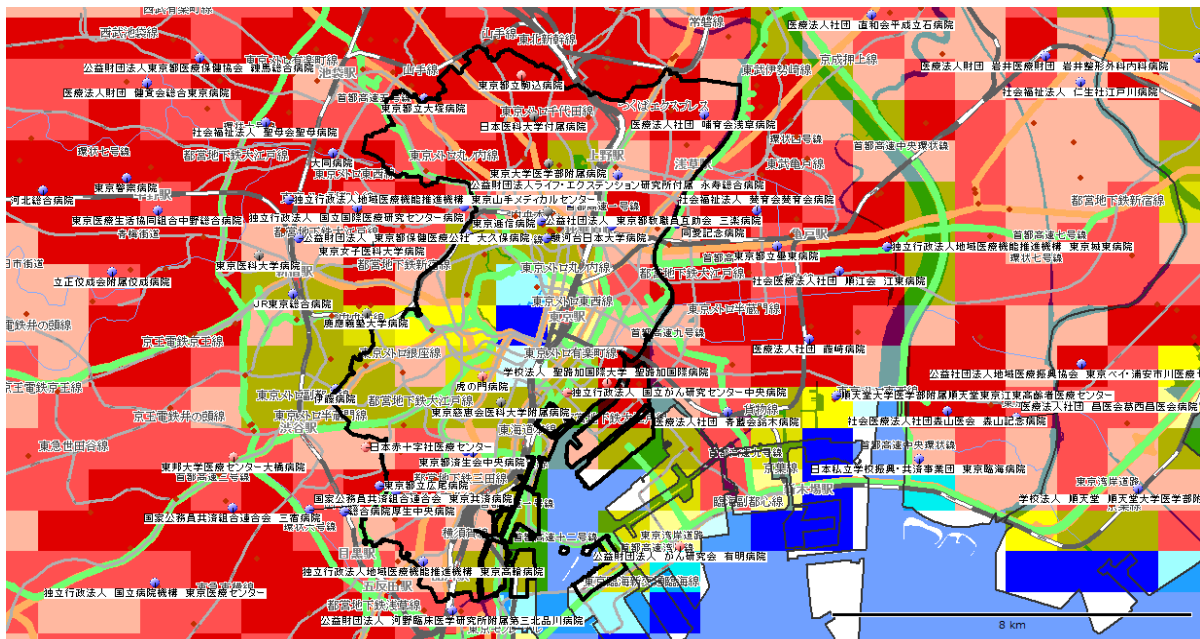
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
東京都	20,102	21	43	24,084	16	47	3,982	20%
区中央部	596	10	37	544	7	38	-52	-9%
区南部	1,261	16	41	1,803	16	46	542	43%
区西南部	1,245	12	38	1,997	14	44	752	60%
区西部	1,519	15	40	1,386	11	41	-133	-9%
区西北部	3,516	23	45	4,013	19	49	497	14%
区東北部	1,942	20	43	2,285	15	45	343	18%
区東部	896	11	38	1,420	10	41	524	58%
西多摩	2,348	70	72	2,256	44	72	-92	-4%
南多摩	3,185	35	51	4,094	25	54	909	29%
北多摩西部	843	19	43	1,097	15	46	254	30%
北多摩南部	1,216	17	41	1,407	13	44	191	16%
北多摩北部	1,535	28	48	1,781	20	50	246	16%
島しょ	0	0	32	1	0	32	1	100%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

くちゅうおうぶ 13-1. 区中央部医療圏

構成市区町村 [千代田区](#) [台東区](#) [中央区](#) [港区](#) [文京区](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区中央部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 区中央部(千代田区)は、総人口約861千人(2015年)、面積64km²、人口密度は13,524人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 区中央部の総人口は2025年に982千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年に1,067千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の80千人が、2025年にかけて104千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には119千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 区中央部の一人当たり医療費(国保)は292千円(偏差値35)、介護給付費は283千円(偏差値58)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 区中央部の一人当たり急性期医療密度指数は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数は0.45で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が153(病院医師数147、診療所医師数148)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は83と非常に多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は85で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は126と非常に多い。区中央部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国際医療福祉大学三田病院(Ⅲ群)、東京都済生会中央病院(Ⅲ群・救命)、日本大学病院(Ⅲ群・救命)、国立がん研究センター中央病院(Ⅱ群)、東京都立駒込病院(Ⅱ群)、虎の門病院(Ⅱ群)、聖路加国際病院(Ⅱ群・救命)、三井記念病院(Ⅱ群)、東京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、東京医科歯科大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、順天堂大学医学部附属順天堂医院(Ⅰ群)、日本医科大学付属病院(Ⅰ群・救命)、東京慈恵会医科大学附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の東京通信病院(Ⅲ群)、永寿総合病院(Ⅲ群)、北里研究所病院(Ⅲ群)、500例以上のJCHO東京高輪病院(Ⅲ群)、三楽病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は150で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 区中央部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,958人(75歳以上1,000人当たりの偏差値31)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,254床(偏差値33)、高齢者住宅等が2,704床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,199人(75歳以上1,000人当たりの偏差値25)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設31、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム54、軽費ホーム50、グループホーム38、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値78と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、1,279人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-52%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区中央部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区中央部医療圏の総人口は、2005年680,856人が、2015年に860,669人と26%増加し、2025年の人口が982,355人と予測され、2005年→2025年の間に44%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に28%増加し、2015年から2025年にかけて15%程度の増加が予測される。

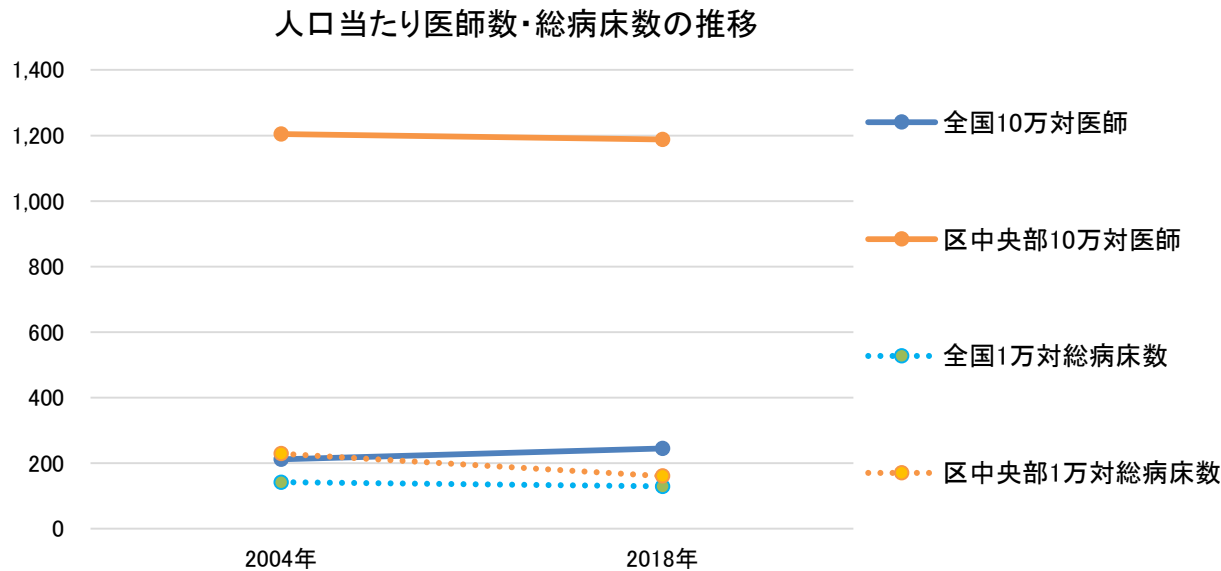
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が60(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2018年に49(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で11病院が減少した。

2004年の診療所数が1,885(人口10万人当たり277診療所(全国平均76)偏差値150)であったが、2018年に2,327(人口10万人当たり270診療所(全国平均80)偏差値150)と、442診療所が増加した。

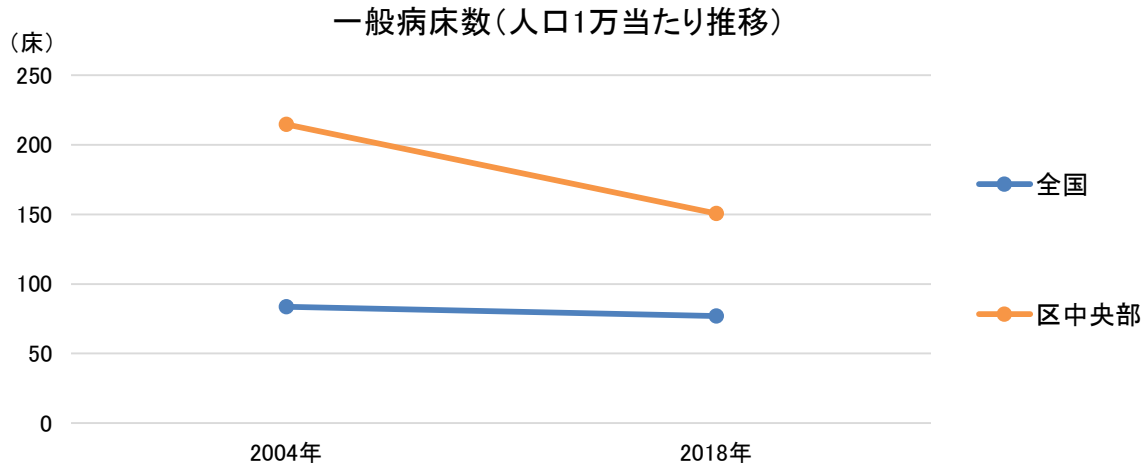
2004年の総病床数が15,606床(人口1万人当たり229(全国平均142)偏差値66)であったが、2018年に13,845床(人口1万人当たり161(全国平均129)偏差値56)と、1,761床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が8,204人(人口10万人当たり1,205人(全国平均212人)偏差値168)であったが、2018年に10,224人(人口10万人当たり1,188人(全国平均245人)偏差値153)と、2,020人の増加、率にして25%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



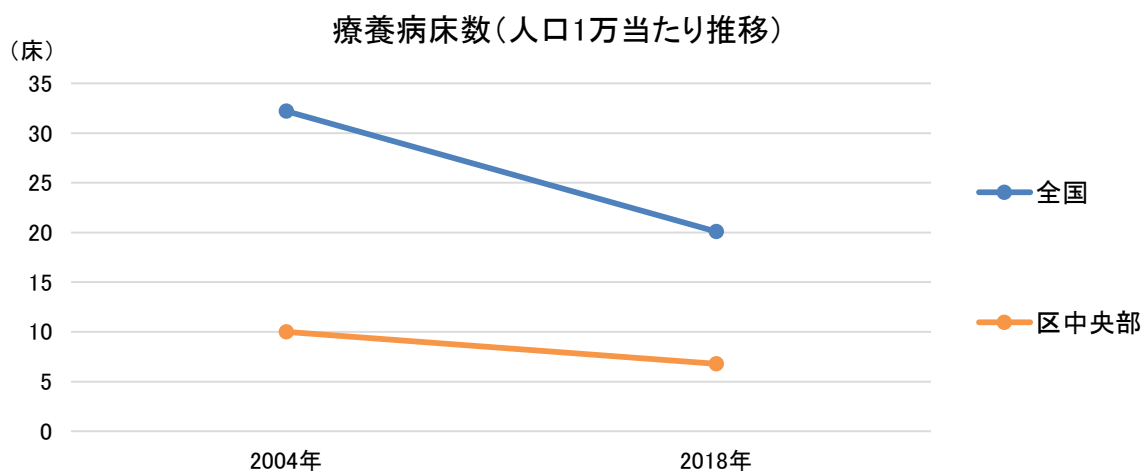
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14,619床(人口1万人当たり215(全国平均84)偏差値96)であったが、2018年に12,971床(人口1万人当たり151(全国平均77)偏差値79)と、1,648床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



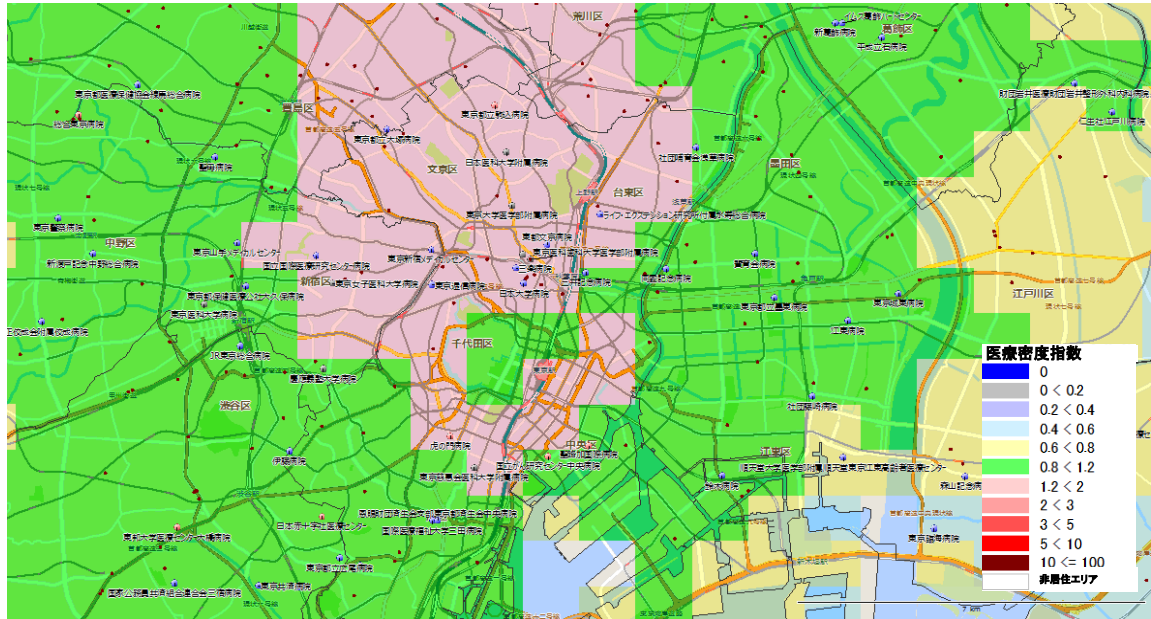
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が596床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2018年に544床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、52床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



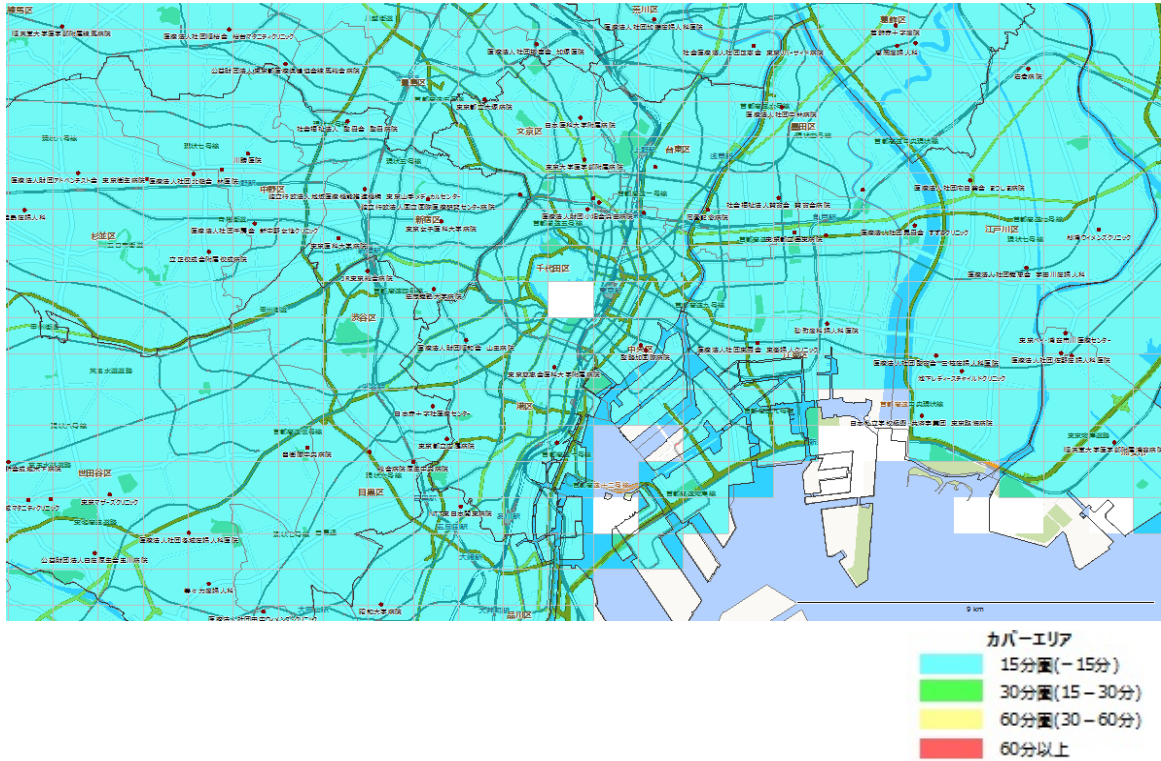
(区中央部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

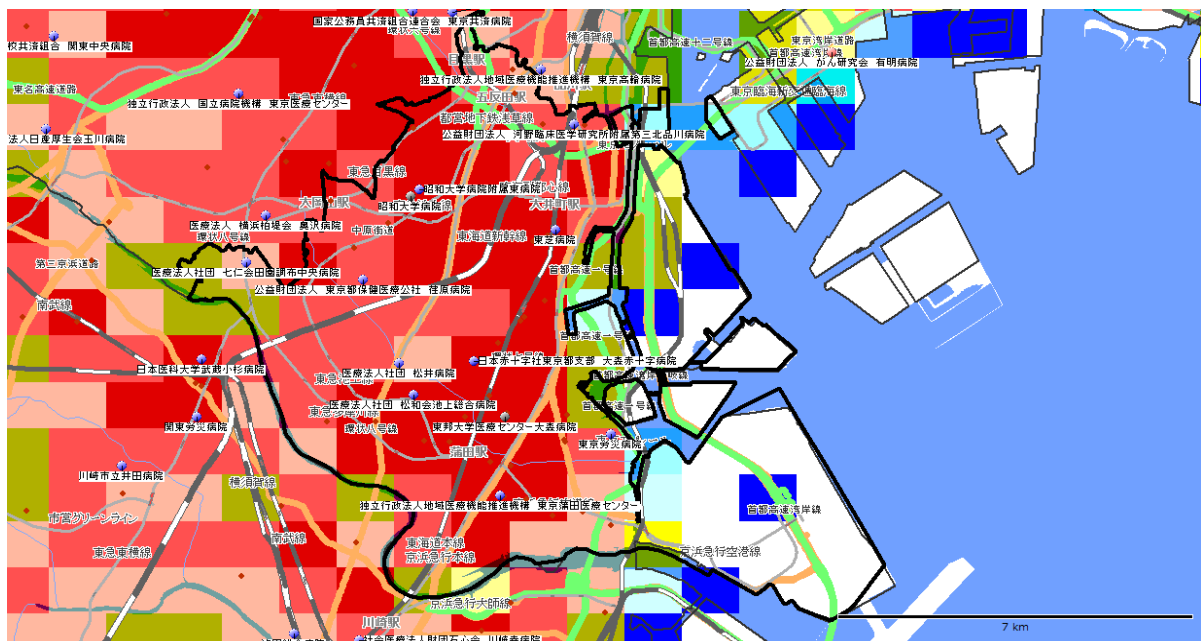
※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



くなんぶ 13-2. 区南部医療圏

構成市区町村 品川区大田区

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)

1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(区南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 区南部(品川区)は、総人口約1,104千人(2015年)、面積84km²、人口密度は13,221人/km²の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 区南部の総人口は2025年に1,165千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年に1,195千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の113千人が、2025年にかけて147千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には151千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 区南部の一人当たり医療費(国保)は343千円(偏差値47)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 区南部の一人当たり急性期医療密度指数は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は0.36で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が55(病院医師数54、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。区南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNTT東日本関東病院(Ⅱ群)、東邦大学医療センター大森病院(Ⅰ群・救命)、昭和大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の荏原病院(Ⅲ群)、大森赤十字病院(Ⅲ群)、東京労災病院(Ⅲ群)、500例以上の池上総合病院(Ⅲ群)、牧田総合病院(Ⅲ群)、東芝病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 区南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,300人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,920床(偏差値28)、高齢者住宅等が5,380床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,975人(75歳以上1,000人当たりの偏差値25)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設25、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム65、軽費ホーム48、グループホーム43、サ高住39である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,254人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-39%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区南部医療圏の総人口は、2005年1,012,031人が、2015年に1,103,937人と9%増加し、2025年の人口が1,165,015人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

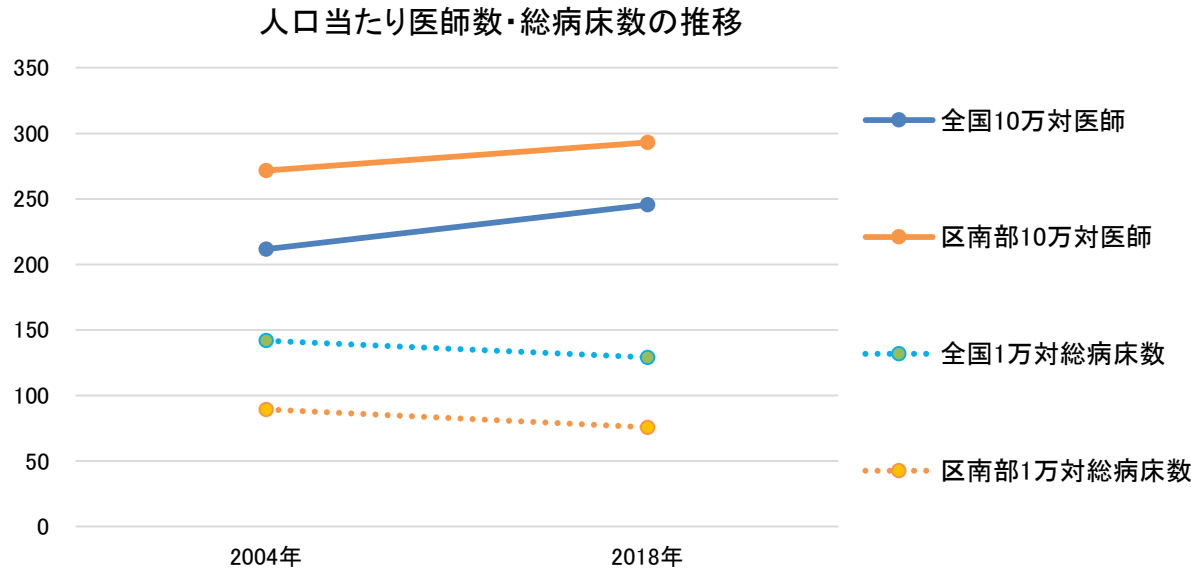
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2018年に44(人口10万人当たり4病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が1,016(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2018年に1,054(人口10万人当たり95診療所(全国平均80)偏差値58)と、38診療所が増加した。

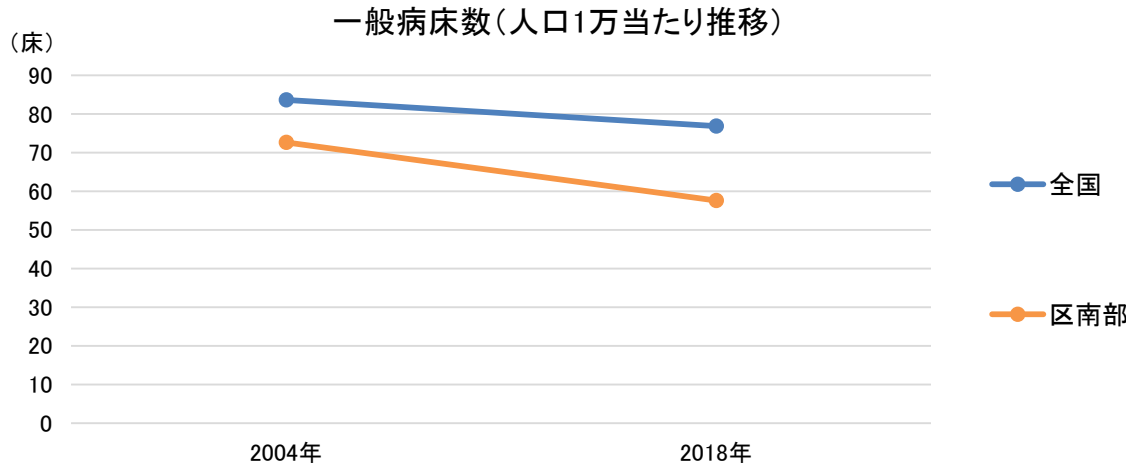
2004年の総病床数が9,041床(人口1万人当たり89(全国平均142)偏差値41)であったが、2018年に8,357床(人口1万人当たり76(全国平均129)偏差値40)と、684床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,749人(人口10万人当たり272人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2018年に3,236人(人口10万人当たり293人(全国平均245人)偏差値55)と、487人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



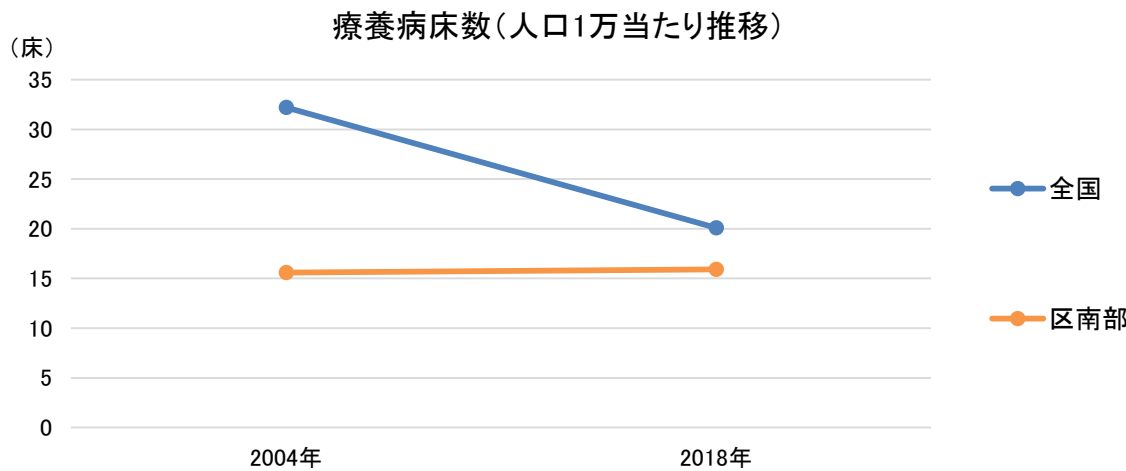
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,352床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2018年に6,356床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、996床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



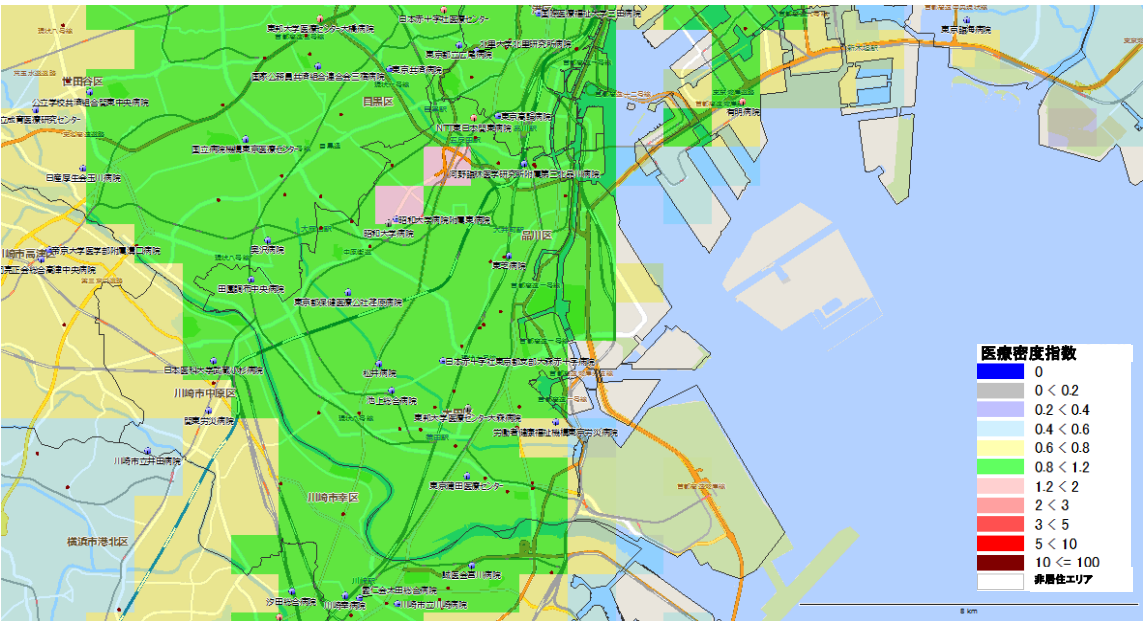
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,261床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均32)偏差値41)であったが、2018年に1,803床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値46)と、542床の増加、率にして43%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



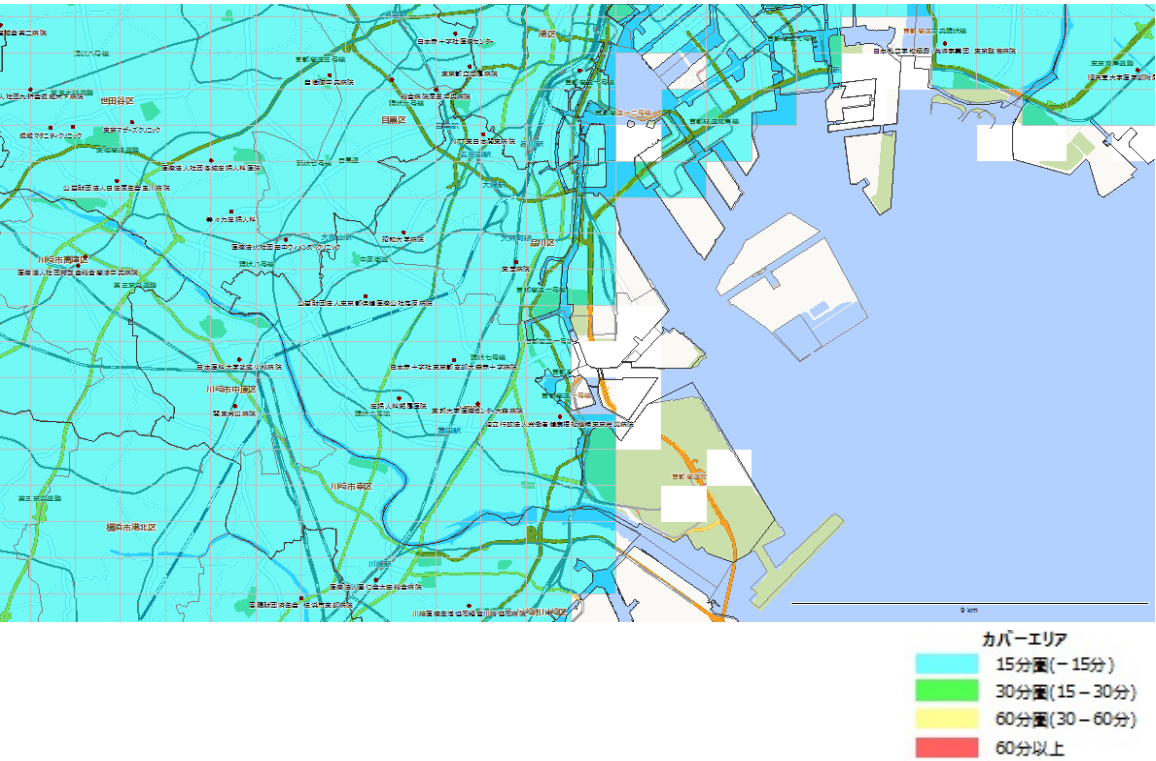
(区南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

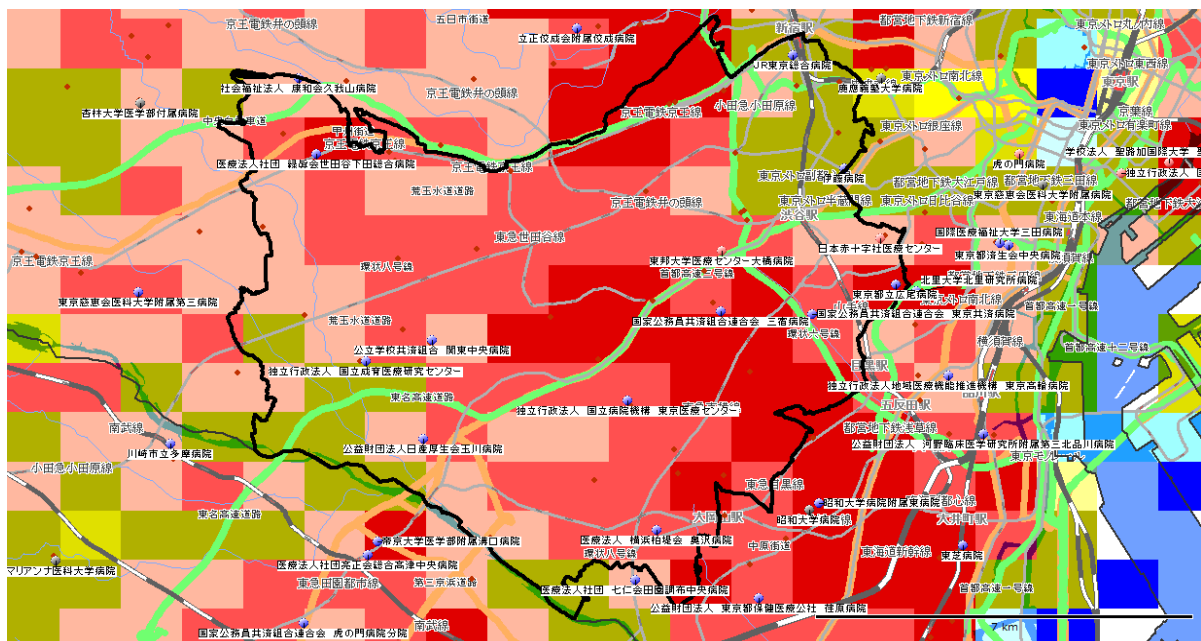


く せ い な ん ぶ 13-3. 区西南部医療圏

構成市区町村 目黒区 世田谷区 渋谷区

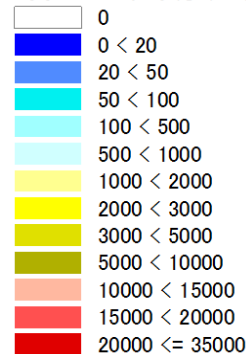
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区西南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 区西南部(目黒区)は、総人口約1,406千人(2015年)、面積88km²、人口密度は16,003人/km²の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 区西南部の総人口は2025年に1,449千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年に1,468千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の146千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には217千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 区西南部の一人当たり医療費(国保)は288千円(偏差値35)、介護給付費は287千円(偏差値59)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 区西南部の一人当たり急性期医療密度指数は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は0.43で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が58(病院医師数51、診療所医師数76)と、総医師数は多く、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。区西南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立成育医療研究センター(Ⅲ群)、東邦大学医療センター大橋病院(Ⅲ群)、NH0東京医療センター(Ⅱ群・救命)、日本赤十字社医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の伊藤病院(Ⅲ群)、JR東京総合病院(Ⅲ群)、東京都立広尾病院(Ⅲ群・救命)、関東中央病院(Ⅲ群)、玉川病院(Ⅲ群)、厚生中央病院(Ⅲ群)、500例以上の久我山病院(Ⅲ群)、三宿病院(Ⅲ群)、東京共済病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は75で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 区西南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,903人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,086床(偏差値23)、高齢者住宅等が7,817床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,488人(75歳以上1,000人当たりの偏差値23)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設25、特別養護老人ホーム33、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム70、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住44である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値59と多い。介護職員(在宅)の合計は、2,143人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-41%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区西南部医療圏の総人口は、2005年1,308,563人が、2015年に1,405,501人と7%増加し、2025年の人口が1,448,969人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

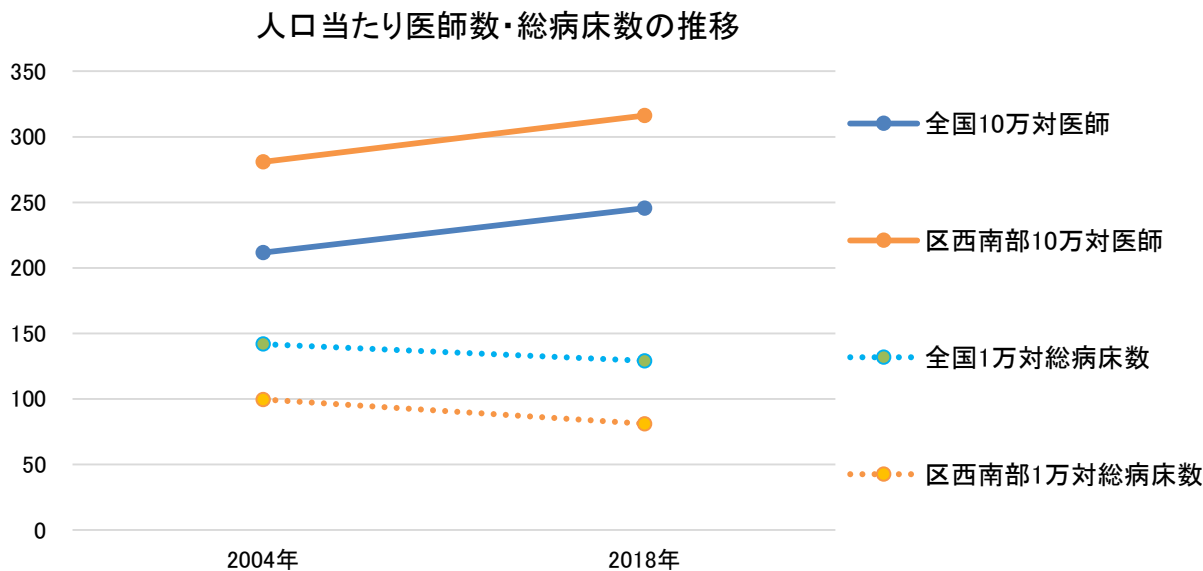
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が56(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2018年に52(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が1,557(人口10万人当たり119診療所(全国平均76)偏差値71)であったが、2018年に1,784(人口10万人当たり127診療所(全国平均80)偏差値75)と、227診療所が増加した。

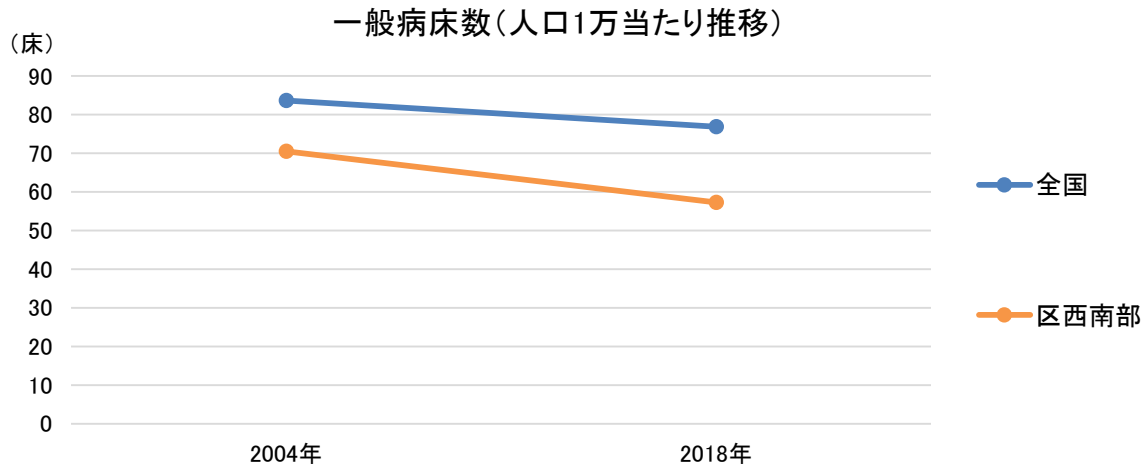
2004年の総病床数が13,040床(人口1万人当たり100(全国平均142)偏差値42)であったが、2018年に11,390床(人口1万人当たり81(全国平均129)偏差値41)と、1,650床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,676人(人口10万人当たり281人(全国平均212人)偏差値58)であったが、2018年に4,445人(人口10万人当たり316人(全国平均245人)偏差値58)と、769人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



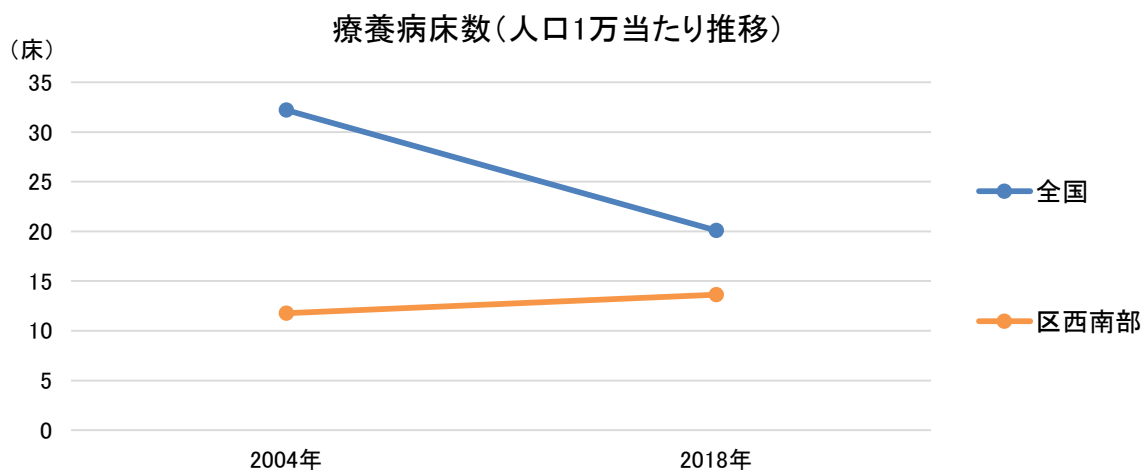
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9,225床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2018年に8,056床(人口1万人当たり57(全国平均77)偏差値42)と、1,169床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



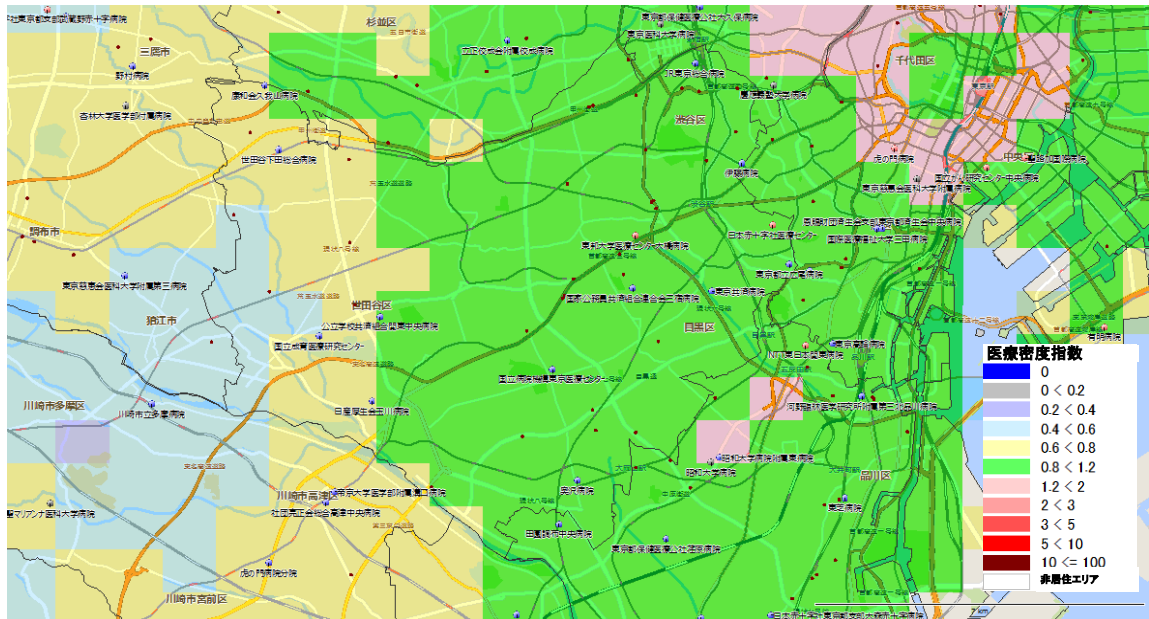
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,245床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値38)であったが、2018年に1,997床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、752床の増加、率にして60%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



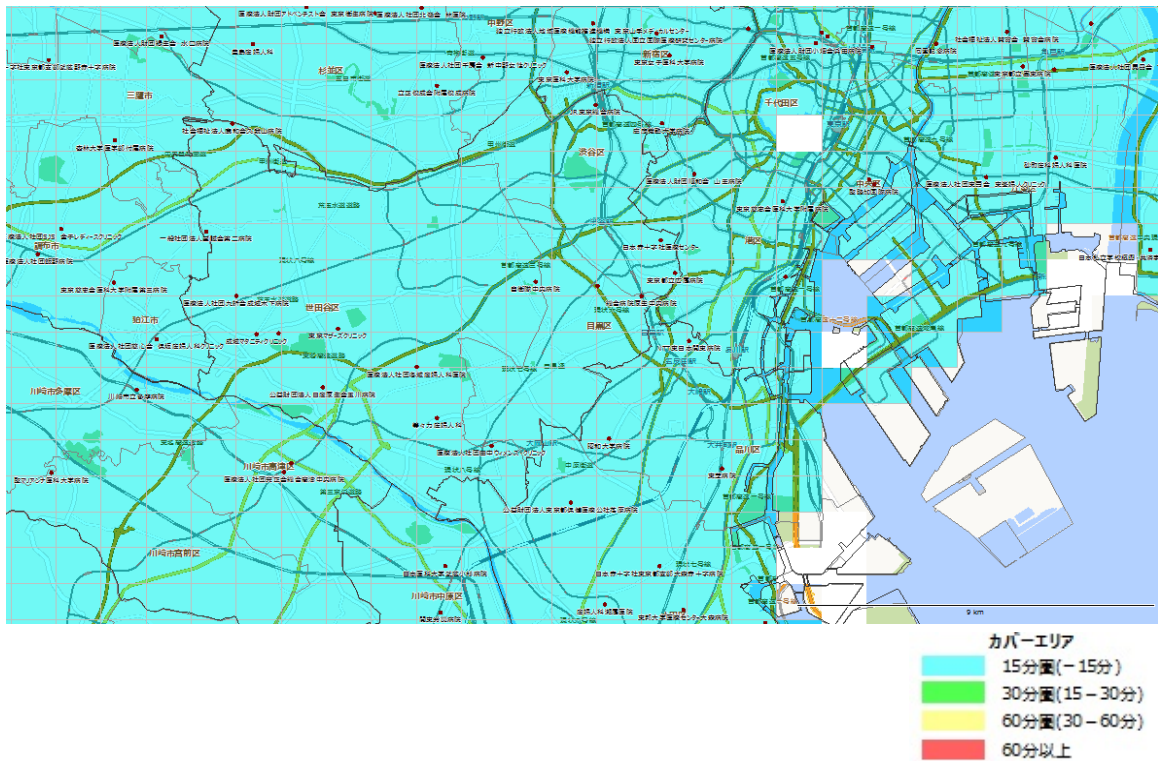
(区西南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）



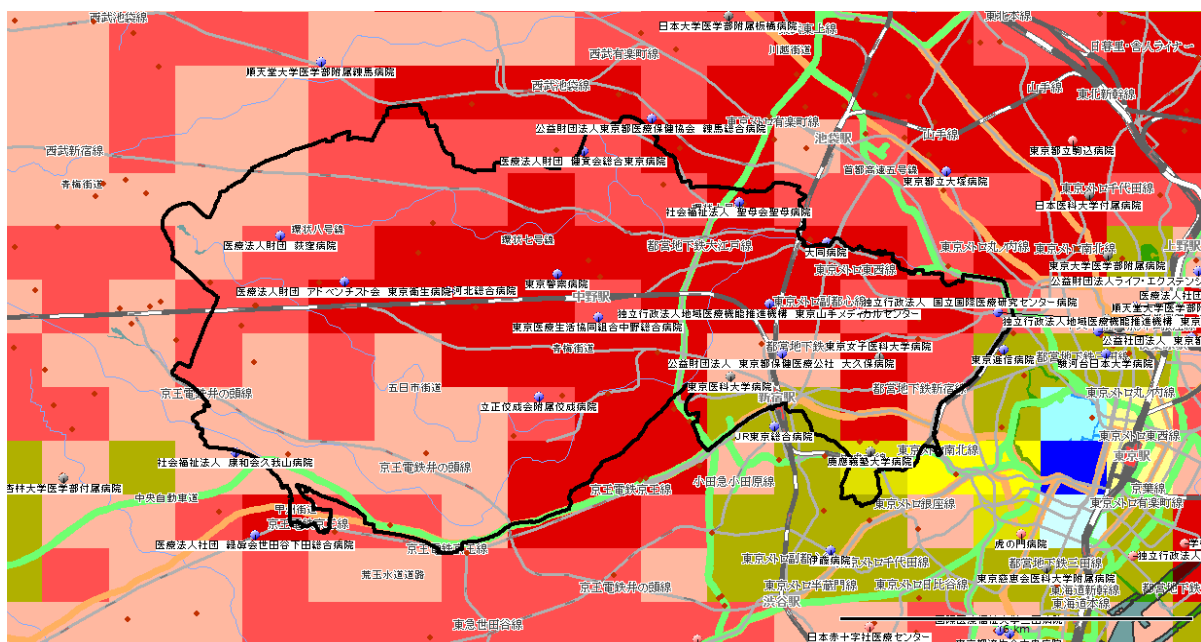
く せ い ぶ

13-4. 区西部医療圏

構成市区町村 新宿区 中野区 杉並区

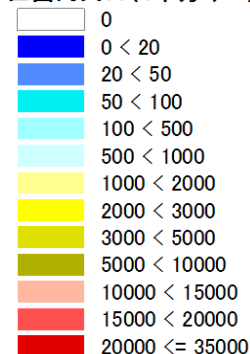
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 区西部(新宿区)は、総人口約1,226千人(2015年)、面積68km²、人口密度は18,061人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 区西部の総人口は2025年に1,255千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に1,264千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の130千人が、2025年にかけて166千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には181千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 区西部の一人当たり医療費(国保)は272千円(偏差値31)、介護給付費は273千円(偏差値55)であり、医療費は非常に低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 区西部の一人当たり急性期医療密度指数は1、一人当たり慢性期医療密度指数は0.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が77(病院医師数75、診療所医師数78)と、総医師数は非常に多く、病院医師数、診療所医師数ともに、非常に多い。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は59と多い。区西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立国際医療研究センター病院(Ⅲ群・救命)、荻窪病院(Ⅲ群)、東京警察病院(Ⅲ群)、慶應義塾大学病院(Ⅰ群)、東京女子医科大学病院(Ⅰ群・救命)、東京医科大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の立正佼成会附属佼成病院(Ⅲ群)、河北総合病院(Ⅲ群)、総合東京病院(Ⅲ群)、新渡戸記念中野総合病院(Ⅲ群)、大久保病院(Ⅲ群)、JCHO東京山手メディカルセンター(Ⅲ群)、JCHO東京新宿メディカルセンター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は39で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は70で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 区西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,074人(75歳以上1,000人当たりの偏差値29)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,962床(偏差値25)、高齢者住宅等が5,112床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,894人(75歳以上1,000人当たりの偏差値25)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設23、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム61、軽費ホーム49、グループホーム41、サ高住35である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値60と多く、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,670人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-75%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区西部医療圏の総人口は、2005年1,144,930人が、2015年に1,225,772人と7%増加し、2025年の人口が1,254,764人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

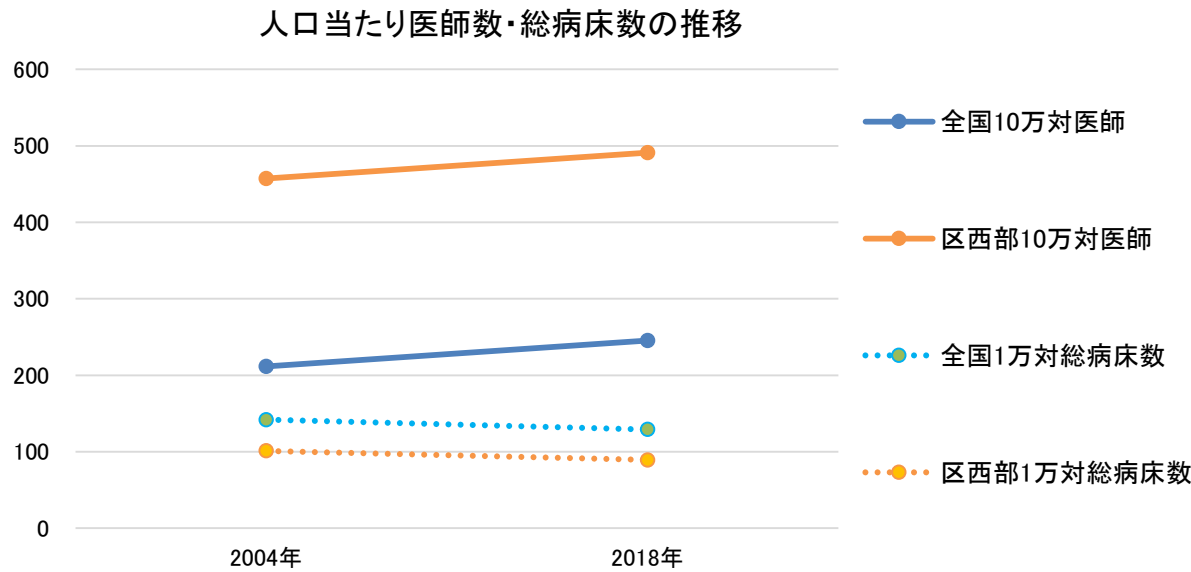
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2018年に42(人口10万人当たり3.4病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が1,440(人口10万人当たり126診療所(全国平均76)偏差値75)であったが、2018年に1,440(人口10万人当たり117診療所(全国平均80)偏差値70)と、増減がなかった。

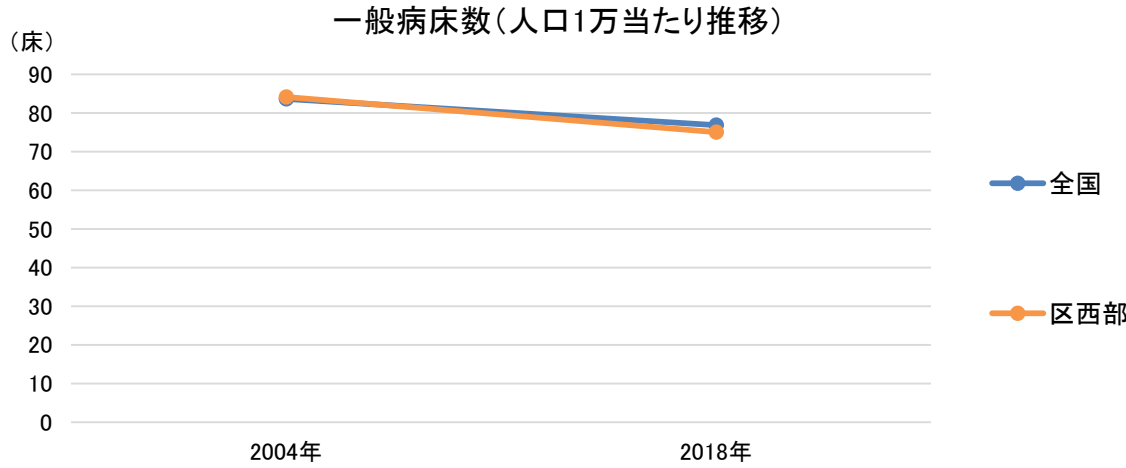
2004年の総病床数が11,586床(人口1万人当たり101(全国平均142)偏差値43)であったが、2018年に10,949床(人口1万人当たり89(全国平均129)偏差値42)と、637床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が5,235人(人口10万人当たり457人(全国平均212人)偏差値79)であったが、2018年に6,022人(人口10万人当たり491人(全国平均245人)偏差値77)と、787人の増加、率にして15%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



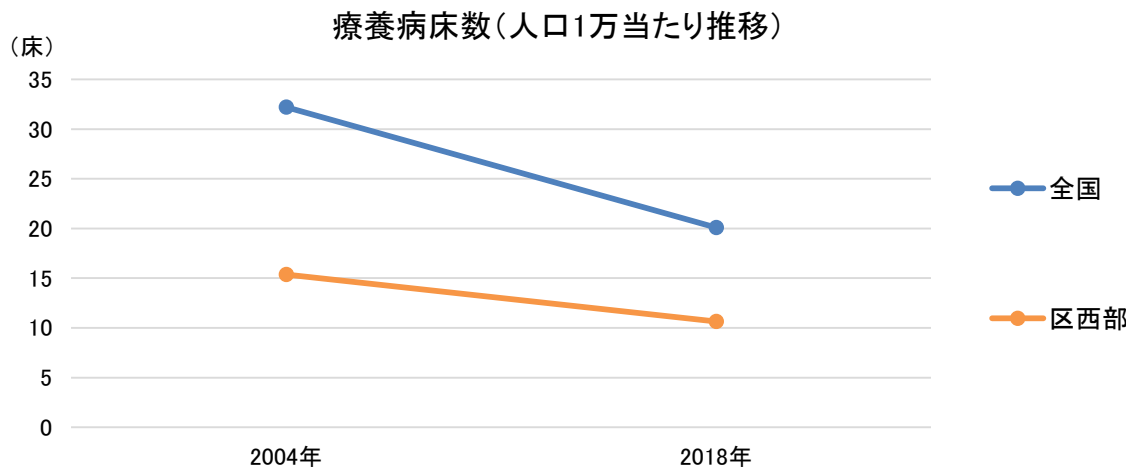
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9,633床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2018年に9,204床(人口1万人当たり75(全国平均77)偏差値49)と、429床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



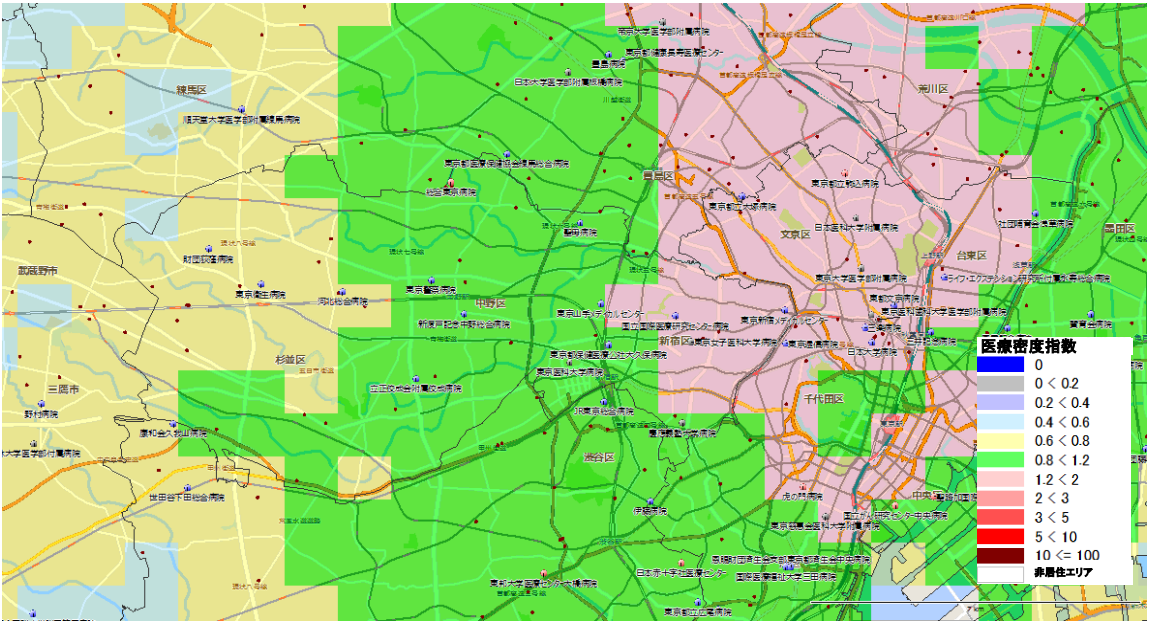
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,519床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2018年に1,386床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値41)と、133床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



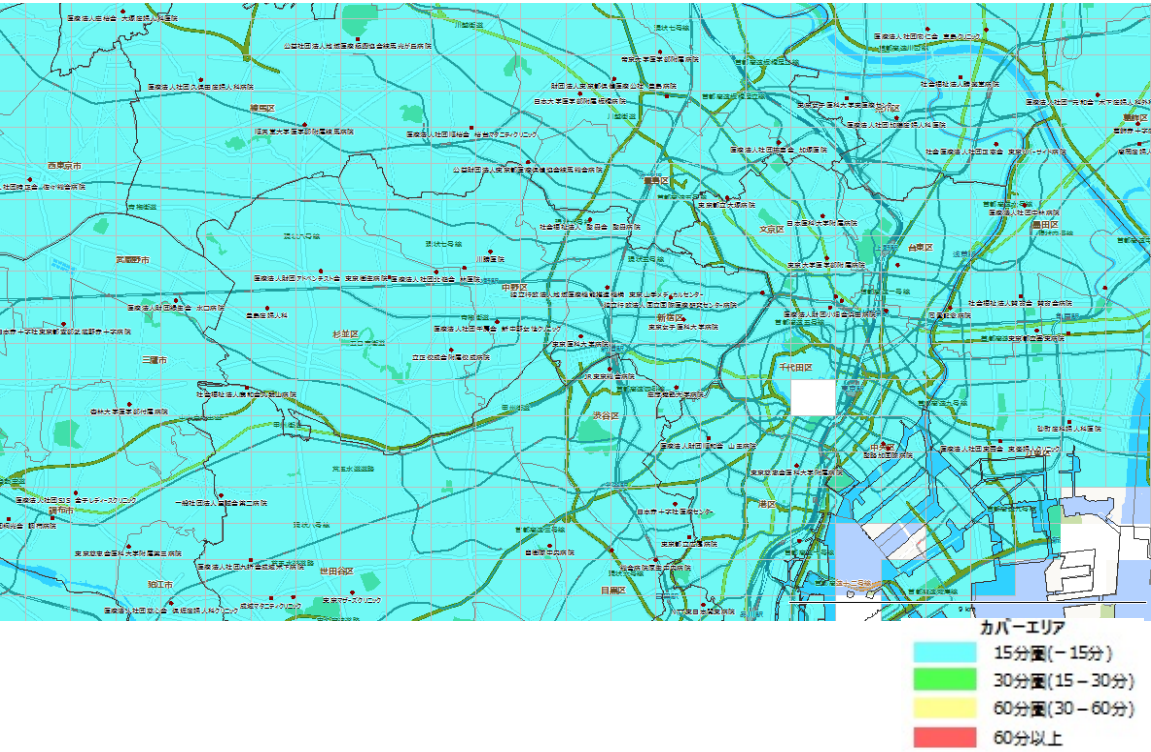
(区西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

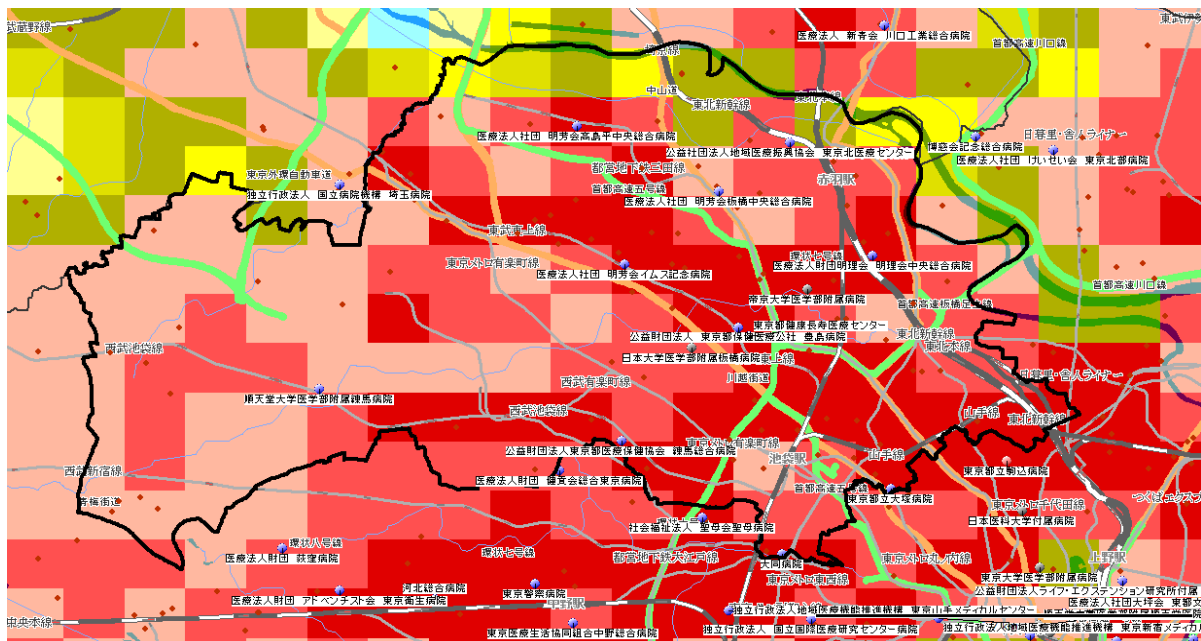


く せ い ほ く ぶ 13-5. 区西北部医療圏

構成市区町村 豊島区 北区 板橋区 練馬区

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I 群
- II 群
- III 群

一般病院

(区西北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 区西北部(豊島区)は、総人口約1,916千人(2015年)、面積114km²、人口密度は16,818人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 区西北部の総人口は2025年に2,002千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年に2,044千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の215千人が、2025年にかけて288千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には318千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 区西北部の一人当たり医療費(国保)は303千円(偏差値38)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は低い、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 区西北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が51(病院医師数49、診療所医師数56)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は41と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。区西北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の順天堂大学医学部附属練馬病院(Ⅲ群)、板橋中央総合病院(Ⅱ群)、帝京大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、日本大学医学部附属板橋病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の練馬光が丘病院(Ⅲ群)、練馬総合病院(Ⅲ群)、高島平中央総合病院(Ⅲ群)、豊島病院(Ⅲ群)、東京北医療センター(Ⅲ群)、東京都立大塚病院(Ⅲ群)、500例以上の東京腎泌尿器センター大和病院(Ⅲ群)、東京都健康長寿医療センター(Ⅲ群)、明理会中央総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 区西北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,669人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,501床(偏差値36)、高齢者住宅等が10,168床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、13,264人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム65、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム39、サ高住43である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、3,488人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区西北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区西北部医療圏の総人口は、2005年1,796,419人が、2015年に1,915,881人と7%増加し、2025年の人口が2,002,021人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

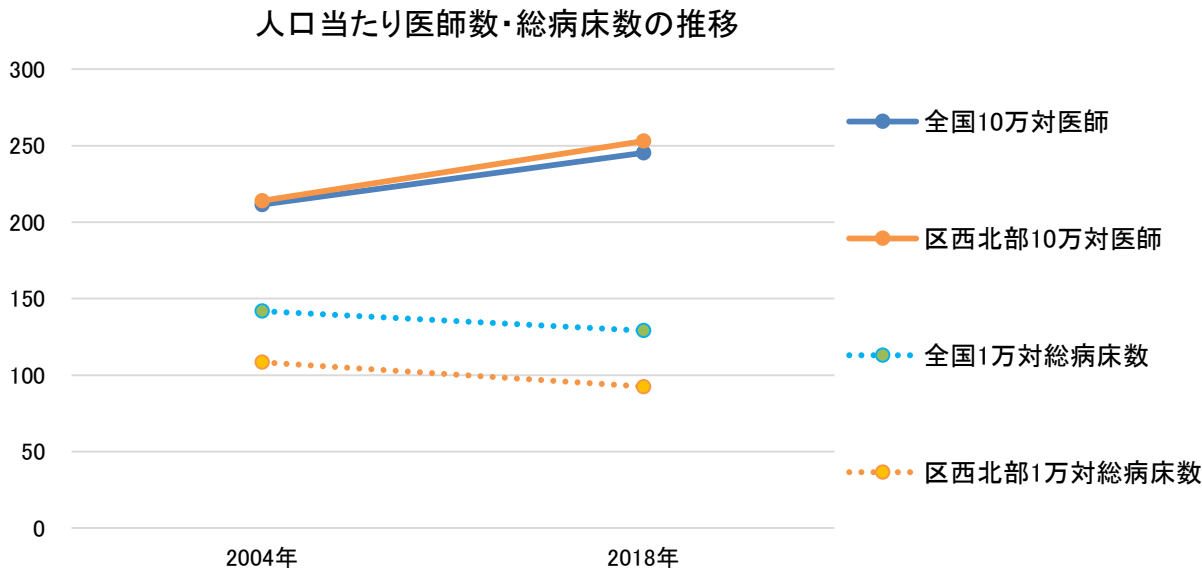
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が103(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に95(人口10万人当たり5病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、14年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1,581(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2018年に1,673(人口10万人当たり87診療所(全国平均80)偏差値54)と、92診療所が増加した。

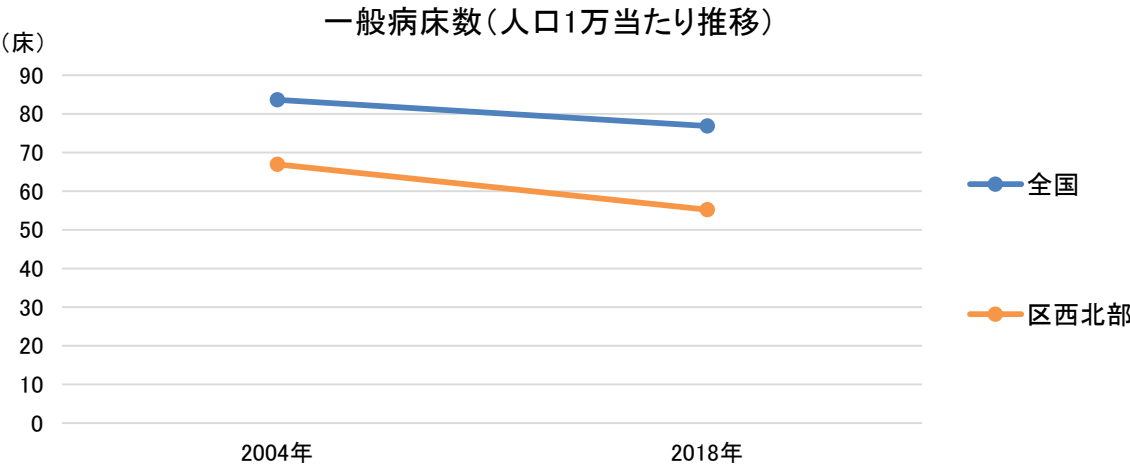
2004年の総病床数が19,479床(人口1万人当たり108(全国平均142)偏差値44)であったが、2018年に17,712床(人口1万人当たり92(全国平均129)偏差値43)と、1,767床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,844人(人口10万人当たり214人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2018年に4,848人(人口10万人当たり253人(全国平均245人)偏差値51)と、1,004人の増加、率にして26%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



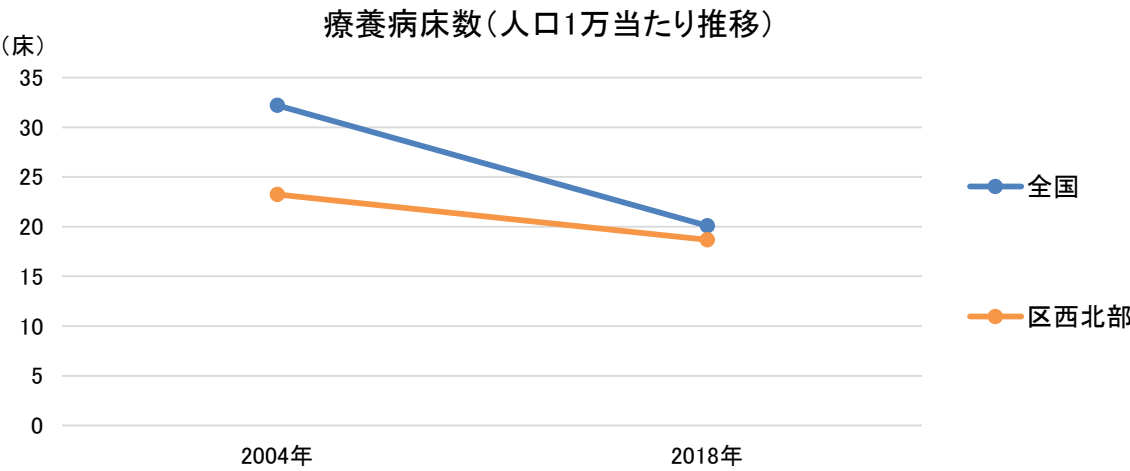
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12,029床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2018年に10,577床(人口1万人当たり55(全国平均77)偏差値42)と、1,452床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



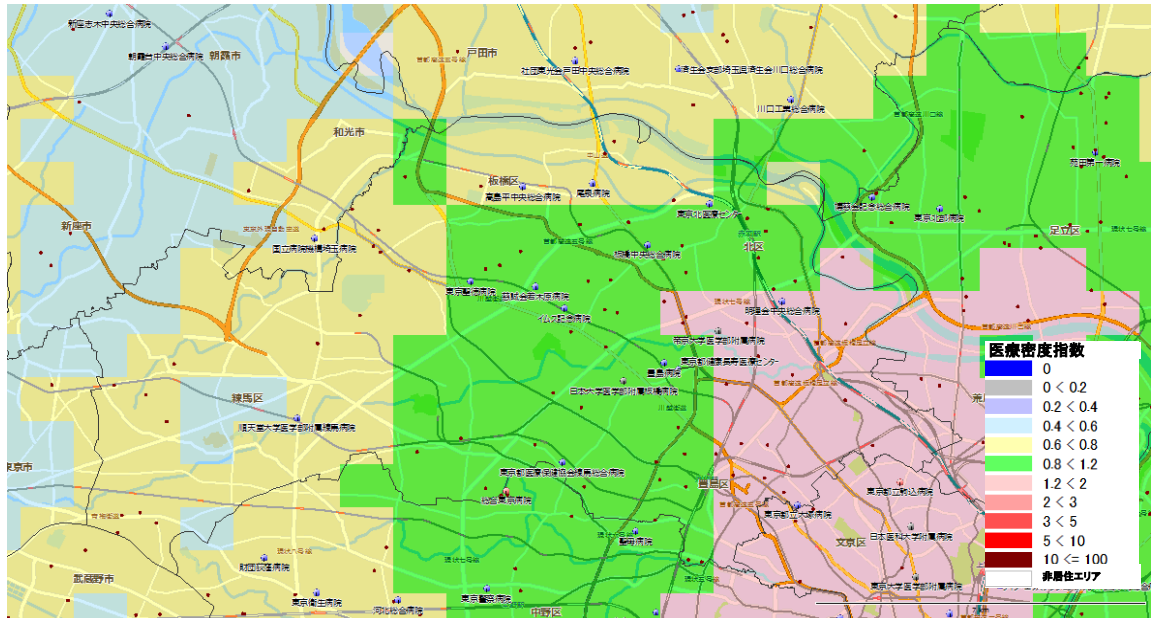
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,516床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2018年に4,013床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、497床の増加、率にして14%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



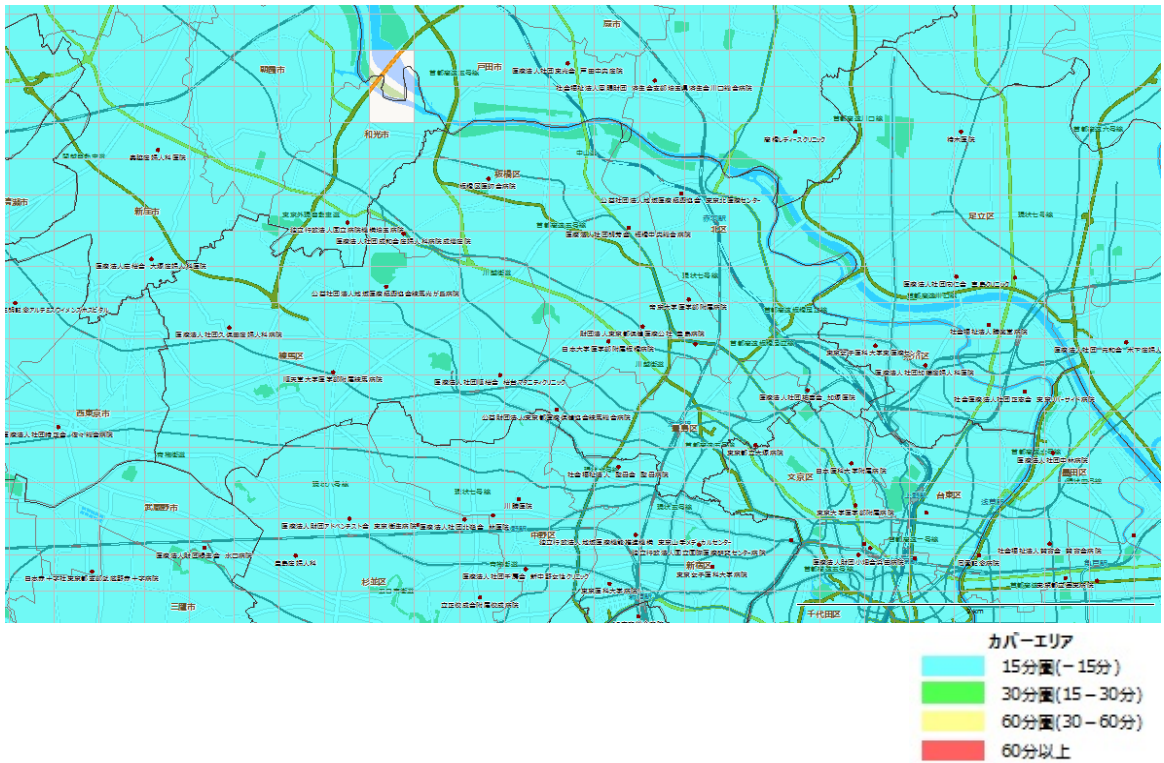
(区西北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

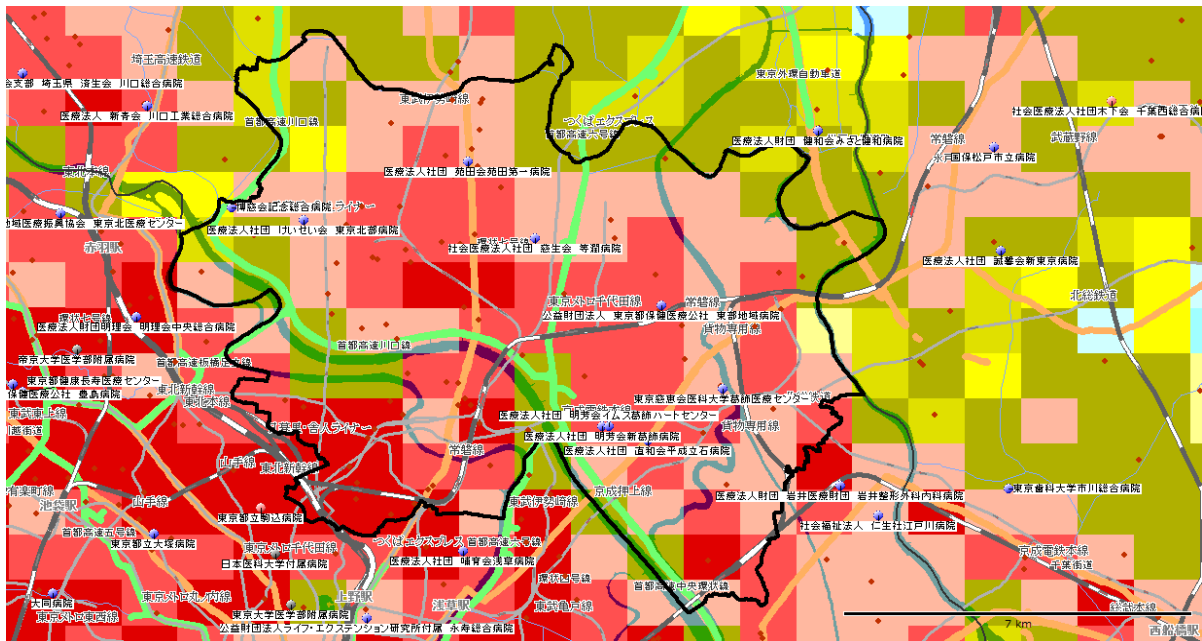


くとうほくぶ
13-6. 区東北部医療圏

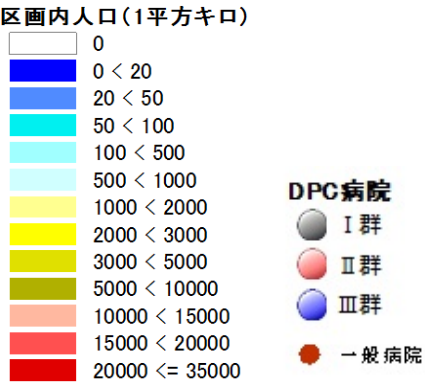
構成市区町村 荒川区 足立区 葛飾区

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000～10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(区東北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 区東北部(荒川区)は、総人口約1,325千人(2015年)、面積98km²、人口密度は13,495人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 区東北部の総人口は2025年に1,299千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に1,240千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の157千人が、2025年にかけて191千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には178千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 区東北部の一人当たり医療費(国保)は319千円(偏差値42)、介護給付費は270千円(偏差値54)であり、医療費は低い、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 区東北部の一人当たり急性期医療密度指数は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が42(病院医師数40、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。区東北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京慈恵会医科大学葛飾医療センター(Ⅲ群)、東京女子医科大学東医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の東部地域病院(Ⅲ群)、500例以上の平成立石病院(Ⅲ群)、苑田第一病院(Ⅲ群)、東京北部病院(Ⅲ群)、博慈会記念総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は43で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 区東北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15,606人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,333床(偏差値43)、高齢者住宅等が7,273床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10,710人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム57、軽費ホーム45、グループホーム43、サ高住51である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値62と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,590人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区東北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区東北部医療圏の総人口は、2005年1,240,892人が、2015年に1,325,299人と7%増加し、2025年の人口が1,298,951人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

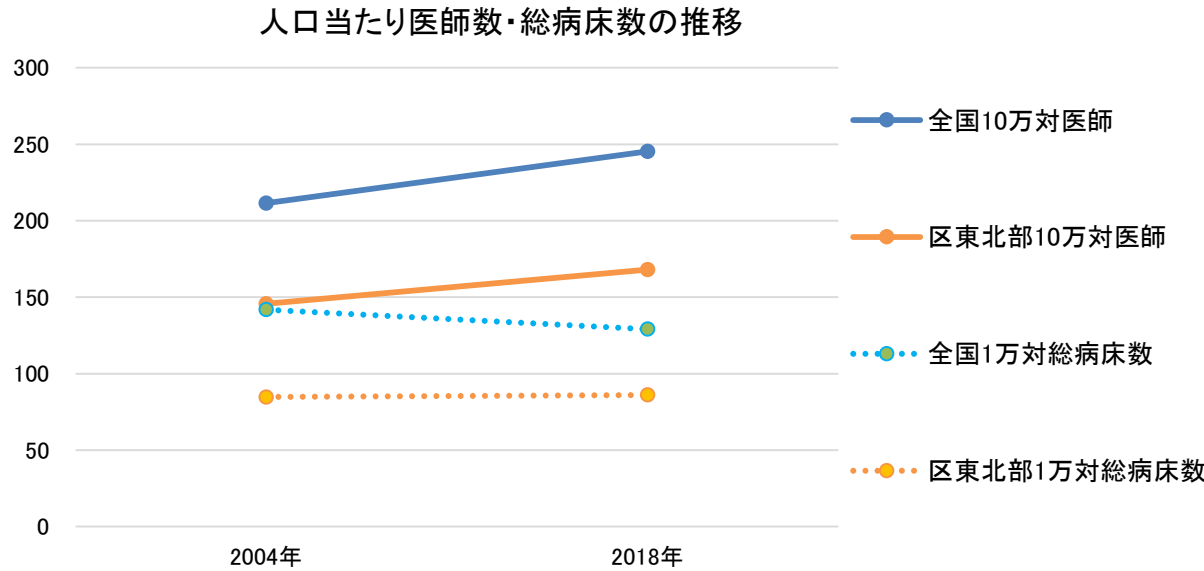
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が80(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に91(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で11病院が増加した。

2004年の診療所数が892(人口10万人当たり72診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2018年に970(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、78診療所が増加した。

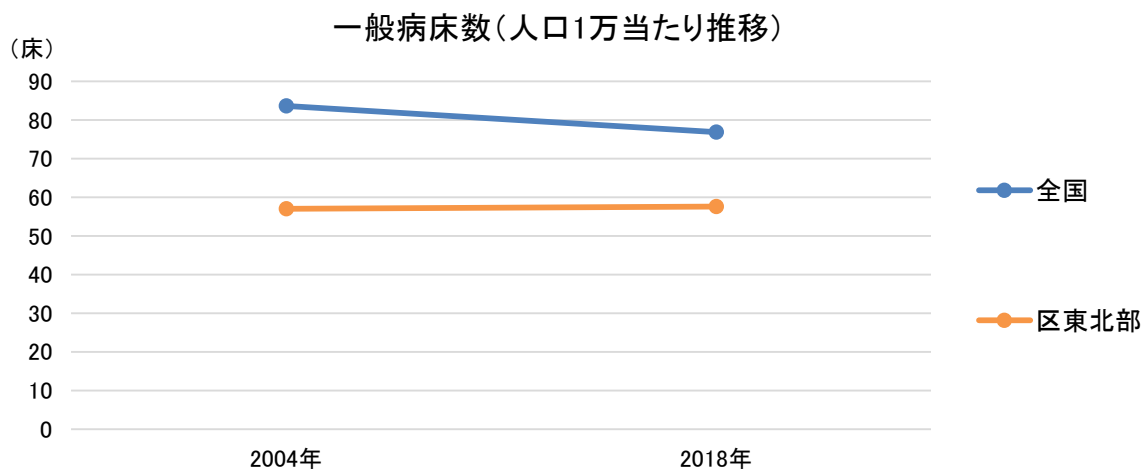
2004年の総病床数が10,518床(人口1万人当たり85(全国平均142)偏差値40)であったが、2018年に11,407床(人口1万人当たり86(全国平均129)偏差値42)と、889床の増加、率にして8%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,809人(人口10万人当たり146人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に2,226人(人口10万人当たり168人(全国平均245人)偏差値42)と、417人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



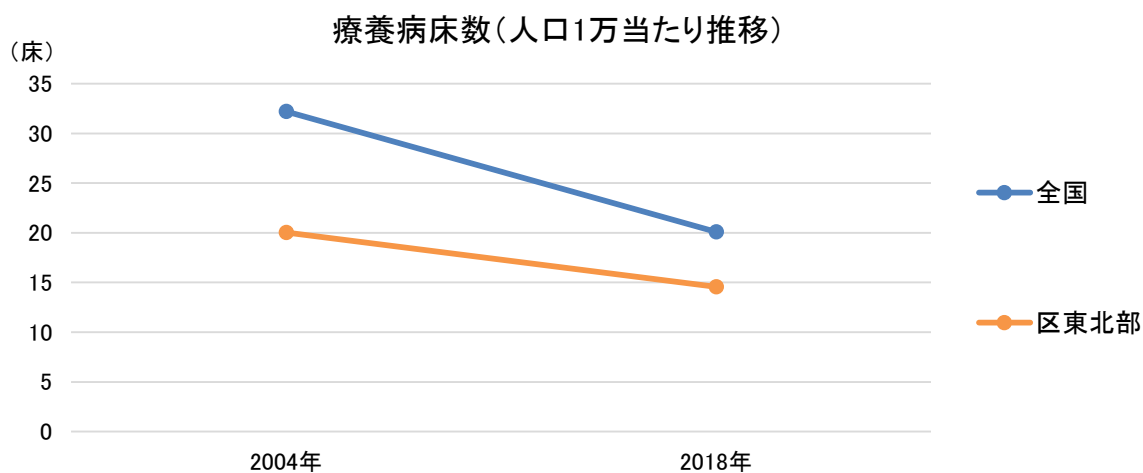
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,076床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2018年に7,632床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、556床の増加、率にして8%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



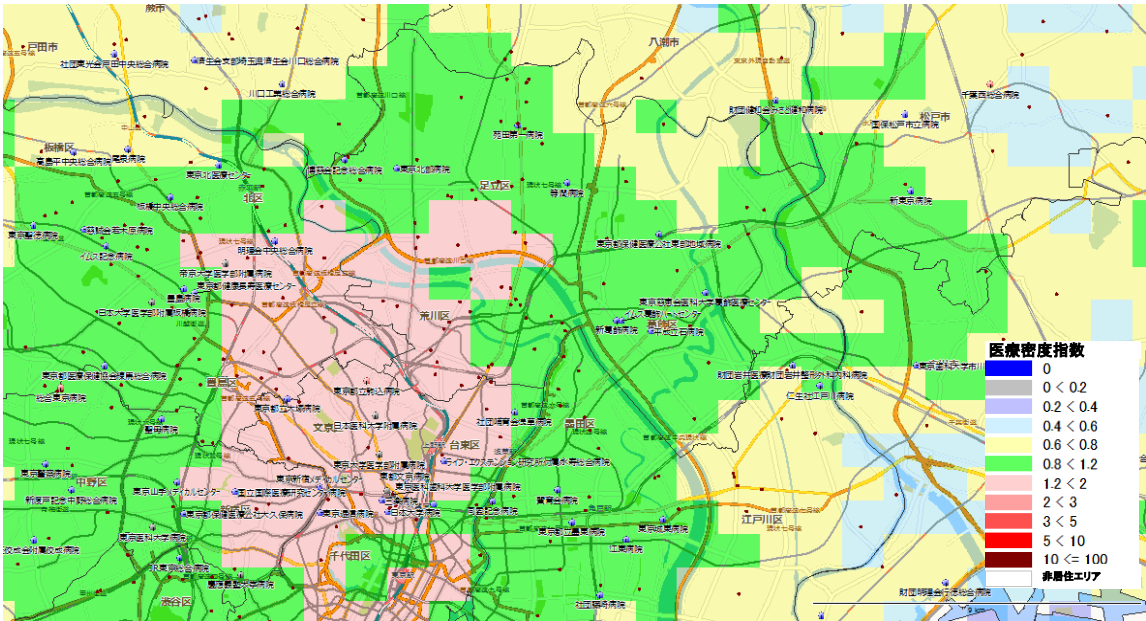
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,942床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に2,285床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、343床の増加、率にして18%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



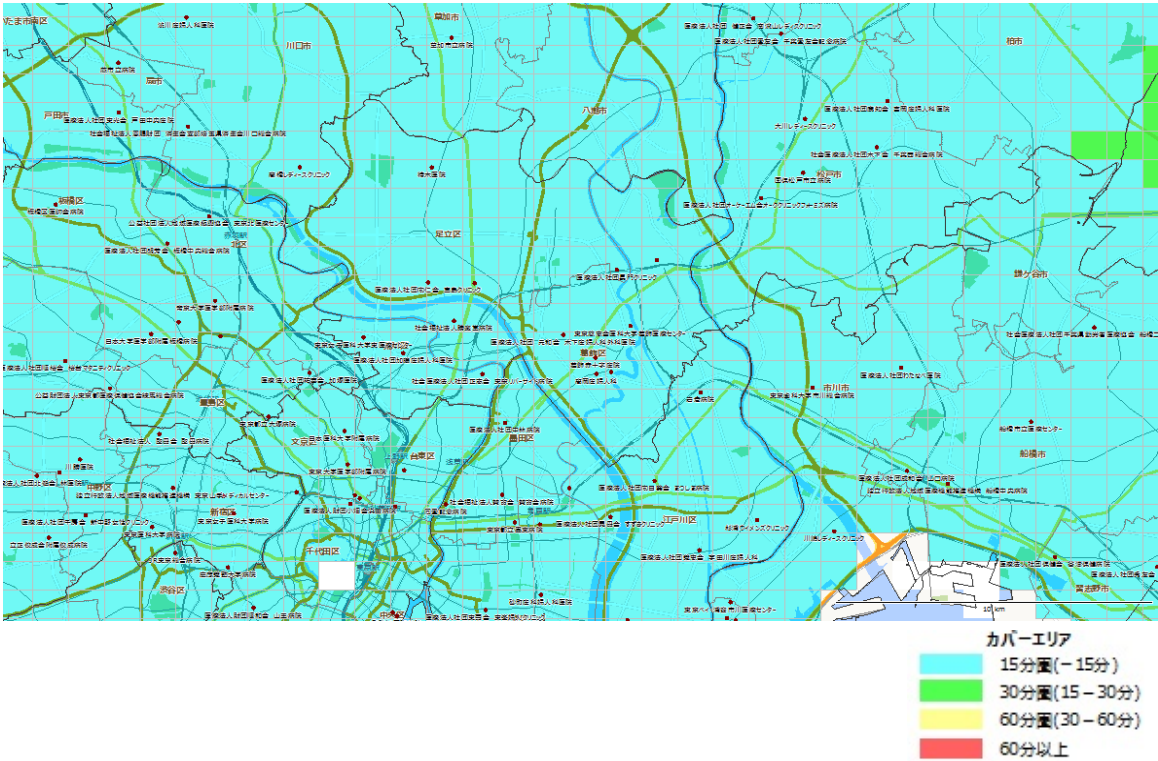
(区東北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

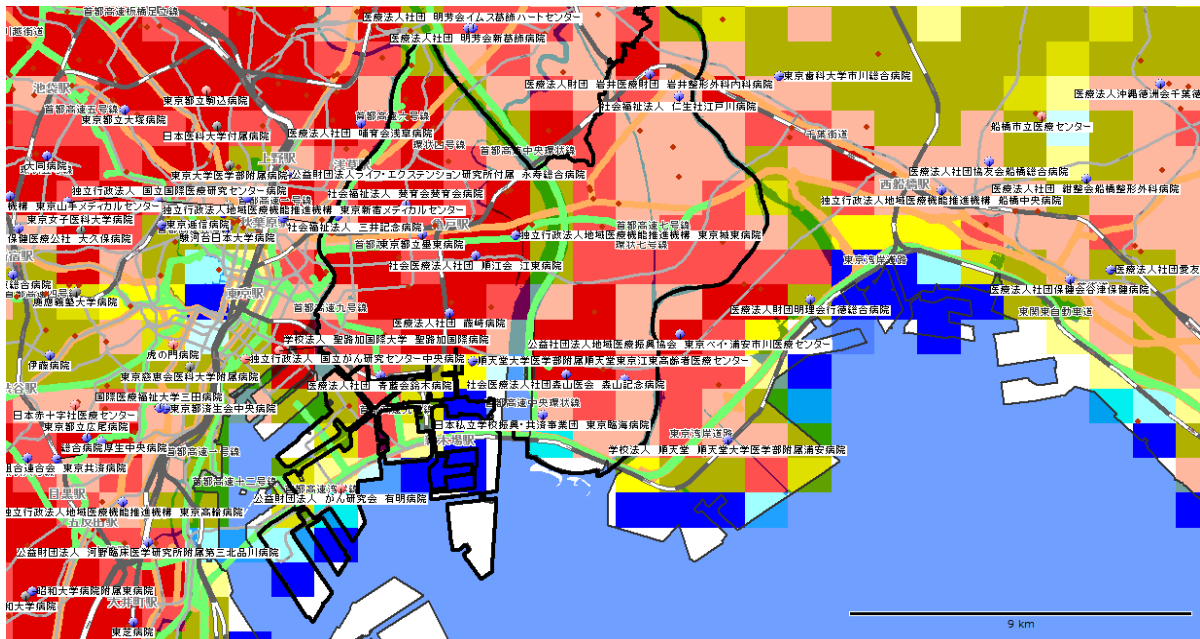


くとうぶ 13-7. 区東部医療圏

構成市区町村 [墨田区](#) [江東区](#) [江戸川区](#)

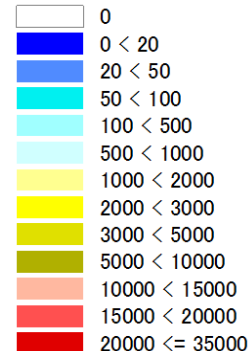
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(区東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 区東部(墨田区)は、総人口約1,436千人(2015年)、面積104km²、人口密度は13,827人/km²の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 区東部の総人口は2025年に1,480千人へと増加し(2015年比+3%)、2040年に1,482千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の139千人が、2025年にかけて179千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には175千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 区東部の一人当たり医療費(国保)は325千円(偏差値43)、介護給付費は238千円(偏差値45)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 区東部の一人当たり急性期医療密度指数は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は0.31で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数50)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は38と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。区東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の江戸川病院(Ⅲ群)、昭和大学江東豊洲病院(Ⅲ群)、がん研有明病院(Ⅱ群)、東京都立墨東病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の東京臨海病院(Ⅲ群)、岩井整形外科内科病院(Ⅲ群)、江東病院(Ⅲ群)、東京曳舟病院(Ⅲ群)、同愛記念病院(Ⅲ群)、500例以上の森山記念病院(Ⅲ群)、順天堂東京江東高齢者医療センター(Ⅲ群)、藤崎病院(Ⅲ群)、賛育会病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 区東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11,241人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,953床(偏差値35)、高齢者住宅等が5,288床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7,837人(75歳以上1,000人当たりの偏差値28)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム39、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム61、軽費ホーム47、グループホーム42、サ高住33である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,770人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(区東部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

区東部医療圏の総人口は、2005年1,305,962人が、2015年に1,435,681人と10%増加し、2025年の人口が1,480,371人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

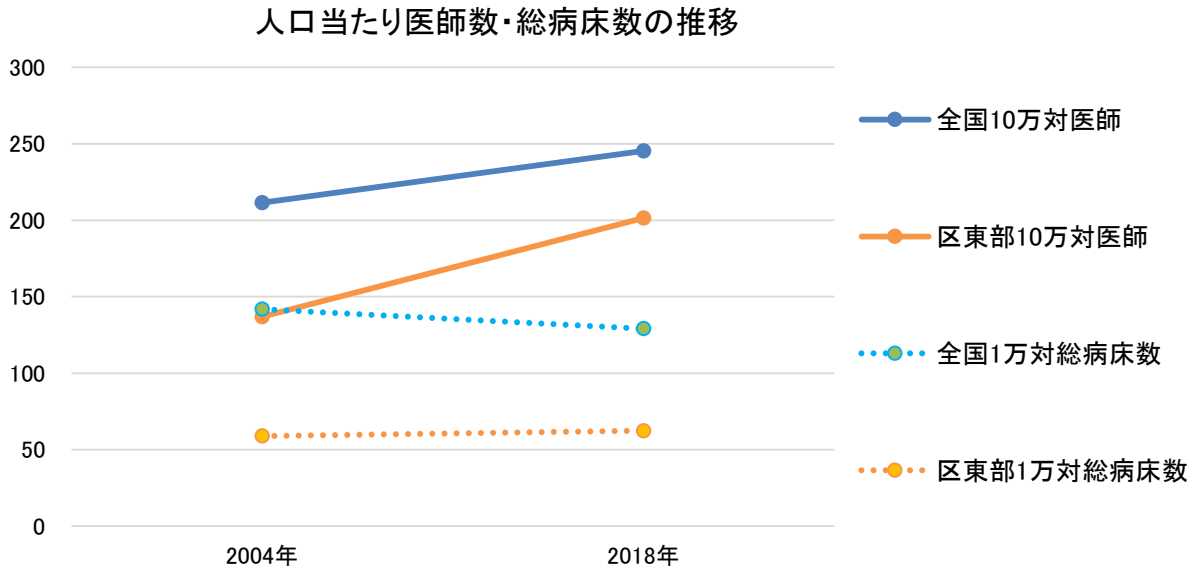
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が51(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2018年に54(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が914(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に1,077(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値47)と、163診療所が増加した。

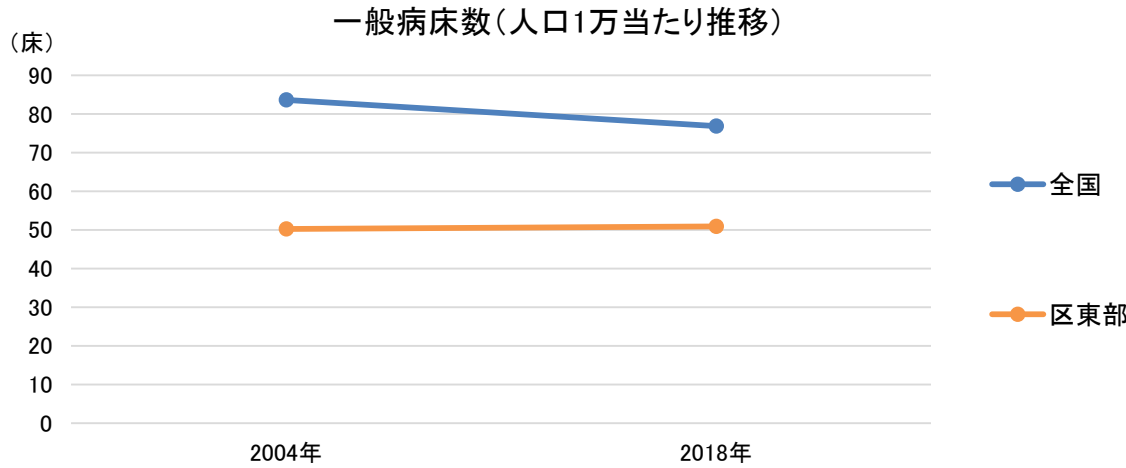
2004年の総病床数が7,697床(人口1万人当たり59(全国平均142)偏差値35)であったが、2018年に8,950床(人口1万人当たり62(全国平均129)偏差値37)と、1,253床の増加、率にして16%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,788人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2018年に2,894人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、1,106人の増加、率にして62%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



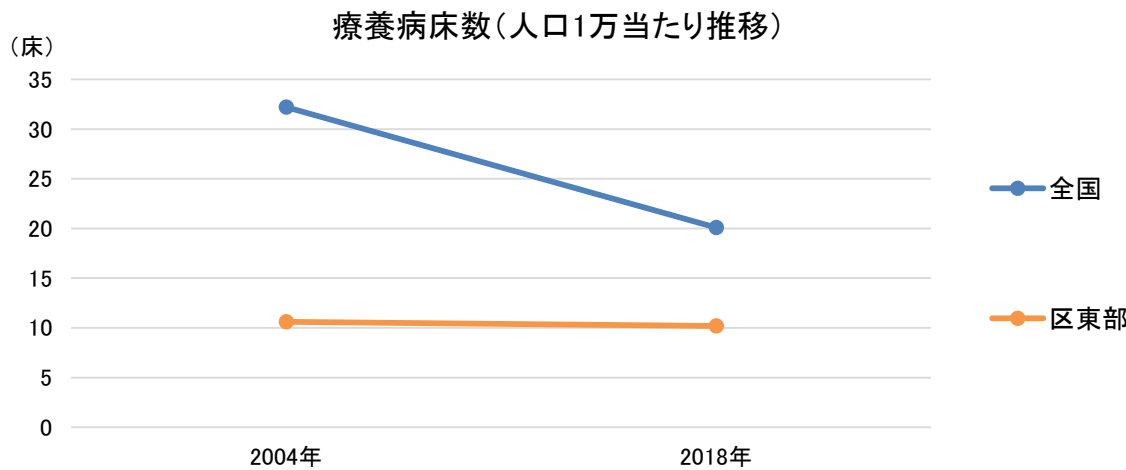
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,566床(人口1万人当たり50(全国平均84)偏差値38)であったが、2018年に7,305床(人口1万人当たり51(全国平均77)偏差値40)と、739床の増加、率にして11%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



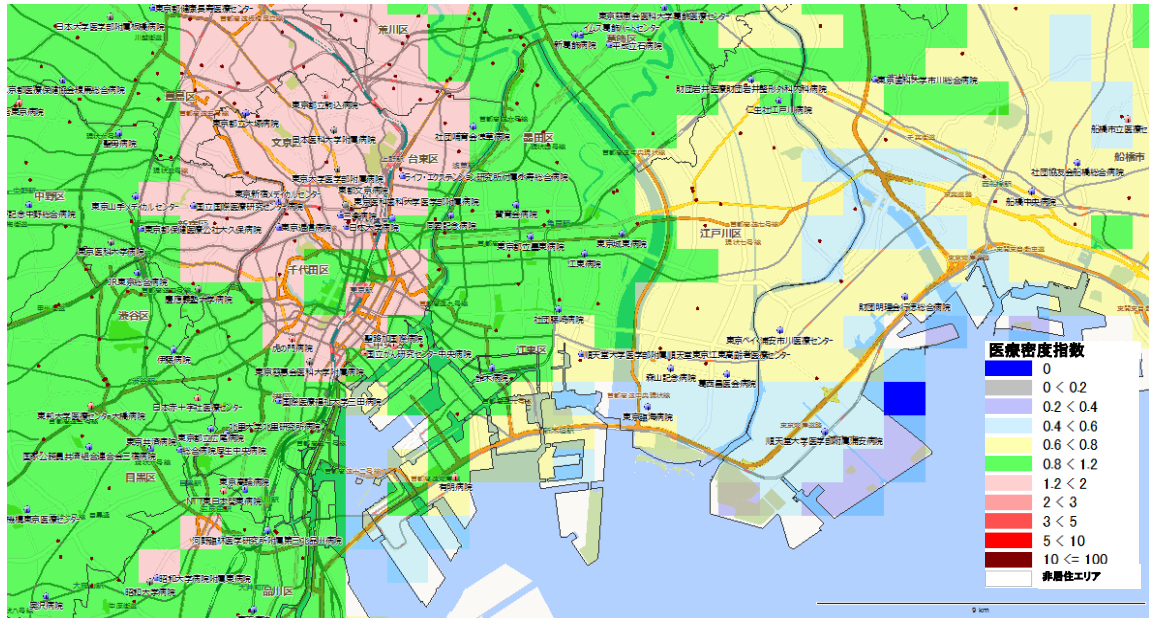
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が896床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2018年に1,420床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、524床の増加、率にして58%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



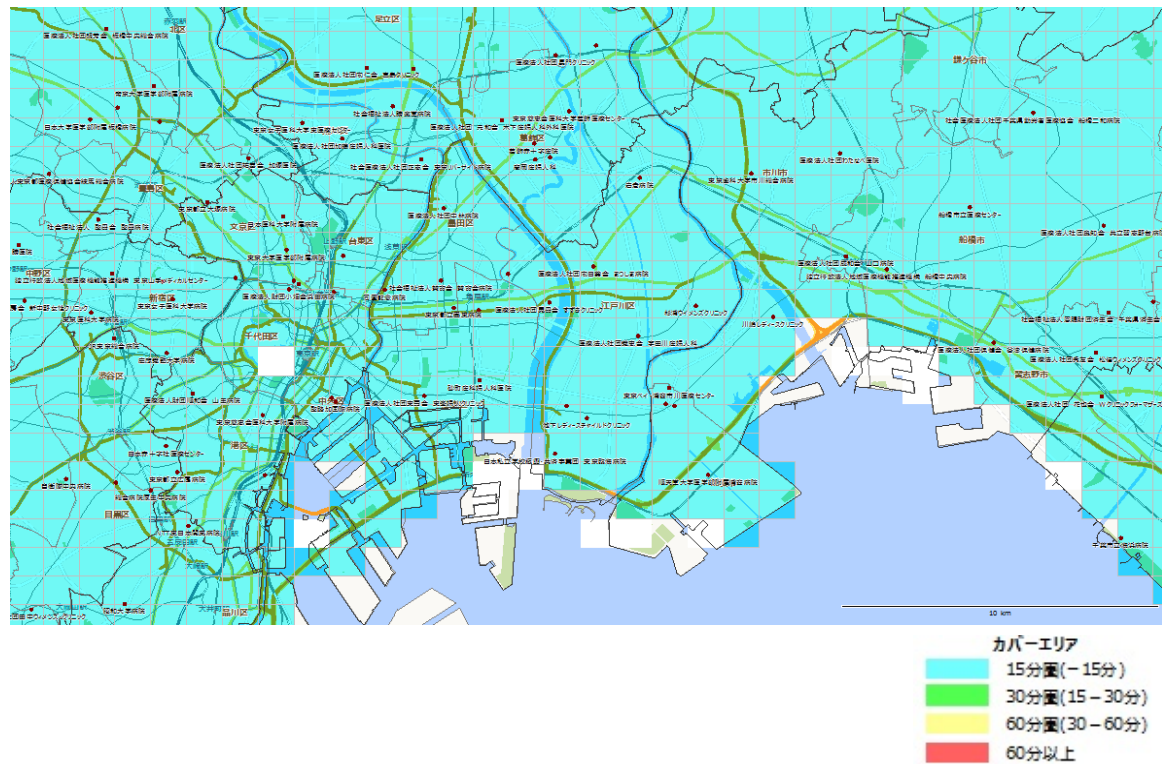
(区東部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



13-8. にしたま西多摩医療圏

構成市区町村

青梅市
瑞穂町

福生市

日の出町

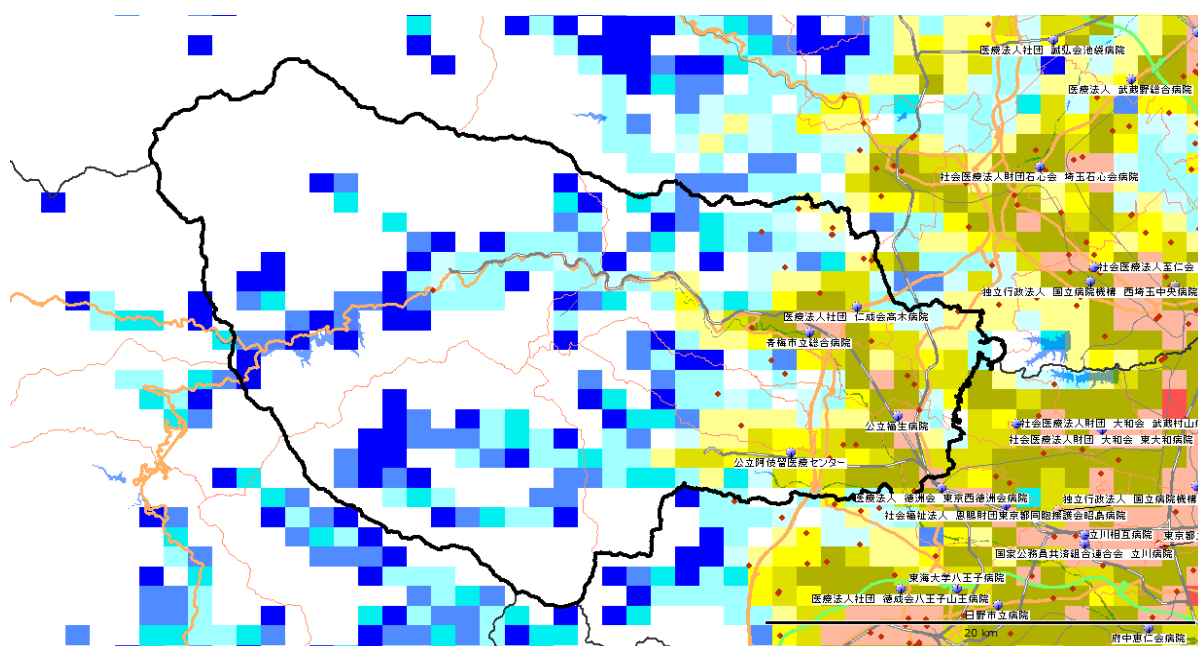
羽村市

檜原村

あきる野市

奥多摩町

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(西多摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 西多摩(青梅市)は、総人口約391千人(2015年)、面積573km²、人口密度は683人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 西多摩の総人口は2025年に365千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に314千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて71千人へと増加し(2015年比+39%)、2040年には72千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 西多摩の一人当たり医療費(国保)は324千円(偏差値43)、介護給付費は210千円(偏差値37)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 西多摩の一人当たり急性期医療密度指数は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数は1.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が42(病院医師数43、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。西多摩には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立福生病院(Ⅲ群)、青梅市立総合病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の公立阿伎留医療センター(Ⅲ群)、高木病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は66と療養病床数は非常に多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 西多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,970人(75歳以上1,000人当たりの偏差値104)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が8,952床(偏差値142)、高齢者住宅等が1,018床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,756人(75歳以上1,000人当たりの偏差値101)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム147、介護療養型医療施設78、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム34、サ高住39である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、335人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+45%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

(西多摩医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

西多摩医療圏の総人口は、2005年398,832人が、2015年に390,897人と2%減少し、2025年の人口が364,620人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

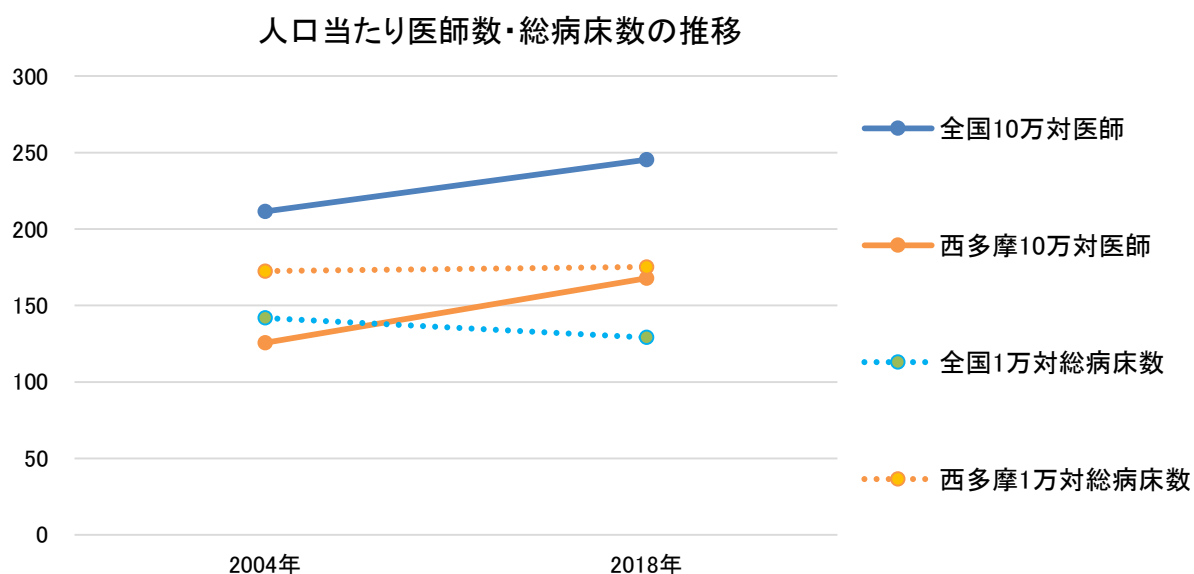
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が29(人口10万人当たり7.3病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に30(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、14年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が253(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2018年に247(人口10万人当たり63診療所(全国平均80)偏差値41)と、6診療所が減少した。

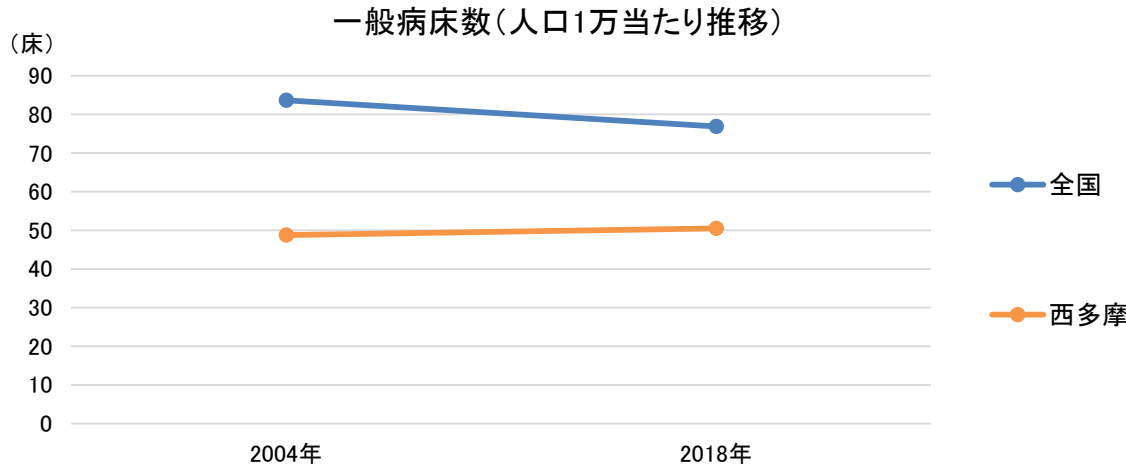
2004年の総病床数が6,880床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値55)であったが、2018年に6,849床(人口1万人当たり175(全国平均129)偏差値59)と、31床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が501人(人口10万人当たり126人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に656人(人口10万人当たり168人(全国平均245人)偏差値42)と、155人の増加、率にして31%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



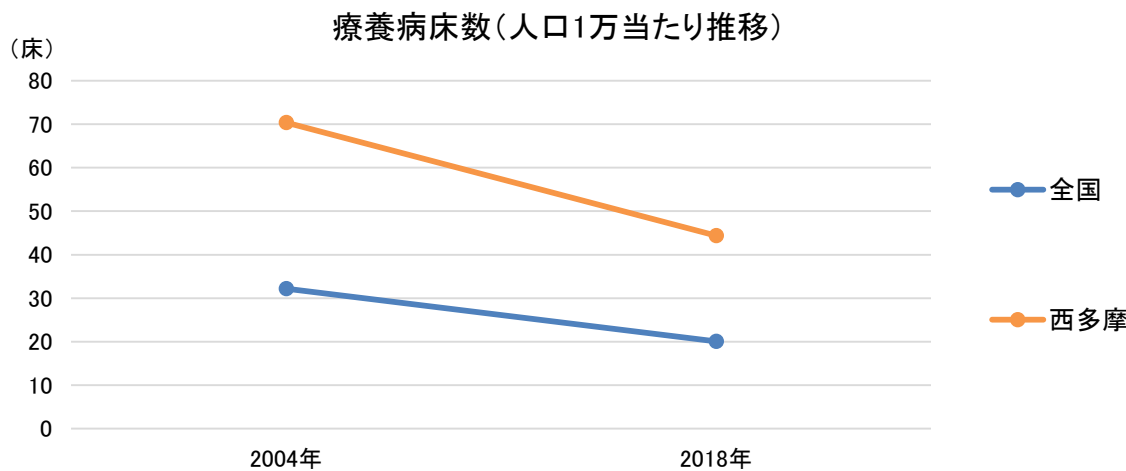
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,944床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2018年に1,974床(人口1万人当たり50(全国平均77)偏差値40)と、30床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



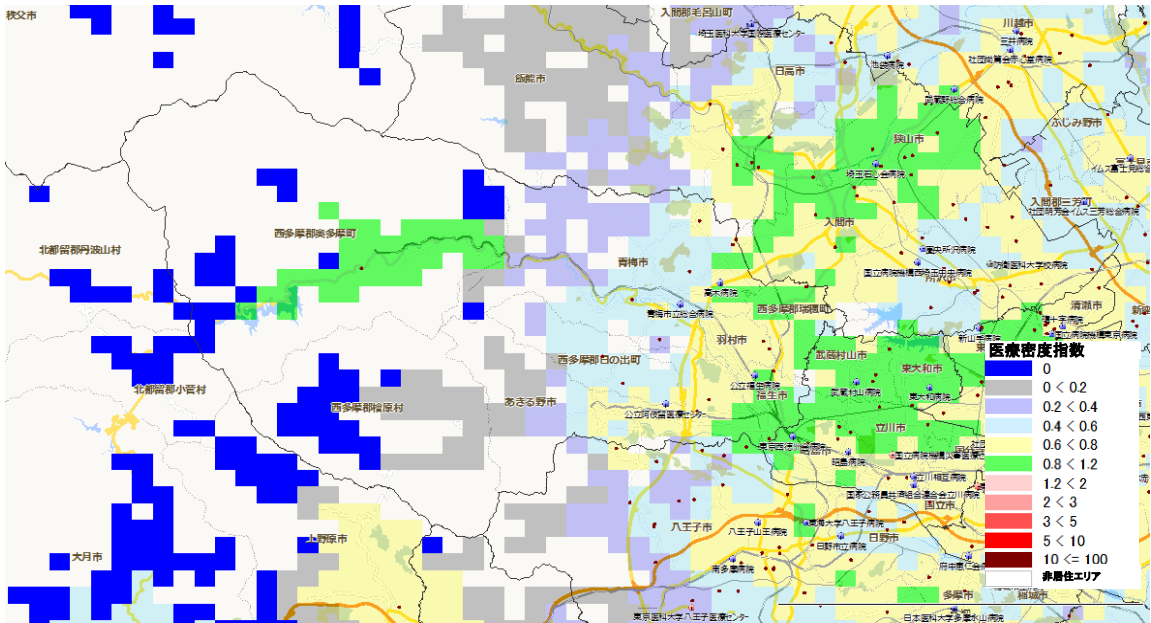
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,348床(75歳以上1,000人当たり70(全国平均32)偏差値72)であったが、2018年に2,256床(75歳以上1,000人当たり44(全国平均20)偏差値72)と、92床の減少、率にして4%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



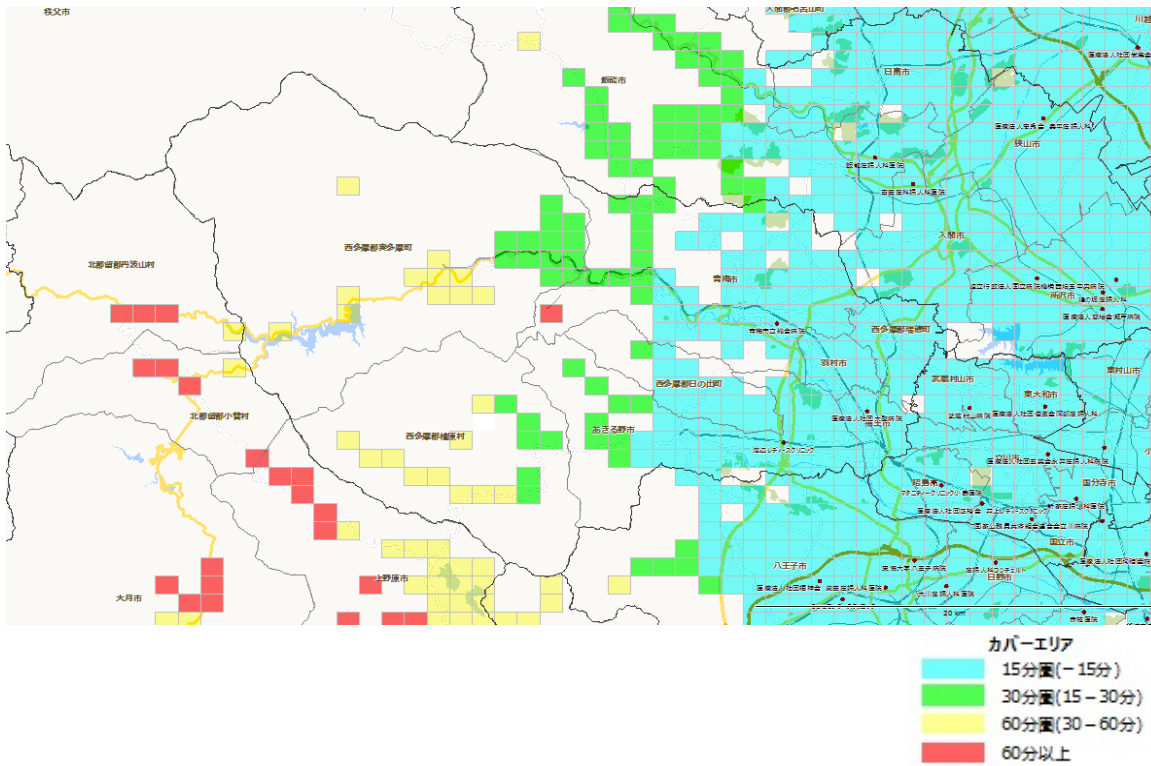
(西多摩医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-8-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

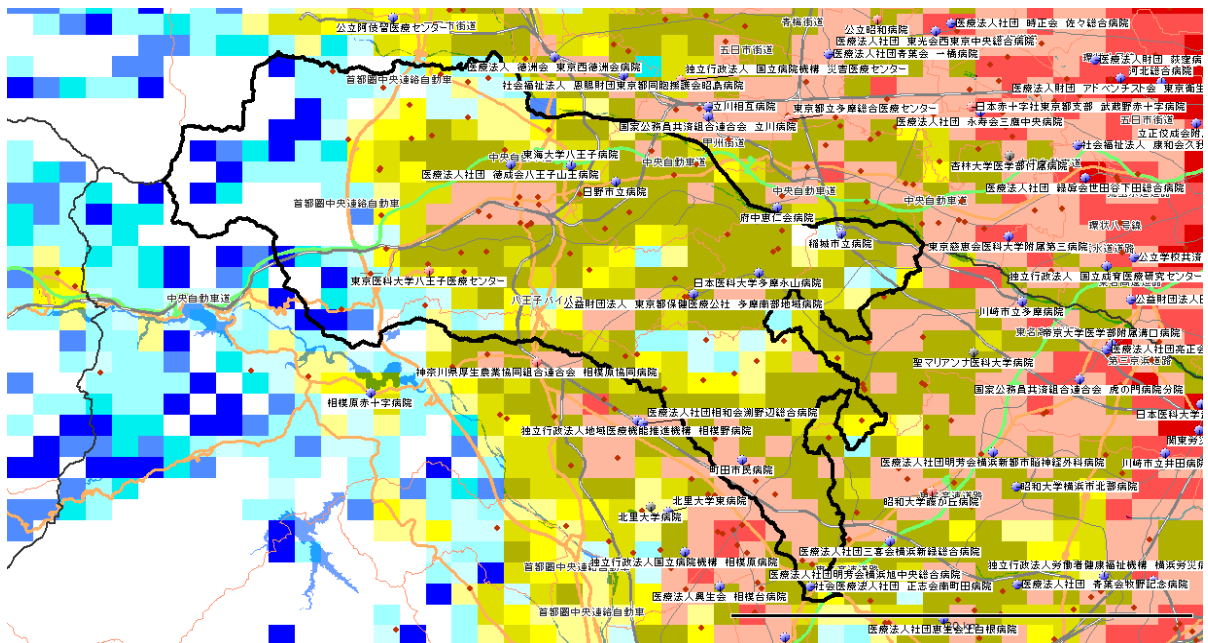


13-9. みなみたま 南多摩医療圏

構成市区町村 [八王子市](#) [町田市](#) [日野市](#) [多摩市](#)
[稲城市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南多摩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 南多摩(八王子市)は、総人口約1,430千人(2015年)、面積325km²、人口密度は4,405人/km²の大都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 南多摩の総人口は2025年に1,412千人へと減少し(2015年比－1%)、2040年に1,307千人へと減少する(2025年比－7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の163千人が、2025年にかけて245千人へと増加し(2015年比＋50%)、2040年には257千人へと増加する(2025年比＋5%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 南多摩の一人当たり医療費(国保)は332千円(偏差値45)、介護給付費は222千円(偏差値40)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 南多摩の一人当たり急性期医療密度指数は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数は1.01で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数41、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は37で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。南多摩には、年間全身麻酔件数が2000例以上の日本医科大学多摩永山病院(Ⅲ群・救命)、東海大学医学部付属八王子病院(Ⅲ群)、東京医科大学八王子医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上の稲城市立病院(Ⅲ群)、多摩南部地域病院(Ⅲ群)、日野市立病院(Ⅲ群)、町田市民病院(Ⅲ群)、500例以上の南町田病院(Ⅲ群)、南多摩病院(Ⅲ群)がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 南多摩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,192人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,815床(偏差値49)、高齢者住宅等が9,377床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12,011人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム72、軽費ホーム44、グループホーム38、サ高住47である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、1,692人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(南多摩医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

南多摩医療圏の総人口は、2005年1,364,453人が、2015年に1,430,411人と5%増加し、2025年の人口が1,411,574人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

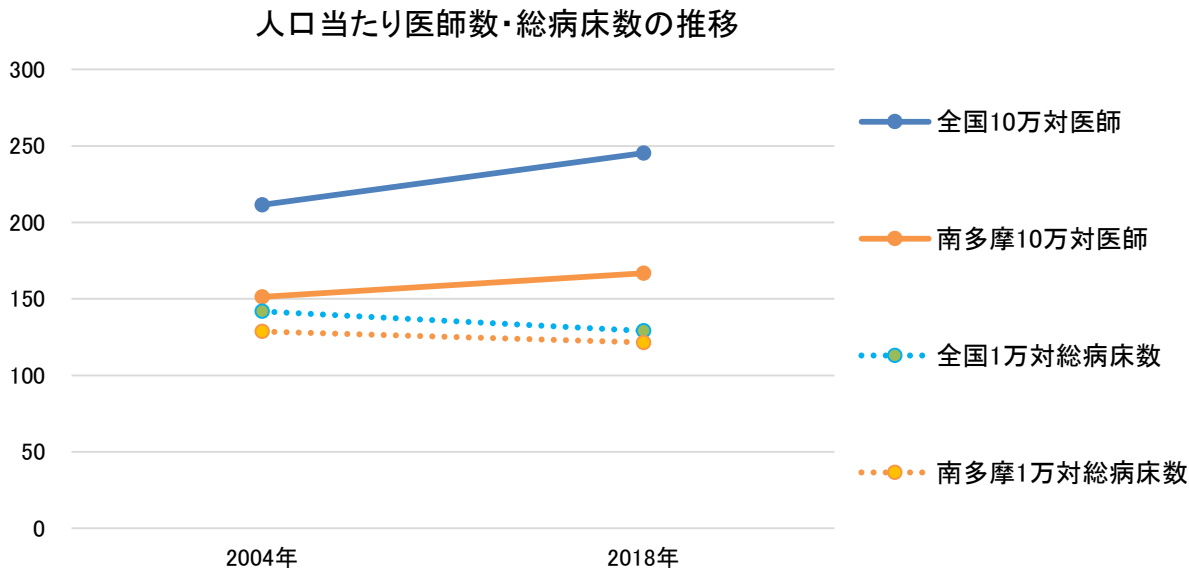
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が76(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に76(人口10万人当たり5.3病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が911(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に982(人口10万人当たり69診療所(全国平均80)偏差値44)と、71診療所が増加した。

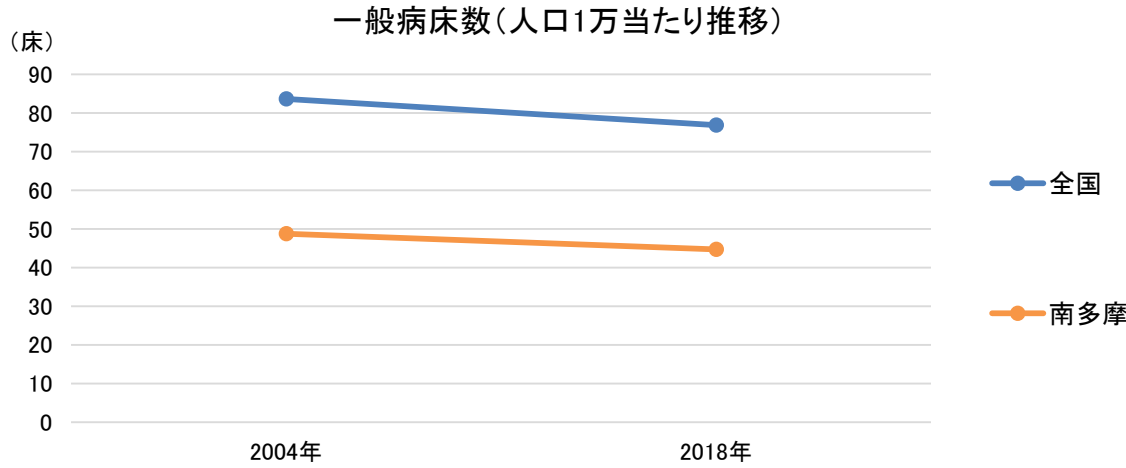
2004年の総病床数が17,567床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に17,387床(人口1万人当たり122(全国平均129)偏差値49)と、180床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,064人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に2,387人(人口10万人当たり167人(全国平均245人)偏差値41)と、323人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



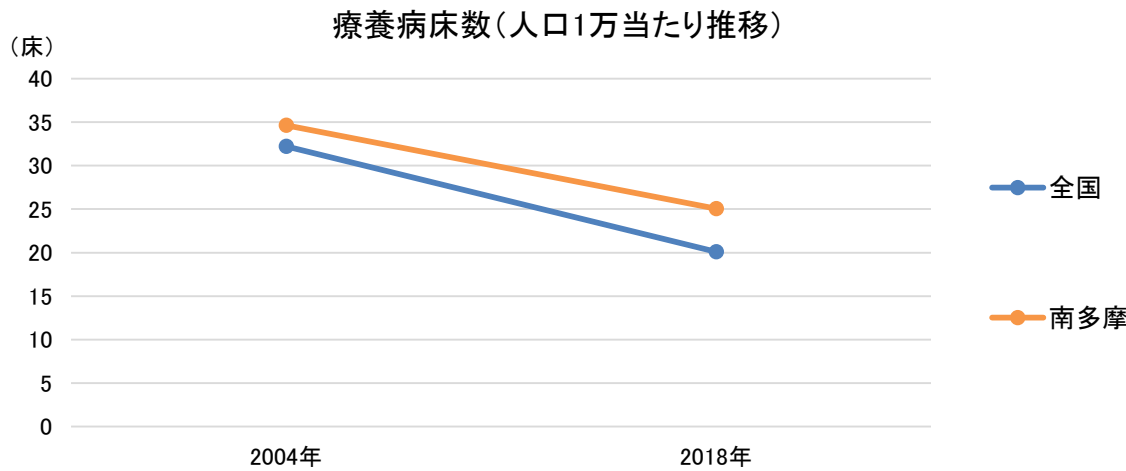
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,654床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2018年に6,397床(人口1万人当たり45(全国平均77)偏差値38)と、257床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



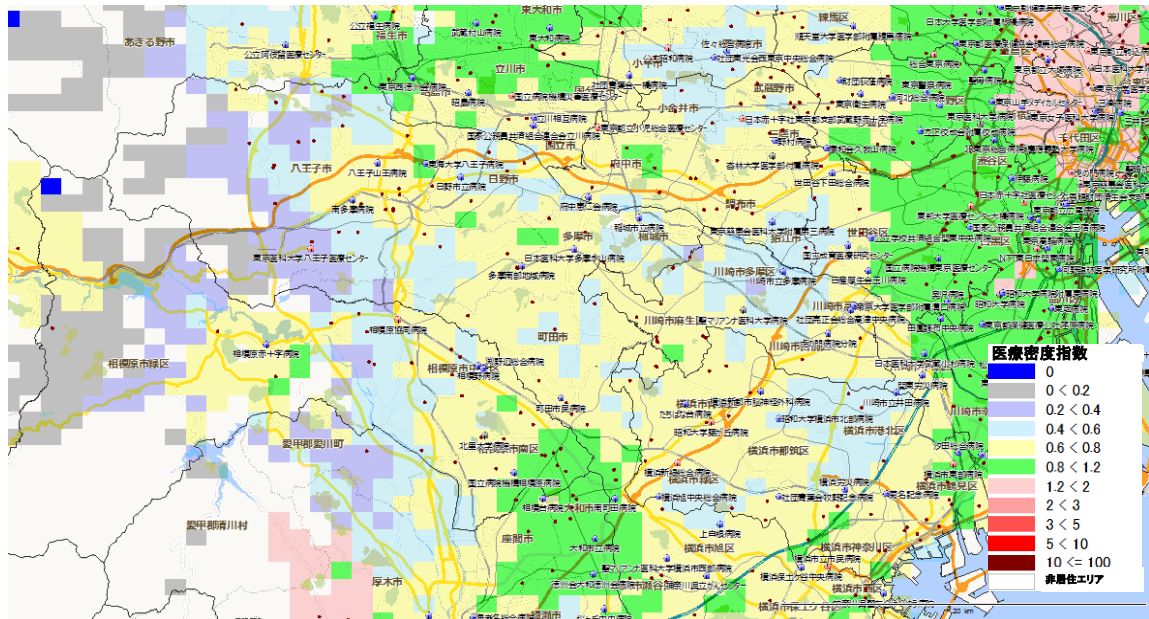
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,185床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2018年に4,094床(75歳以上1,000人当たり25(全国平均20)偏差値54)と、909床の増加、率にして29%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



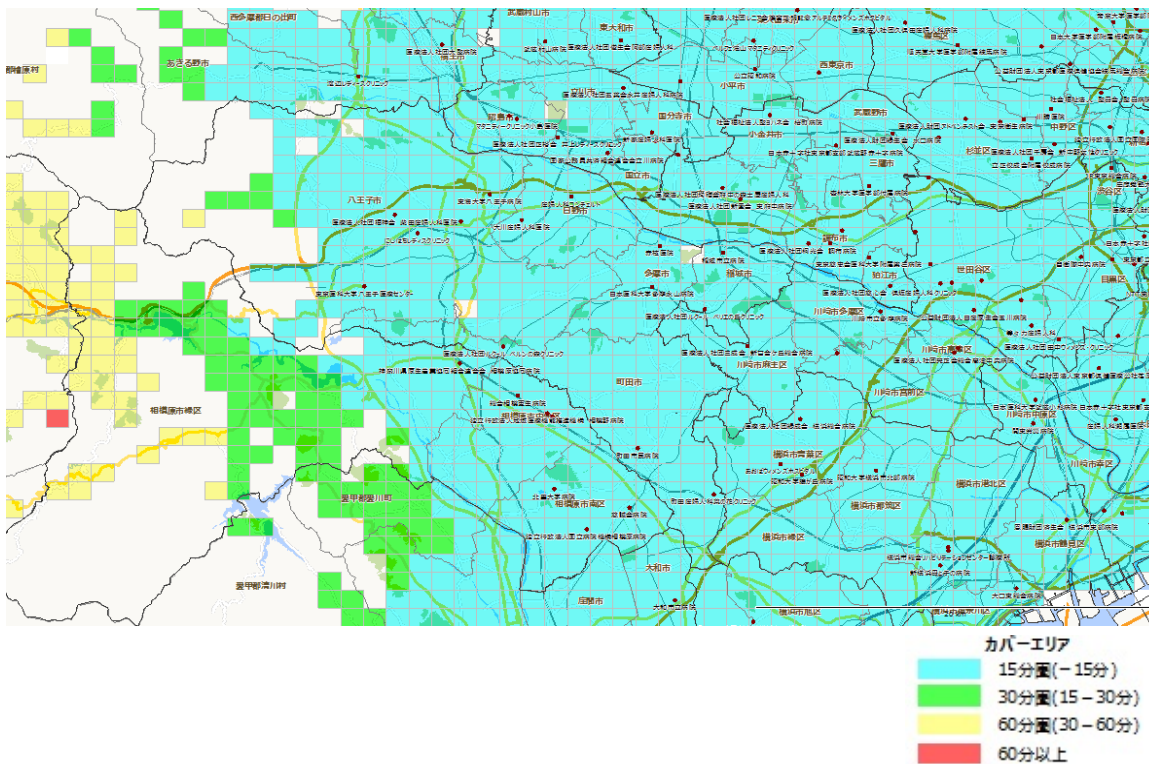
(南多摩医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-9-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

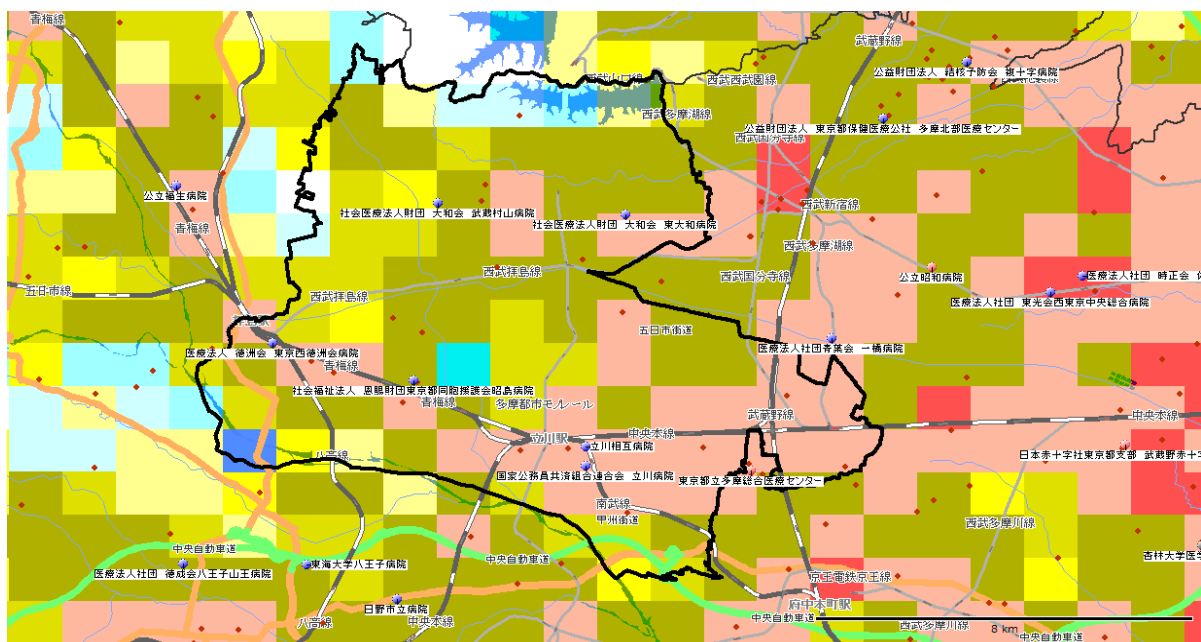


13-10. きたたませいぶ北多摩西部医療圏

構成市区町村 [立川市](#) [昭島市](#) [国分寺市](#) [国立市](#)
[東大和市](#) [武蔵村山市](#)

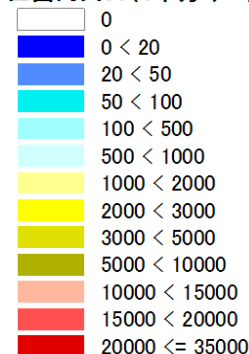
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北多摩西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北多摩西部(立川市)は、総人口約641千人(2015年)、面積90km²、人口密度は7,114人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 北多摩西部の総人口は2025年に640千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に616千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の72千人が、2025年にかけて98千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には105千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北多摩西部の一人当たり医療費(国保)は325千円(偏差値43)、介護給付費は237千円(偏差値45)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北多摩西部の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.77で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。北多摩西部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の立川病院(Ⅲ群)、1000例以上のNHQ災害医療センター(Ⅲ群・救命)、東大和病院(Ⅲ群)、東京西徳洲会病院(Ⅲ群)、立川相互病院(Ⅲ群)、500例以上の武蔵村山病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は40で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北多摩西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,259人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,219床(偏差値48)、高齢者住宅等が3,040床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,822人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム55、軽費ホーム47、グループホーム39、サ高住50である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、846人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-29%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩西部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北多摩西部医療圏の総人口は、2005年618,886人が、2015年に640,617人と4%増加し、2025年の人口が640,428人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

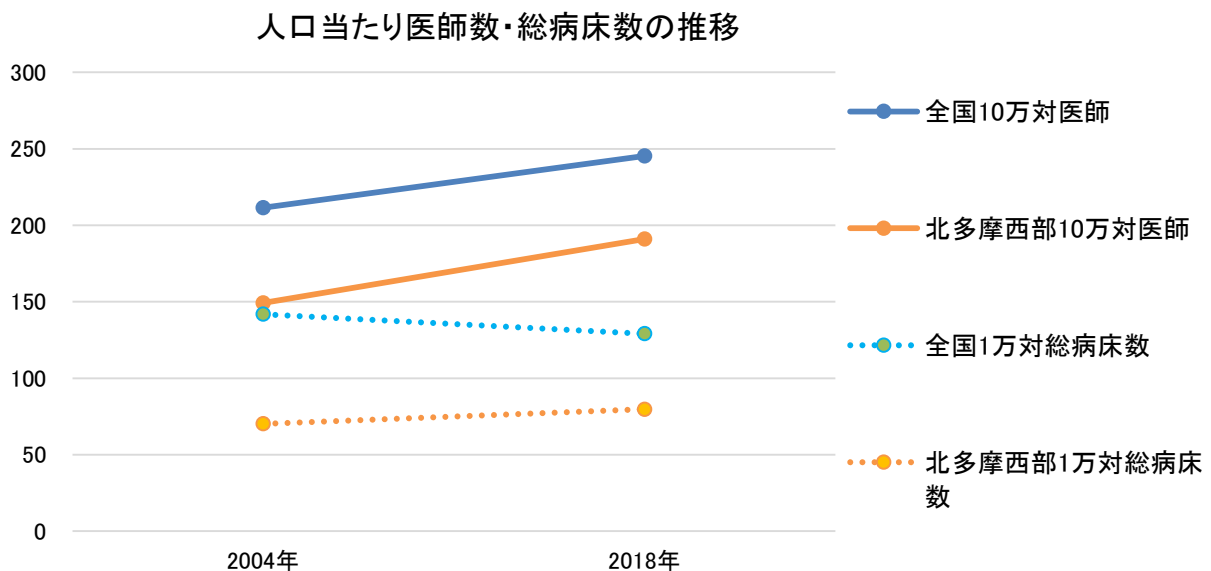
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が23(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2018年に26(人口10万人当たり4.1病院(全国平均6.6)偏差値44)となり、14年間で3病院が増加した。

2004年の診療所数が469(人口10万人当たり76診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2018年に506(人口10万人当たり79診療所(全国平均80)偏差値49)と、37診療所が増加した。

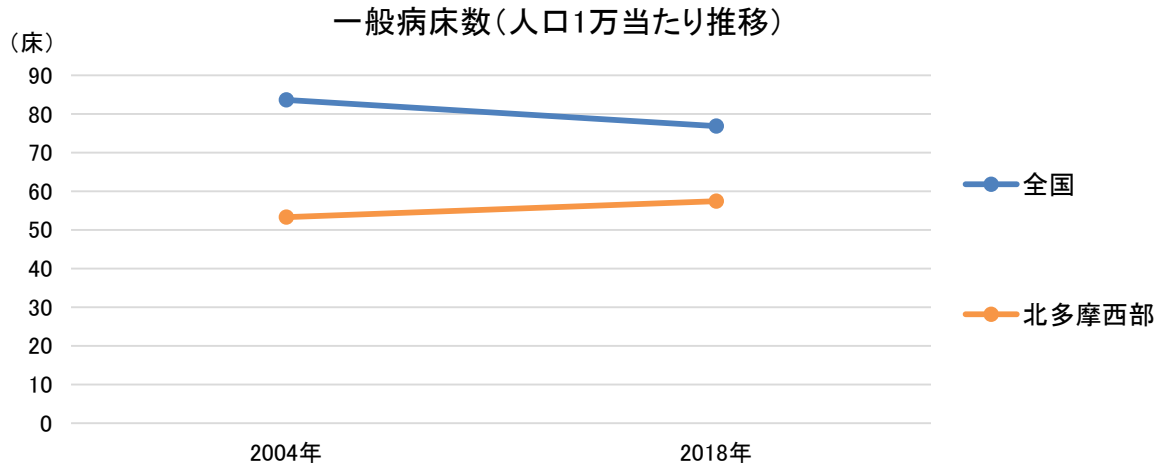
2004年の総病床数が4,344床(人口1万人当たり70(全国平均142)偏差値37)であったが、2018年に5,110床(人口1万人当たり80(全国平均129)偏差値41)と、766床の増加、率にして18%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が924人(人口10万人当たり149人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に1,224人(人口10万人当たり191人(全国平均245人)偏差値44)と、300人の増加、率にして32%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



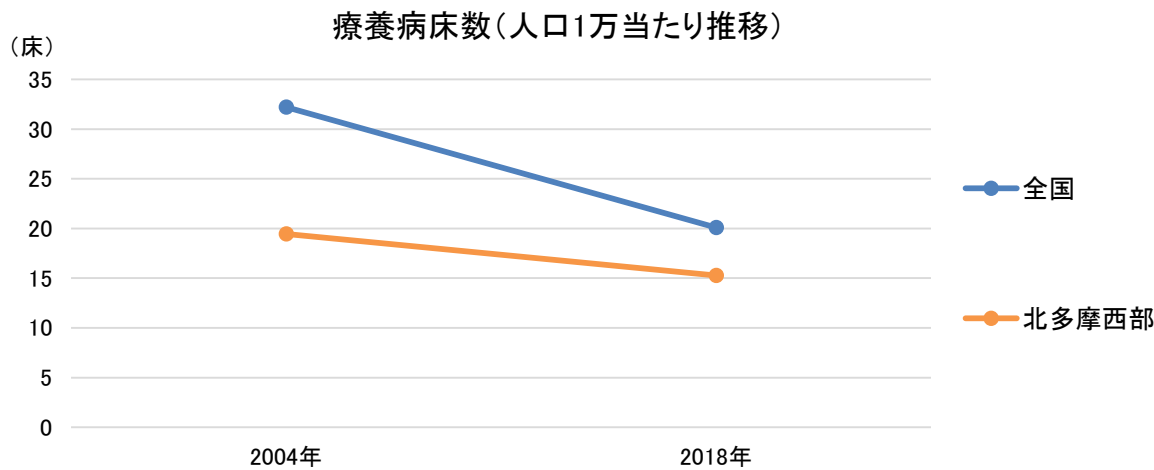
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が3,301床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2018年に3,681床(人口1万人当たり57(全国平均77)偏差値43)と、380床の増加、率にして12%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。



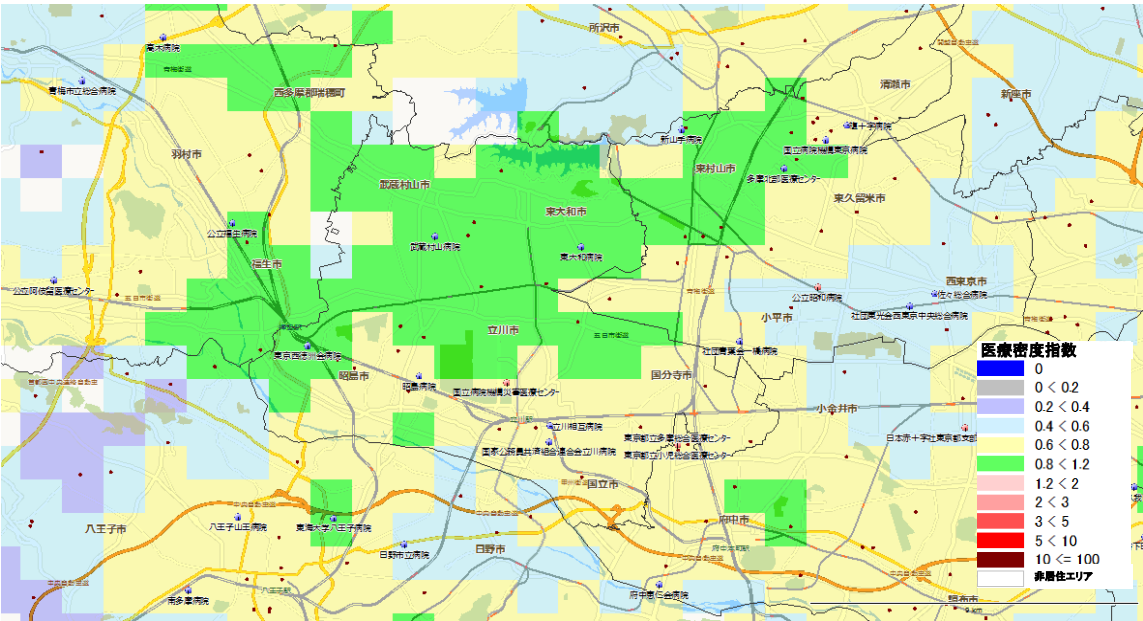
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が843床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に1,097床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値46)と、254床の増加、率にして30%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



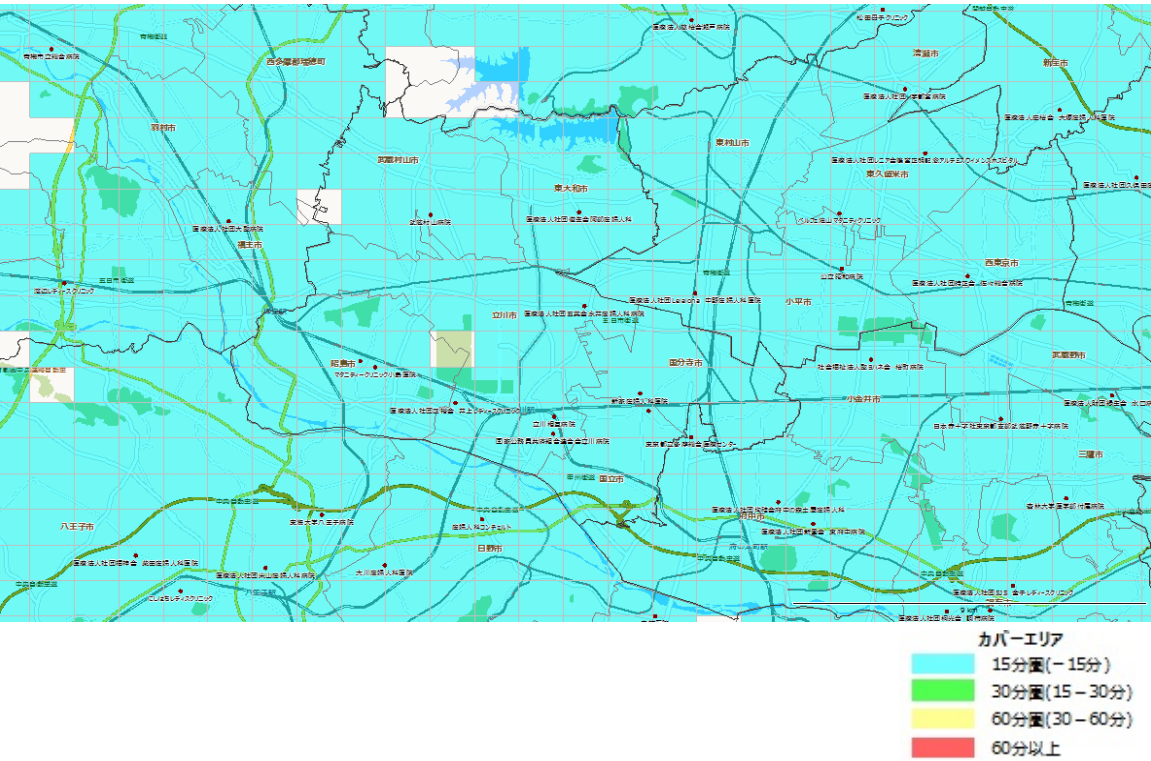
(北多摩西部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-10-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

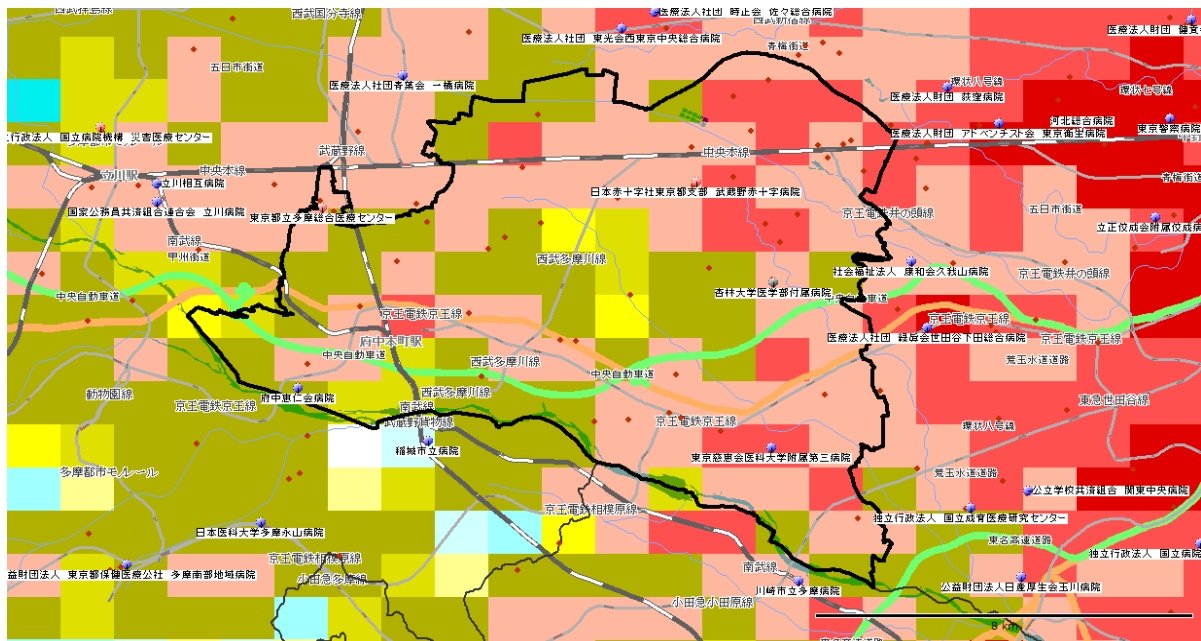


13-11. きたたまなんぶ北多摩南部医療圏

構成市区町村 [武蔵野市](#) [三鷹市](#) [府中市](#) [調布市](#)
[小金井市](#) [狛江市](#)

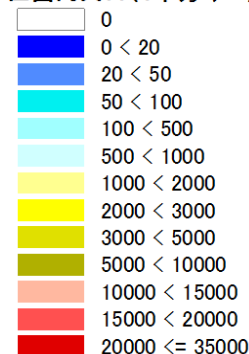
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北多摩南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北多摩南部(武蔵野市)は、総人口約1,023千人(2015年)、面積96km²、人口密度は10,641人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 北多摩南部の総人口は2025年に1,046千人へと増加し(2015年比+2%)、2040年に1,037千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の107千人が、2025年にかけて143千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には163千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北多摩南部の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値40)、介護給付費は258千円(偏差値51)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北多摩南部の一人当たり急性期医療密度指数は0.71、一人当たり慢性期医療密度指数は0.53で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が57(病院医師数57、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。北多摩南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の東京慈恵会医科大学附属第三病院(Ⅲ群)、東京都立小児総合医療センター(Ⅲ群)、東京都立多摩総合医療センター(Ⅱ群・救命)、武蔵野赤十字病院(Ⅱ群・救命)、杏林大学医学部付属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の榊原記念病院(Ⅲ群)、500例以上の府中恵仁会病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北多摩南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10,639人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,467床(偏差値34)、高齢者住宅等が6,172床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,663人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム38、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム73、軽費ホーム45、グループホーム39、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,356人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-27%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩南部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北多摩南部医療圏の総人口は、2005年968,714人が、2015年に1,022,646人と6%増加し、2025年の人口が1,046,144人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

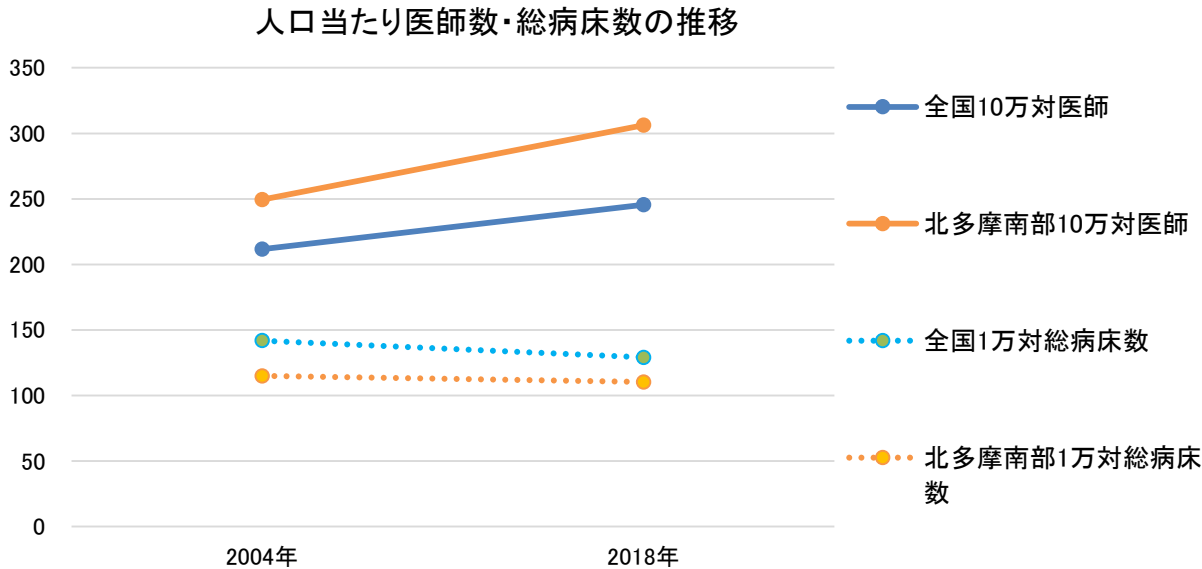
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり4.9病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2018年に46(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が796(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に869(人口10万人当たり85診療所(全国平均80)偏差値52)と、73診療所が増加した。

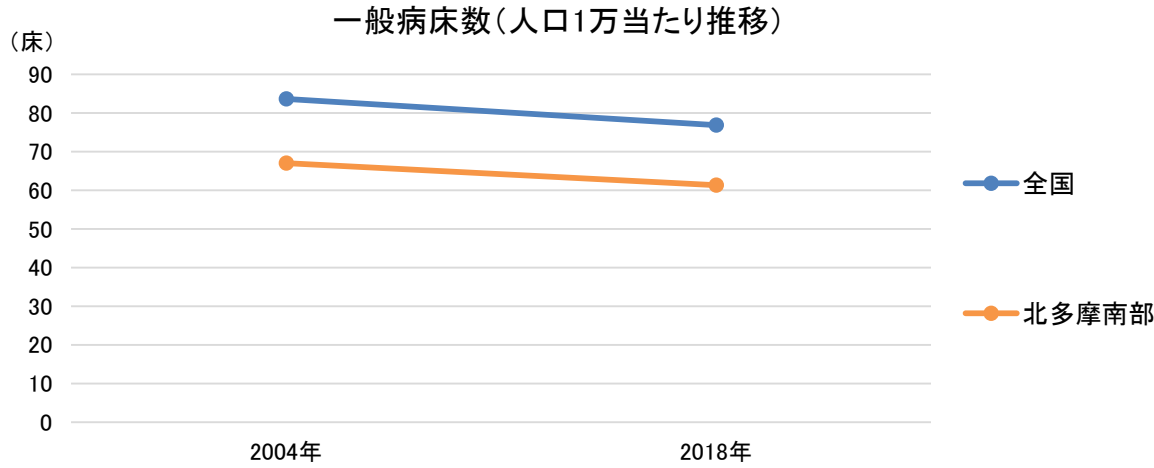
2004年の総病床数が11,134床(人口1万人当たり115(全国平均142)偏差値45)であったが、2018年に11,288床(人口1万人当たり110(全国平均129)偏差値46)と、154床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,416人(人口10万人当たり249人(全国平均212人)偏差値55)であったが、2018年に3,131人(人口10万人当たり306人(全国平均245人)偏差値57)と、715人の増加、率にして30%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



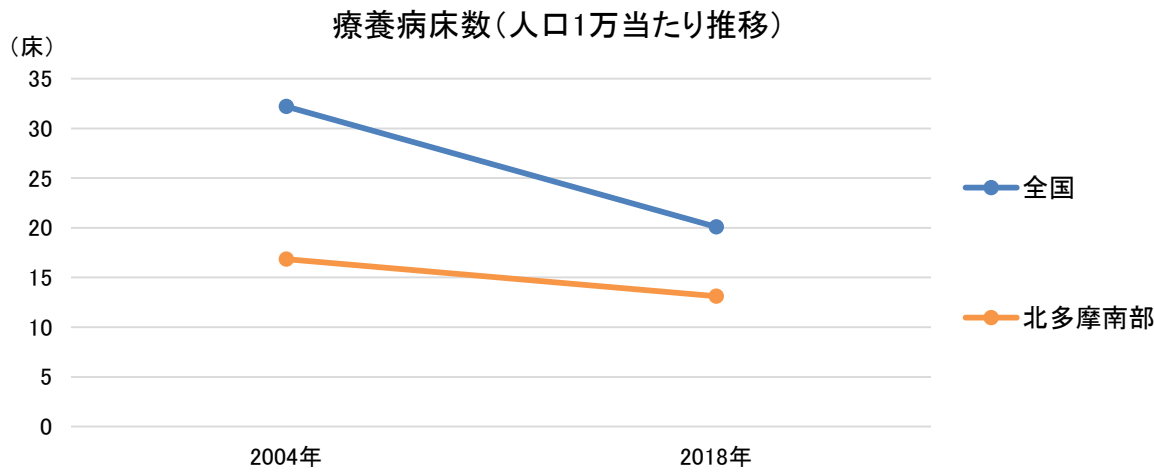
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6,495床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2018年に6,269床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、226床の減少、率にして3%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



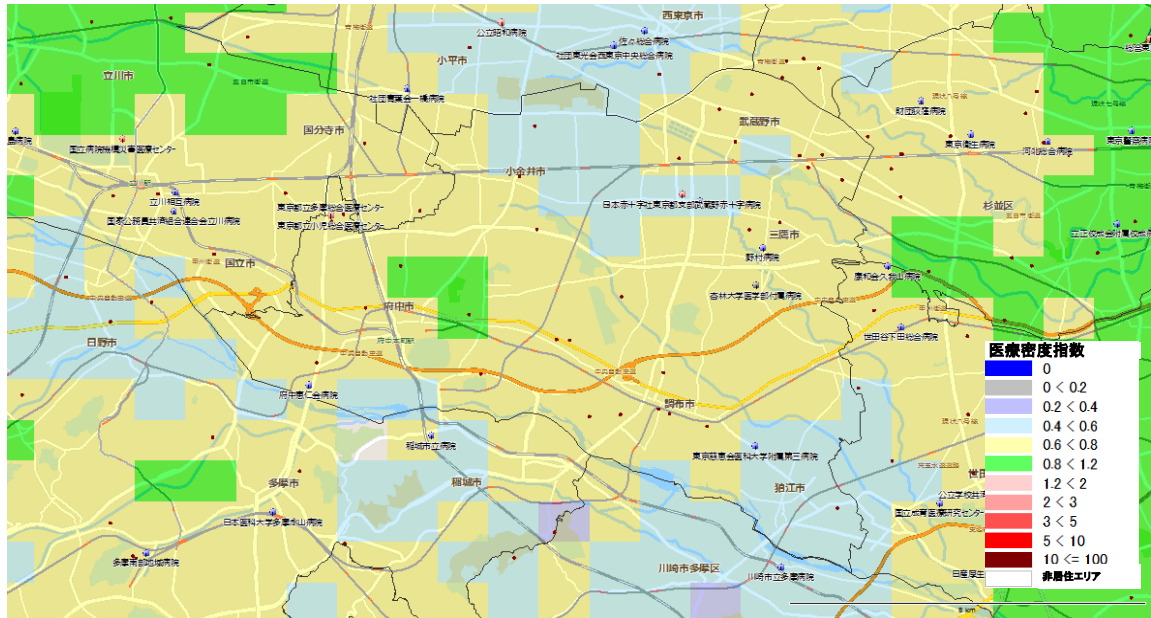
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,216床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2018年に1,407床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均20)偏差値44)と、191床の増加、率にして16%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



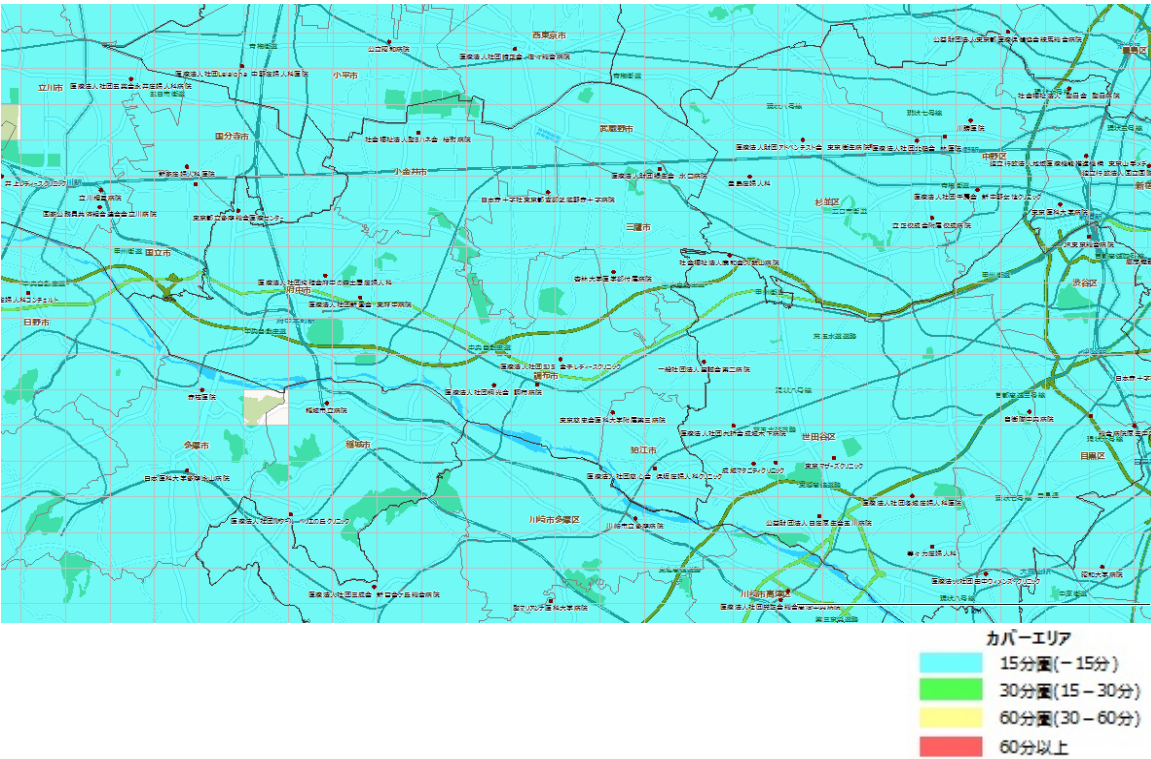
(北多摩南部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-11-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

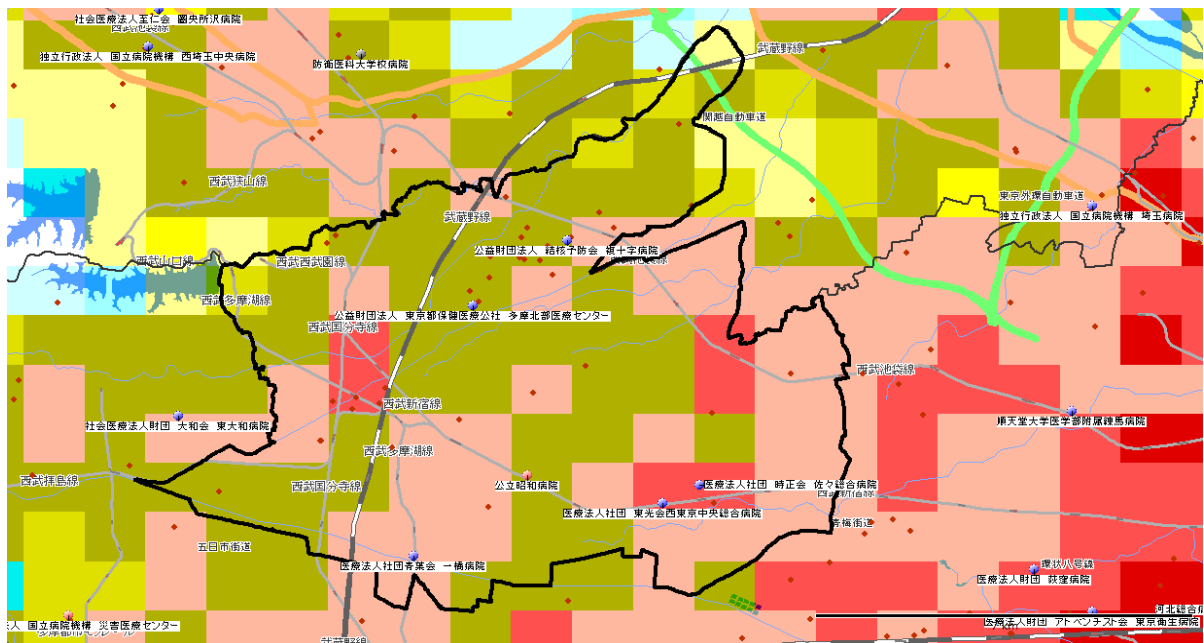


きたたまほくぶ
13-12. 北多摩北部医療圏

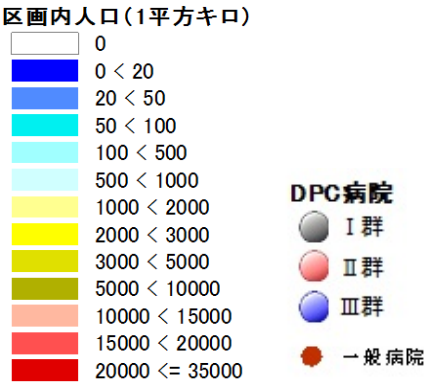
構成市区町村 [小平市](#) [東村山市](#) [清瀬市](#) [東久留米市](#)
[西東京市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(北多摩北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北多摩北部(小平市)は、総人口約731千人(2015年)、面積77km²、人口密度は9,560人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 北多摩北部の総人口は2025年に728千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に708千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の90千人が、2025年にかけて118千人へと増加し(2015年比+31%)、2040年には128千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北多摩北部の一人当たり医療費(国保)は325千円(偏差値43)、介護給付費は252千円(偏差値49)であり、医療費は低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北多摩北部の一人当たり急性期医療密度指数は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数は0.81で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が41(病院医師数41、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。北多摩北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の公立昭和病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の複十字病院(Ⅲ群)、西東京中央総合病院(Ⅲ群)、佐々総合病院(Ⅲ群)、多摩北部医療センター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北多摩北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,417人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5,130床(偏差値46)、高齢者住宅等が4,287床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,055人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム59、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム40、サ高住51である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1,051人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北多摩北部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

北多摩北部医療圏の総人口は、2005年707,319人が、2015年に731,469人と3%増加し、2025年の人口が728,025人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

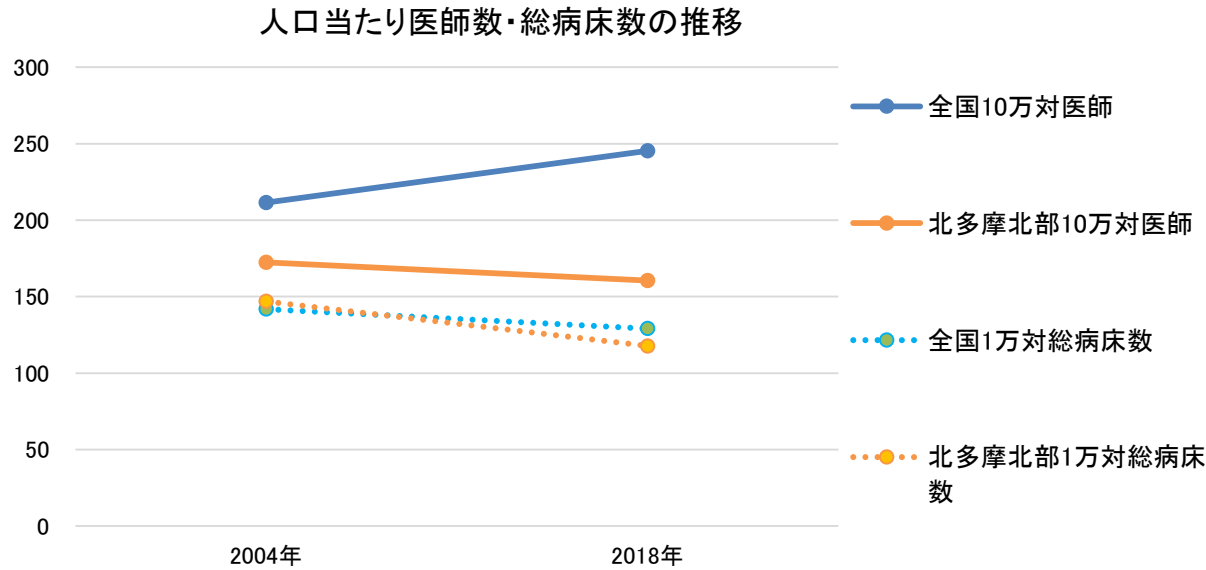
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が45(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に41(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が465(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に480(人口10万人当たり66診療所(全国平均80)偏差値42)と、15診療所が増加した。

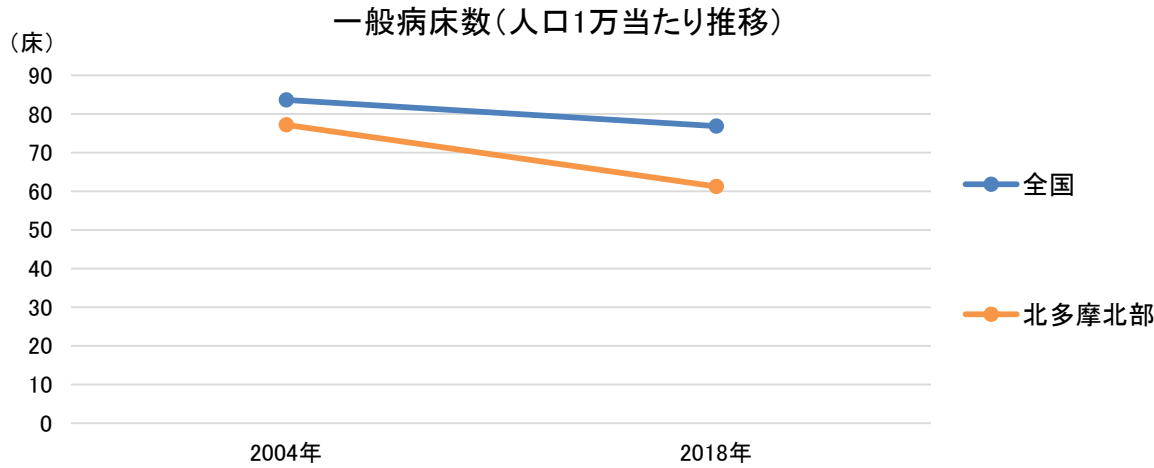
2004年の総病床数が10,392床(人口1万人当たり147(全国平均142)偏差値51)であったが、2018年に8,615床(人口1万人当たり118(全国平均129)偏差値48)と、1,777床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,219人(人口10万人当たり172人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2018年に1,174人(人口10万人当たり160人(全国平均245人)偏差値41)と、45人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



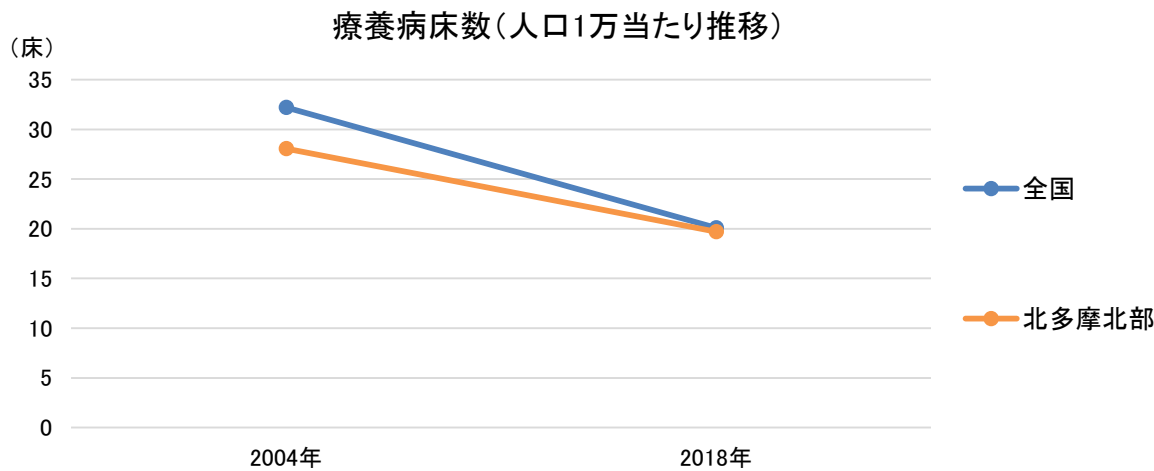
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院＋診療所)が5,462床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2018年に4,479床(人口1万人当たり61(全国平均77)偏差値44)と、983床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



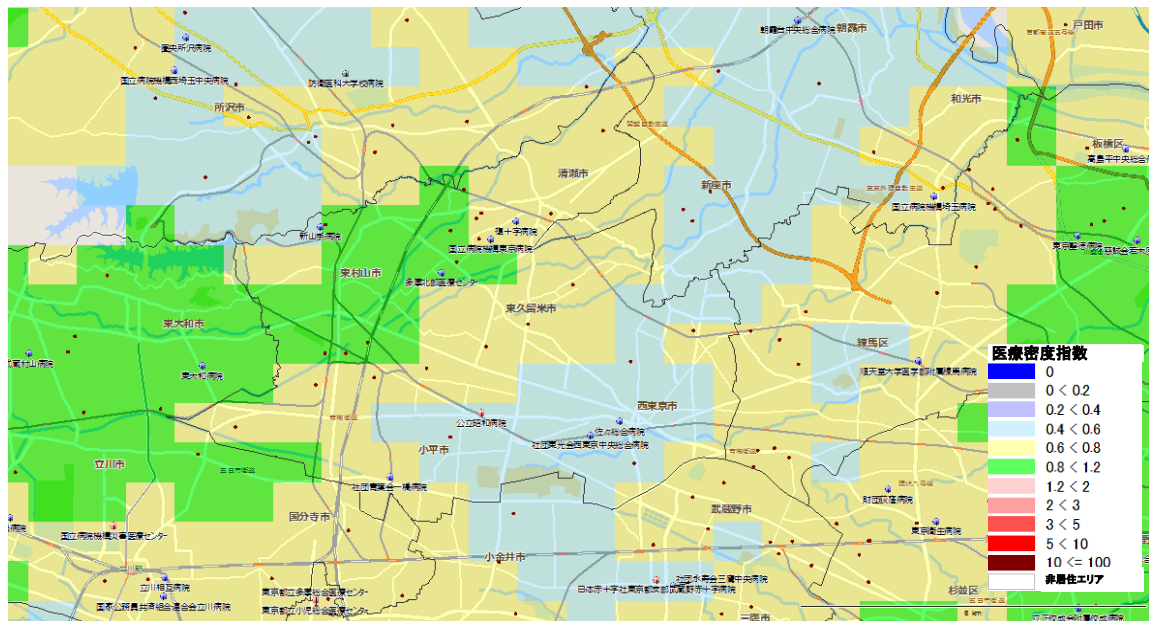
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院＋診療所)が1,535床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2018年に1,781床(75歳以上1,000人当たり20(全国平均20)偏差値50)と、246床の増加、率にして16%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



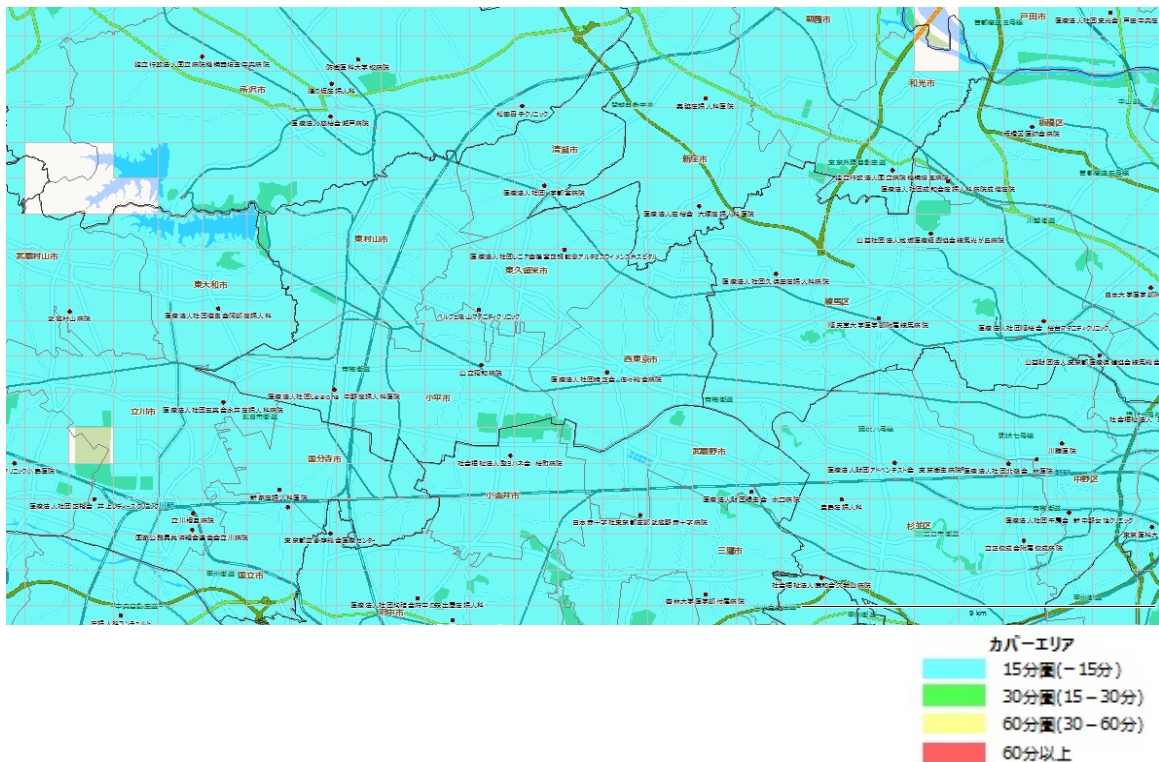
(北多摩北部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-12-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状－都道府県別・二次医療圏別データ集－（2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

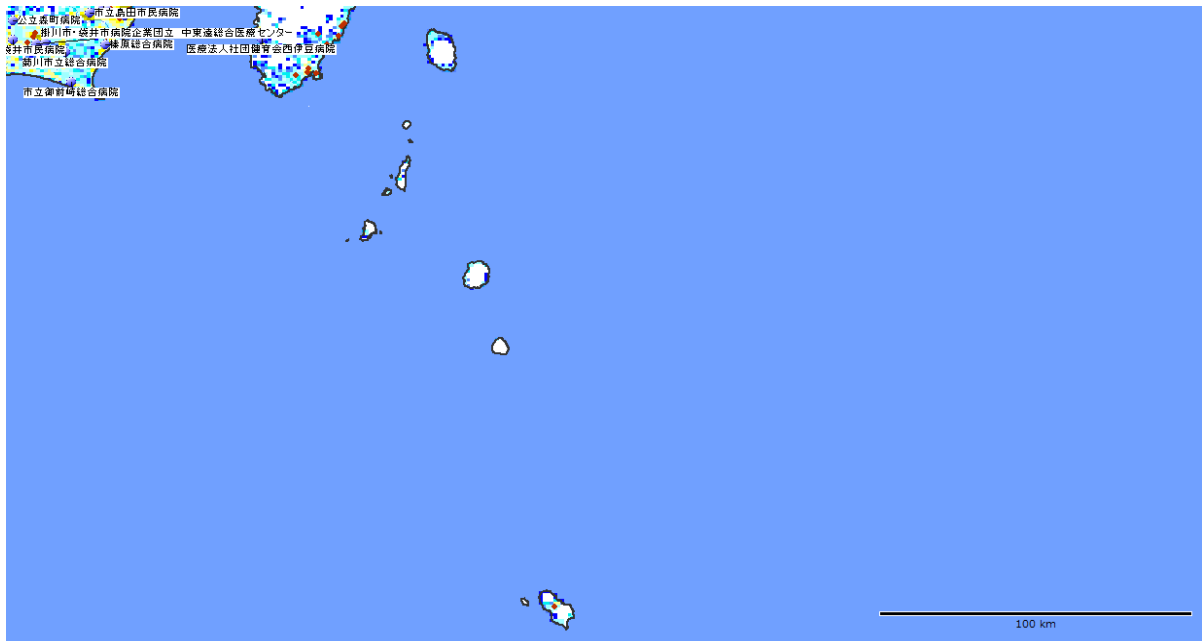


13-13. ^{とう}島しょ医療圏

構成市区町村 [大島町](#) [利島村](#) [新島村](#) [神津島村](#)
[三宅村](#) [御蔵島村](#) [八丈町](#) [青ヶ島村](#)
[小笠原村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(島しょ医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 島しょ(大島町)は、総人口約26千人(2015年)、面積399km²、人口密度は66人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 島しょの総人口は2025年に23千人へと減少し(2015年比－12%)、2040年に18千人へと減少する(2025年比－22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の4千人が、2025年にかけて5千人へと増加し(2015年比＋25%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比－20%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 島しょの一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値46)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 島しょの一人当たり急性期医療密度指数は0.18、一人当たり慢性期医療密度指数は0.37で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が36(病院医師数31、診療所医師数54)と、総医師数は少ないが、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は35と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は27で、一般病床は非常に少ない。全身麻酔数は0件である。島しょには、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

＊療養病床の現状： 療養病床は0である。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値32と非常に少なく、回復期病床数は0である。

＊精神病床の現状： 精神病床数は0である。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 島しょの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、358人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が319床(偏差値60)、高齢者住宅等が39床(偏差値28)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、252人(75歳以上1,000人当たりの偏差値30)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設なし(偏差値12)、特別養護老人ホーム89、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム32、サ高住39である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、45人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(島しょ医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

島しょ医療圏の総人口は、2005年28,744人が、2015年に26,491人と8%減少し、2025年の人口が22,699人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

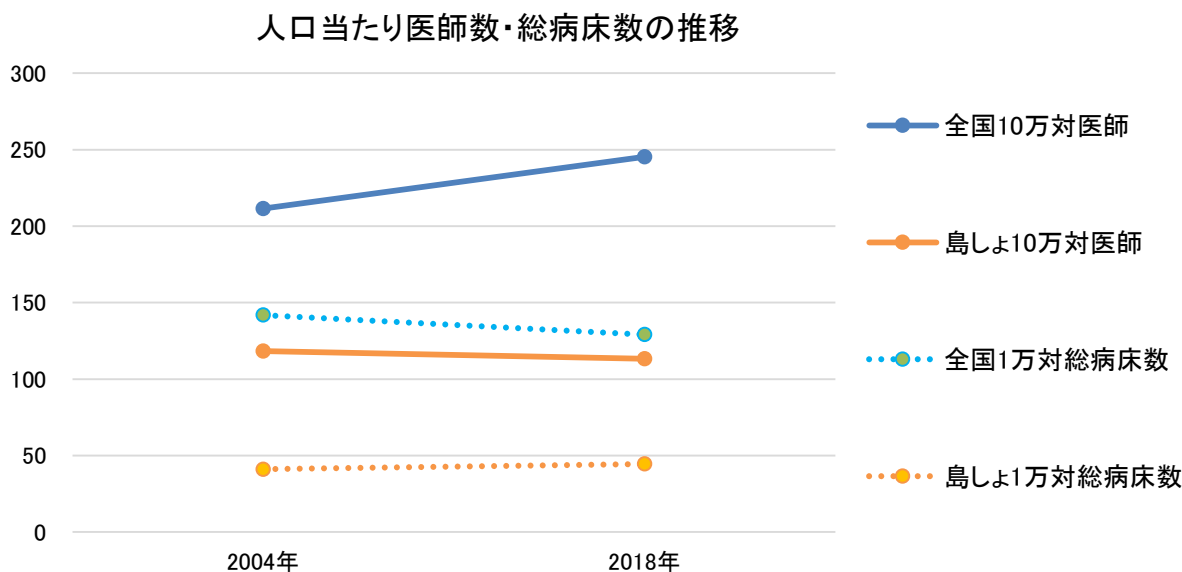
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が1(人口10万人当たり3.5病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2018年に1(人口10万人当たり3.8病院(全国平均6.6)偏差値43)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が18(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2018年に20(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値47)と、2診療所が増加した。

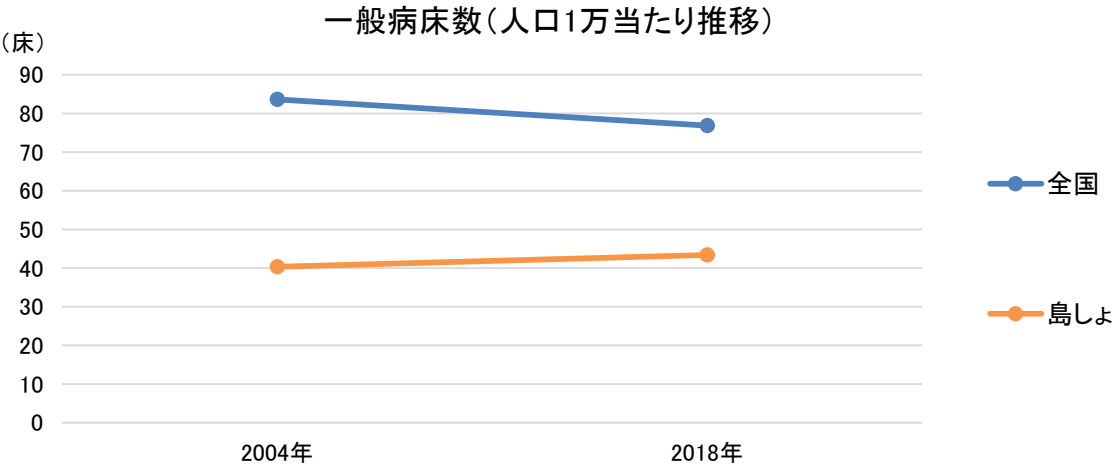
2004年の総病床数が118床(人口1万人当たり41(全国平均142)偏差値32)であったが、2018年に118床(人口1万人当たり45(全国平均129)偏差値34)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が34人(人口10万人当たり118人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2018年に30人(人口10万人当たり113人(全国平均245人)偏差値36)と、4人の減少、率にして12%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



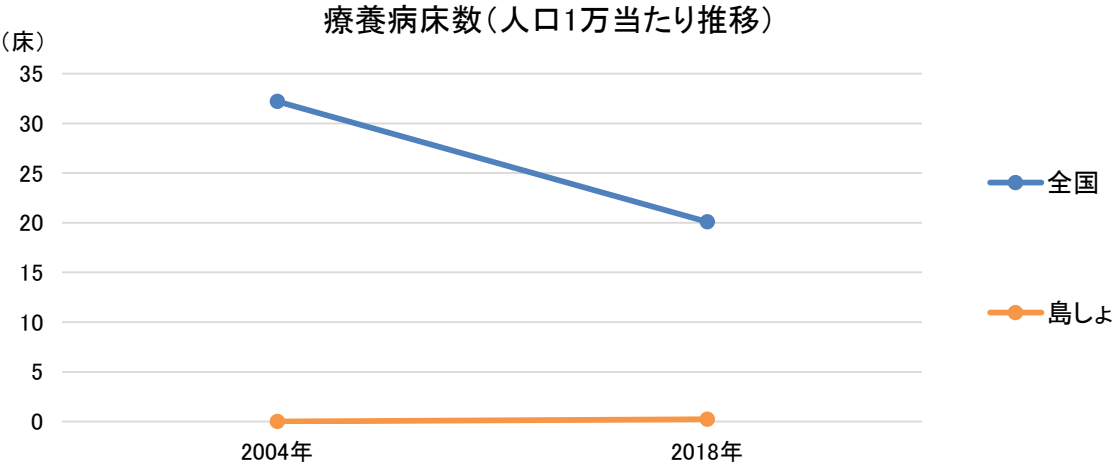
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が116床(人口1万人当たり40(全国平均84)偏差値35)であったが、2018年に115床(人口1万人当たり43(全国平均77)偏差値37)と、1床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



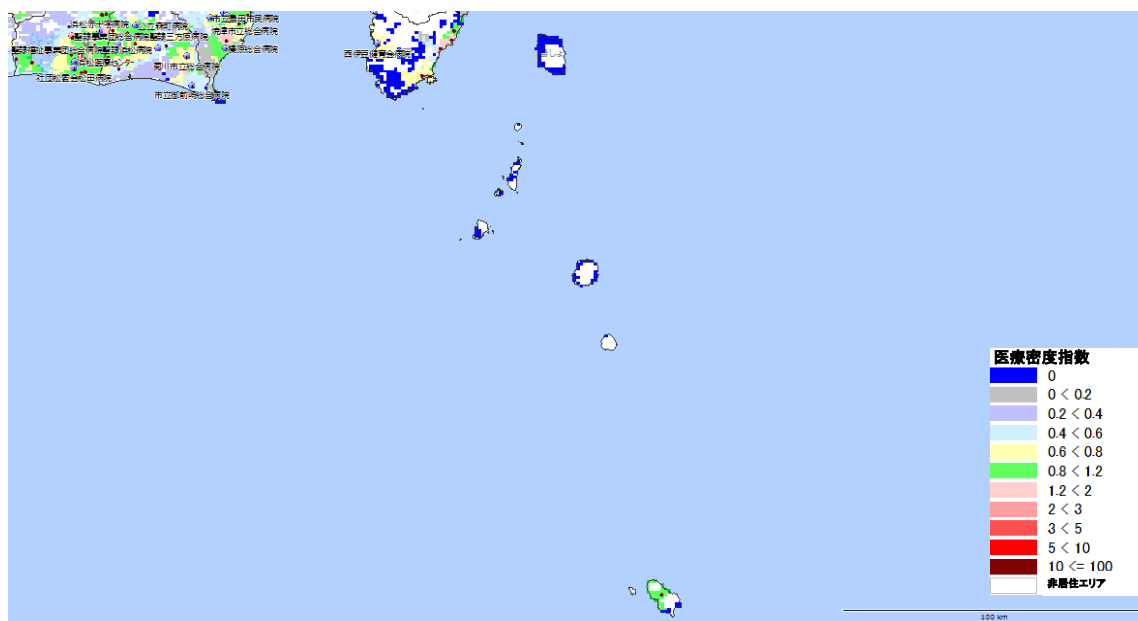
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が0床(75歳以上1,000人当たり0(全国平均32)偏差値32)であったが、2018年に1床(75歳以上1,000人当たり0(全国平均20)偏差値32)と、増加した(全国平均12%の減少)。



(島しょ医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表13-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表13-13-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400））

